

KG GO GLOBAL

国際教育・協力プログラム募集要項2017 Volume II

海外留学／海外インターンシップ／国際ボランティア



 KWANSEI GAKUIN UNIVERSITY

発刊：関西学院大学 国際教育・協力センター
〒662-8501 西宮市上ヶ原一番町1-155
TEL. 0798-54-6115 FAX. 0798-51-0954
http://www.kwansei.ac.jp/c_ciec/
E-mail ciec@kwansei.ac.jp

制作：タカラ写真製版株式会社
発行日：2017年9月



Becoming a World Citizen

Becoming a World Citizen

関西学院大学は、文部科学省
平成26年度スーパー・グローバル大学創成支援事業(SGU)に採択されました。

関西学院大学は、“多文化が共生する国際性豊かなキャンパスの実現”というビジョンを掲げ、スクールモットーである“Mastery for Service”を体現する『世界市民』の育成を目指した教育を行っています。グローバル化した現代社会では、国際的視野と言語運用能力は社会人として求められる重要な資質です。大学在学中に継続的な学びと国際的経験を通してこれらの資質を培い『世界市民』への一歩を踏み出しましょう!国際教育・協力センター(CIEC)は、皆さんが『世界市民』として活躍するために必要な知識や経験を得るために多種多様なプログラムを用意しています。それぞれのプログラムの特色を理解したうえで、各自の目的に合ったプログラムに積極的に参加してください。

Contents

募集説明会・出願・選考スケジュール	P.2
留学の計画を立てよう	P.4
留学情報はここで入手しよう	P.8
出願手続きの流れ	P.9

① 短期プログラム

1-1 春季外国語研修	P.10
1-2 Cross-Cultural College (CCC)	P.21
1-3 短期海外インターンシップ(アメリカ)	P.24
1-4 海外フィールドワーク(ベトナム)	P.25

② 中期プログラム

2-1 英語中期留学	P.26
2-2 中期海外インターンシップ (オーストラリア)	P.34
2-3 フランス語中期留学	P.36

③ 中長期プログラム

3-1 交換留学	P.38
3-2 その他プログラム (ACUCA、日加コンソーシアム、認定留学)	P.43
3-3 国際ボランティア	P.44

④ 留学関連情報

4-1 就職活動×留学	P.50
4-2 教職×留学	P.52
4-3 学内施設の活用	P.53
4-4 外国語能力試験	P.54
4-5 TOEFL®、IELTS対策(無料講座)	P.55

⑤ 留学の計画と準備

5-1 学部・研究科等で実施する留学プログラム	P.56
5-2 奨学金	P.58
5-3 トビタテ!留学JAPAN日本代表プログラム	P.59
5-4 安全と危機管理・健康管理	P.60

FAQ

FAQ	P.62
学内でできる国際交流	P.64

自分にぴったりのプログラムを探そう!

留学期間で探す

短期プログラム	中期プログラム	中長期プログラム
外国語研修 P10-20	英語中期留学 P26-33	交換留学 P38-42
Cross-Cultural College(CCC) P21-23	中期海外インターンシップ (オーストラリア) P34-35	認定留学 P43
短期海外インターンシップ (アメリカ) P24	フランス語中期留学 P36-37	ダブルディグリー留学 ※4月発行ダブルディグリー留学募集要項(社会/経済/商/国際学部)を参照
海外フィールドワーク(ベトナム) P25	国連ユースボランティア P44-49	国際社会貢献活動 P44-49
インドネシア交流セミナー CIEC募集要項volume I 参照		
国連セミナー CIEC募集要項volume I 参照		



目的別で探す

言語を学ぶ	専門分野を学ぶ	国際ビジネスを学ぶ
英語	交換留学 P38-42	実践ビジネス英語の基礎を学ぶ P19
外国語研修 P10-20	認定留学 P43	外国語研修 (カリフォルニア大学デイビス校)
英語中期留学 P26-33	国連セミナー CIEC募集要項volume I 参照	CCC Cross-Cultural Workshop P21-23
他言語	ダブルディグリー留学 ※4月発行ダブルディグリー留学募集要項(社会/経済/商/国際学部)を参照	インターンシップをする P24
外国語研修 (中国語・朝鮮語・スペイン語) P17-18		短期海外インターンシップ (アメリカ) P21-23
フランス語中期留学 P36-37		CCC Field Study in Canadian Business
	開発途上国を知る	中期海外インターンシップ (オーストラリア) P34-35
	修了証プログラム	英語中期留学(マラヤ大学) P31
Cross-Cultural College(CCC) P21-23	インドネシア交流セミナー CIEC募集要項volume I 参照	セミナー形式で学ぶ P21-23
Certificate Program(CP)	海外フィールドワーク(ベトナム) P25	CCC Global Career Seminar in Canada
	国連ユースボランティア P44-49	
	国際社会貢献活動 P44-49	

※CIEC提供プログラム以外にも、数多くの学部提供プログラムがあります。プログラム一覧はP.56～57を参照してください。



募集説明会・出願・選考スケジュール

どの留学プログラムに参加しよう…と悩んでいる方は、「留学ガイダンス」&「留学フェア」へ

NUC 西宮上ヶ原キャンパス
KSC 神戸三田キャンパス
NSC 西宮聖和キャンパス

●留学アドバイザー実施イベント

留学アドバイザーによる「留学ガイダンス～今から間に合う！留学のイロイロ～」
9月25日（月）12:45～13:20 NUC G号館202号教室
9月26日（火）12:45～13:20 KSC III号館102号教室
9月27日（水）12:45～13:20 NUC H号館201号教室

●留学フェア

日時：10月7日（土）10:00～13:00
場所：NUC G号館2階
フジタ・グローバルラウンジ

プログラム（短期）

■春季外国語研修（P.10～20）

出願期間：10/11（木）～10/11（水） 参加者発表：10/18（水） ※選考：書類選考のうえ、申込多数の場合は抽選

NUC G号館201号教室 12:45～13:25（昼休み）

日 時	内 容	
9/21（木）	ガイダンス	外国語研修概要・出願方法・大学選択のポイント ※出願予定者は、いずれかの日程のガイダンスに参加してください。
大 学 別 紹 介	カナダ	トロント大学、マウント・アリソン大学、ピクトリア大学、カルガリー大学
	アメリカ	カリフォルニア大学デイビス校、カリフォルニア大学アーバイン校
	イギリス・アイルランド	ケンブリッジ大学、レスター大学、ダブリン・シティ大学
	オーストラリア・マレーシア	ニューサウスウェールズ大学、アデレード大学、マラヤ大学
	スペイン・中国・韓国	アリカンテ大学・東海大学・慶熙大学
		12:45～13:25（昼休み） ※上記G号館実施の説明会と同様の内容です

NUC H号館301号教室 12:45～13:25（昼休み）
※上記G号館実施の説明会と同様の内容です

日 時	内 容	
9/29（金）	ガイダンス	外国語研修概要・出願方法・大学選択のポイント ※出願予定者は、いずれかの日程のガイダンスに参加してください。
大 学 别 紹 介	カナダ	トロント大学、マウント・アリソン大学、ピクトリア大学、カルガリー大学
	アメリカ	カリフォルニア大学デイビス校、カリフォルニア大学アーバイン校
	イギリス・アイルランド	ケンブリッジ大学、レスター大学、ダブリン・シティ大学
	オーストラリア・マレーシア	ニューサウスウェールズ大学、アデレード大学、マラヤ大学
	スペイン・中国・韓国	アリカンテ大学・東海大学・慶熙大学
		12:45～13:25（昼休み） ※上記G号館実施の説明会と同様の内容です

■Cross-Cultural College (CCC) — Cross-Cultural Workshop / Field Study in Canadian Business / Global Career Seminar in Canada (P.21～23)

会 場	日 時	出願書類事務室提出期間	選 考	参 加 者 発 表
			面接 10/7（土）	
Global Career Seminar in Canada, Field Study in Canadian Business	NUC G号館 223号教室	9/22（金）、9/26（火）、9/28（木）、10/2（月）	9/28（木）～10/4（水） ※留学中の学生は9/22（金）～9/27（水）にメールにて出願してください。	10/11（水）
	KSC III号館 103号教室	9/27（水）、9/28（木）		
	NUC G号館 223号教室	9/25（月）、9/27（水）、9/29（金）、10/3（火）	9/28（木）～10/4（水）	10/11（水）
Cross-Cultural Workshop	KSC III号館 103号教室	9/26（火）	書類選考	10/11（水）
	NSC 5号館 521号教室	9/25（月）	書類選考	10/11（水）
MS特別プログラム「クロス・カルチャラル・スタイルーズ」	NUC G号館 223号教室	10/26（木）、11/1（水）	11/6（月）～11/14（火）	1/17（水）
	KSC III号館 103号教室	10/24（火）		

■短期海外インターンシップ（P.24）

会 場	日 時	出願書類事務室提出期間	選 考	参 加 者 発 表
NUC G号館 227号教室	10/4（水） 10/12（木）	12:45～13:25（昼休み） 10/16（月）～18（水）	書類選考結果発表 10/20（金） 面接選考 10/28（土）	10/30（月）
KSC III号館 101号教室	10/5（木） 10/11（水）			

■海外フィールドワーク（P.25）

会 場	日 時	出願書類事務室提出期間	選 考	参 加 者 発 表
NUC G号館 225号教室	9/27（水） 10/3（火）	12:45～13:25（昼休み） 10/10（火）～10/11（水）	書類選考結果発表 10/13（金） 面接選考 10/14（土）	10/17（火）
KSC III号館 104号教室	9/26（火） 10/4（水）			

プログラム（中期・中長期）

■2018年度英語中期留学（P.26～33）

【春学期出発】 出願期間：11/29（水）～12/1（金） 参加者発表：12/6（水）
【秋学期出発】 出願期間：1/12（金）～1/16（火） 参加者発表：1/23（火）
※選考：書類選考のうえ、申込多数の場合は抽選

NUC G号館202号教室 12:45～13:25（昼休み）

日 時	内 容	
10/3（火）	ガイダンス	中期留学概要・出願方法・大学選択のポイント ※出願予定者は、いずれかの日程のガイダンスに参加してください。
大 学 别 紹 介	カナダ・アメリカ	マウント・アリソン大学、クイーンズ大学、ゲルフ大学、トロント大学、ネブラスカ大学オマハ校
	イギリス・オーストラリア・マレーシア	ケンブリッジ大学、オックスフォード大学、ニュー・サウス・ウェールズ大学、クイーンズランド大学、マラヤ大学
	カナダ・アメリカ	マウント・アリソン大学、クイーンズ大学、ゲルフ大学、トロント大学、ネブラスカ大学オマハ校
	イギリス・オーストラリア・マレーシア	ケンブリッジ大学、オックスフォード大学、ニュー・サウス・ウェールズ大学、クイーンズランド大学、マラヤ大学
		ケンブリッジ大学、オックスフォード大学、ニュー・サウス・ウェールズ大学、クイーンズランド大学、マラヤ大学
		ケンブリッジ大学、オックスフォード大学、ニュー・サウス・ウェールズ大学、クイーンズランド大学、マラヤ大学

KSC III号館102号教室 12:45～13:25（昼休み）

日 時	内 容	
10/4（水）	ガイダンス	中期留学概要・出願方法・大学選択のポイント ※出願予定者は、いずれかの日程のガイダンスに参加してください。
大 学 别 紹 介	カナダ・アメリカ	マウント・アリソン大学、クイーンズ大学、ゲルフ大学、トロント大学、ネブラスカ大学オマハ校
	イギリス・オーストラリア・マレーシア	ケンブリッジ大学、オックスフォード大学、ニュー・サウス・ウェールズ大学、クイーンズランド大学、マラヤ大学
	カナダ・アメリカ	マウント・アリソン大学、クイーンズ大学、ゲルフ大学、トロント大学、ネブラスカ大学オマハ校
	イギリス・オーストラリア・マレーシア	ケンブリッジ大学、オックスフォード大学、ニュー・サウス・ウェールズ大学、クイーンズランド大学、マラヤ大学
		ケンブリッジ大学、オックスフォード大学、ニュー・サウス・ウェールズ大学、クイーンズランド大学、マラヤ大学
		ケンブリッジ大学、オックスフォード大学、ニュー・サウス・ウェールズ大学、クイーンズランド大学、マラヤ大学

◀帰国報告会▶

NUC G号館202号教室 12:45～13:25（昼休み）

日 時	内 容	
10/10（火）	ガイダンス	中期留学概要・出願方法・大学選択のポイント ※出願予定者は、いずれかの日程のガイダンスに参加してください。
大 学 别 紹 介	カナダ・アメリカ	マウント・アリソン大学、クイーンズ大学、ゲルフ大学、トロント大学、ネブラスカ大学オマハ校
	イギリス・オーストラリア・マレーシア	ケンブリッジ大学、オックスフォード大学、ニュー・サウス・ウェールズ大学、クイーンズランド大学、マラヤ大学
	カナダ・アメリカ	マウント・アリソン大学、クイーンズ大学、ゲルフ大学、トロント大学、ネブラスカ大学オマハ校
	イギリス・オーストラリア・マレーシア	ケンブリッジ大学、オックスフォード大学、ニュー・サウス・ウェールズ大学、クイーンズランド大学、マラヤ大学
		ケンブリッジ大学、オックスフォード大学、ニュー・サウス・ウェールズ大学、クイーンズランド大学、マラヤ大学
		ケンブリッジ大学、オックスフォード大学、ニュー・サウス・ウェールズ大学、クイーンズランド大学、マラヤ大学

2017年度春学期英語中期留学・中期海外インターンシップ帰国報告会

NUC G号館202号教室 12:45～13:25（昼休み）

日 時	内 容	
10/10（火）	ガイダンス	マウント・アリソン大学、ネブラスカ大学オマハ校
大 学 别 紹 介	カナダ・アメリカ	ゲルフ大学
	イギリス・オーストラリア・マレーシア	トロント大学、ニュー・サウス・ウェールズ大学
	カナダ・アメリカ	ケインズ大学、ケンブリッジ大学
	イギリス・オーストラリア・マレーシア	マウント・アリソン大学、ネブラスカ大学オマハ校

留学の計画を立てよう①

国際教育・協力センター(CIEC) 提供プログラムのほとんどが、留学に行く約4ヶ月～1年前から出願が始まります。

4年間の大学生活をどう過ごすかしっかり計画を立てて、早めに留学の準備に取り掛かりましょう！

留学の計画を立てよう②

ご自身の留学経験をより良いものにするためにも、
留学前・留学後にできることを考えて計画を立てましょう。



STEP1 プログラム選択

- 自分の英語力の把握
- 大学4年間の計画

学部での学習、資格取得(教職など)、課外活動など、どんな大学生活を送りたいか整理した上で、留学する時期や期間を決めよう。



STEP2 出願に向けての準備

- 履修状況の確認
- 学業成績や英語スコア等応募要件を確認
- ゼミ選択、必修科目の履修計画を確認
- パスポート取得
- 留学に関する情報収集

しっかり
準備をしよう!



STEP3 出発前

- 言語能力のプラスアップ
- 学部での学び・知識習得
- 留学関連科目の履修
- 学内施設の活用 (P.53参照)



出発に向けて、日本文化の理解を深める、
英語のアカデミックスキルを身につけるなど、
各留学プログラムに合った準備をしよう。

留学を有意義にする POINT!

① 留学の目的を明確にする

留学する人の数だけ留学の目的があり、留学のカタチがあります。自分の専攻分野に関する知識を深めたい、外国語能力を向上させたい、国際的な広い視野を身につけたいなど留学の目的を明確にし、具体的な目標を立てましょう。

② 留学先の情報を集める

留学先の大学や国情報、生活にかかる費用などについて事前に調べておくことで、現地到着後によりスムーズにプログラムを開始し、集中して取り組むことができます。

帰国後に留学を活かすコツ!

① 外国語能力の測定

外国語能力試験を受験し、留学の成果を測ろう。

② 留学生生活の振り返り

留学期間中に気づいたこと、楽しかったことや苦労したこと振り返りましょう。
興味が広がった人、自分自身の新しい一面を見つけた人もいるでしょう。

③ 英語力の維持・向上(さらに英語(外国語)を使おう)

学内での国際交流の機会や外国語開講科目を積極的に活用しよう。

④ 進路選択

進学・就職等に向けて、留学経験をどのように生かせるか考えよう。
インターンシップや上級プログラムへの参加もおすすめです。



皆さんは留学を考える際に、留学前後の学習についてはどのように計画を立てていますか。

CIECが提供しているプログラムは、プログラムの難易度や必要な語学力等から、初級・中級・上級と、ある程度レベル別に分かれています。留学前後の語学力向上や維持、または長期留学に向けて事前に準備をしたいと考えている方は、ぜひ以下を参考にしながらご自身の留学計画を立ててみてください。

■CIEC提供プログラム 一覧



■プログラム参加のモデルケース

① 外国語研修+交換留学(1年間)の場合

実際に参加した先輩の声を聞いてみよう!

	春学期		秋学期	
	5月 外国語研修出願	9月 交換留学出願・選考	9月 交換留学参加	・就職活動準備期間
1年生				
2年生			交換留学参加	
3年生	交換留学参加			・就職活動準備期間
4年生	・就職活動		卒業論文執筆、卒業	

【おすすめポイント】

- ・交換留学で必要となる英語スコアの取得
- ・長期留学の前に約1か月間の海外生活が体験できる

【注意事項】

- ・交換留学の参加決定後は、留学査証(ビザ)の取得手続きや事前研修への参加が必要となります。外国語研修等の短期プログラムに参加を希望する場合には、事前にCIECまで問い合わせてください。



② 海外フィールドワーク + 国際ボランティア(国連ユースボランティア)の場合 実際に参加した先輩の声を聞いてみよう!

	春学期		秋学期	
	5月 海外FW出願・選考	海外FW 参加	11月 国際ボランティア出願	国連ユースボランティア参加 ※派遣される年の9月1日時点で20歳以上であること。
1年生				
2年生	・選考 ・事前研修			
3年生			・就職活動準備期間	
4年生	・就職活動		卒業論文執筆、卒業	

【おすすめポイント】

- ・開発途上国での異文化環境を経験できる
- ・聞き取り調査や発表の手法を学ぶことができる

【注意事項】

- ・海外フィールドワークの参加経験の有無自体は、国際ボランティアの選考に影響しません。あくまでご自身のステップアップとして参加してください。海外フィールドワーク以外の初中級プログラムに参加している先輩もたくさんいます。



③ 英語中期留学(春学期) + Cross-Cultural College (CCC) の場合 実際に参加した先輩の声を聞いてみよう!

	春学期		秋学期	
	英語中期留学出願	11月 英語中期留学出願	9月 CP登録/コア科目出願	コア科目 参加
1年生				
2年生	英語中期留学参加			
3年生	・CP対象科目履修	・CP修了 ・就職活動準備期間		
4年生	・就職活動	卒業論文執筆、卒業		

【おすすめポイント】

- ・CCCで必要となる英語スコアの取得
- ・中期留学参加後の語学力維持や取得単位の活用
- ※取得単位の活用は、英語中期留学の一部大学のみに限ります。

【注意事項】

- ・CCCプログラム全体の修了には、ある程度の期間が必要です。修了を目指す場合には履修計画を確認しましょう。
- ・CP(Certificate Program)、およびコア科目の詳細についてはP.21~P.23を参照してください。



留学情報はここで入手しよう

① ウェブ

CIECウェブサイト

http://www.kwansei.ac.jp/c_ciec/



- 最新の留学・国際協力・国際交流にかかるニュースを配信!
- 毎日のイベントカレンダーや、交換留学ができる協定校一覧など、募集要項に載っていない情報も随時更新中!

Facebook

<https://www.facebook.com/KG.GLOBAL.PORT>



- 国際交流に関するイベントの予告や報告、留学中の学生からのメッセージなど、様々な情報を配信中!

メールマガジン

<http://www.kwansei.ac.jp/r/ciec-mag/>



- 登録1分! HPや掲示の中でも特に重要かつ最新の情報を毎週配信!
- 留学プログラムや国際交流イベントの情報をGETするには、メルマガに登録しましょう!

② イベント

グローバルダイアログ

留学経験のある学生と、これから留学したい学生が語る機会を設け、学習方法の発見やモチベーションアップに繋げることを目的としたイベントです。開催の情報は随時、メルマガやHPから配信します!



日時(予定)	場所	テーマ
10月4日(水) 12:45~13:25	上ヶ原 A号館203教室	法学部生対象! 外国語研修に挑戦しよう! 法学部生が留学するには? 法学部の先輩学生が語ります!
10月4日(水) 17:00~18:30	三田 アカデミックコモンズ シアタールーム	英語試験スコアUP講座 中長期留学を目指す人必見! 英語力がグヘンと伸びた先輩学生が、効果的に実力が付く勉強方法をレクチャーします。
10月6日(金) 17:00~18:30	上ヶ原 G号館グローバル ラウンジ	
12月7日(木) 17:00~18:30	上ヶ原 G号館グローバル ラウンジ	留学×就活 留学経験を就職活動に活かすには? 有名企業に内定した先輩が語る就職活動。
12月8日(金) 17:00~18:30	三田 アカデミックコモンズ シアタールーム	

③ 留学に関する相談はこれら

国際教育・協力センター(CIEC)では、留学に興味のあるみなさんのために、随時留学相談を行っています。プログラムについて相談があれば、CIECまでお越しください。

留学アドバイザーに相談しよう

留学アドバイザーは、様々な留学プログラムの紹介、プログラム別の留学条件、情報収集の仕方や、留学準備など、留学に関するご相談を個別に受け付けています。



国際教育・協力センターで留学アドバイザーをしている北澤冬子です。みなさんはどのような大学生活を送っていますか。大学の授業、クラブやサークル、アルバイト等、みなさんの過ごし方は様々でしょう。その中に「留学」というキーワードはありますか? この言葉に少しでも興味がある方は、是非チャレンジしてみましょう。留学は外国語の向上や学問を深めることはもちろん、その先に得られるものは計り知れません。みなさんとお話しするのを楽しみにしています。

こんな方におすすめ

- ✓ 留学に興味はあるけれど、何から始めて良いかわからない。
- ✓ 留学に向けてどんな準備をしたらいいんだろう。
- ✓ 留学したいけれど、海外に行ったこともないし不安。
- ✓ 交換留学の大学が多すぎてどうやって選べば良いか分からない。

そんなみなさんの不安を解消し、一緒に留学計画を考えて行ける場、「留学の窓口(個別相談)」です。お気軽に何でもご相談ください。

「留学の窓口」予約方法

国際教育・協力センターのウェブサイト(http://www.kwansei.ac.jp/c_ciec/)イベントカレンダーから個別面談予約可能時間を探しメールで予約。詳しくはCIECウェブサイトをご覧ください。

出願手続きの流れ

すべてのプログラムは、以下の流れで出願手続きを行います。



オンライン出願

- ① http://www.kwansei.ac.jp/c_ciec/にアクセスし、画面右上の「海外留学申込」を選択する。
 - ② 申請するプログラムを選択し、オンライン出願する(パソコンからの接続のみ)。
 - ③ オンライン出願の申請画面を印刷する。これが「参加申込書」となります。
 - ④ 参加申込書(上記③)に3cm×4cmの顔写真(6ヶ月以内に撮影したもの)を貼付する。
 - ⑤ 参加申込書(上記③)に本人及び保証人が直筆で署名する。
- ※オンライン出願は、各プログラム出願期間の約1ヶ月前から可能です。
※オンライン出願だけでは出願完了となりませんのでご注意ください。



提出書類の準備

- パスポートコピー、英語のスコア表や、アプリケーション書類など、各プログラムの出願に必要な書類を準備する。

※各プログラムの出願書類については、プログラムの詳細ページを参照。
※パスポートの有効期限や必要な英語スコアはプログラムによって異なります。

※出願時の注意(以下)を必ず読んでください。



出願書類の提出

- <提出先>
国際教育・協力センター(CIEC)事務室
NUC G号館1階 **KSC** アカデミックコモンズ2階
開室時間:(平日) 8:50~11:30, 12:30~16:50 (土曜) 8:50~12:20
※出願書類一式の提出をもって出願完了となります。

● 出願時の注意

① プログラムの併願について

- 原則として、複数の留学プログラムの併願は認められません。
プログラム選択を迷っている場合は、早めにCIEC事務室まで相談してください。

② 保証人(保護者)の署名

- すべてのプログラムにおいて、参加申込書をはじめとする出願書類に保証人(保護者)の署名が必要です。
特に保証人が近くにお住まいではない場合は、出願期間に余裕をもって出願書類の作成に取り掛かりましょう。

③ パスポートの準備

すべてのプログラムにおいて、パスポートコピーの提出が必要になります。早めに取得しましょう。

■ パスポートを所持していない場合

各都道府県の旅券事務所で交付の申請手続きを行ってください。

パスポートは申請後、受領するのに7日~10日程かかります。以下の外務省のウェブサイトを確認し、早めにパスポート申請の準備を進めましょう。

■ パスポートを所持している場合

パスポートの有効期限が切れていないか確認しましょう。留学する際、パスポートの有効期限が一定期間以上残っていることがあります。希望する留学先国のパスポート有効期間を確認し、不足する場合は、各都道府県の旅券事務所で更新手続きを行ってください。
※必要な有効期間は、各国で異なりますので各大使館・総領事館のウェブサイトで確認してください。

● パスポート申請から受領まで(外務省ウェブサイト)

http://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/passport/pass_2.html

● 住民登録していない都道府県で申請する場合(居所申請)

自宅以外で大学近くで暮らしている方は、現在住んでいる兵庫県で居所申請をすることができます。

通常のパスポート申請よりも必要書類が多いので、各自治体のウェブサイトで手続き方法を確認してください。
<参考>兵庫県での居所申請について(兵庫県旅券事務所ウェブサイト)

http://www.hyogo-passport.jp/modules/ryoken/index.php/main/g_idokoro.html

有効なパスポートがないと
渡航できません!



プログラム参加に当たっての注意

● 健康に関する事項

- 各プログラムへの参加は、心身ともに健康状態が良好であることが前提です。
- 現在治療中の病気、心や身体の健康面で心配なことがある人は、留学に関して主治医などに相談して意見をもらっておきましょう。
- 毎年4月に大学で実施している定期健康診断を受けておくことも必要です(無料)。後日、留学手続きの際に健康診断証明書の提出が必要となる場合があります。

● 無断でオリンピック・事業研修を欠席した場合、参加が取り消されることがあります。

● ビザやパスポートが取得できない場合、プログラムに参加することはできません。

● 研修の参加費にはビザやパスポート取得費用、その他個人的な費用は含まれません。

● 個別に旅程を変更することはできません。

● 参加決定後に参加を取りやめる場合は、取消料金が必要です。取消料金はプログラムによって異なりますので、詳細は参加決定者対象のオリエンテーションなどで確認してください。

● 今後の国際情勢の変化やその他止むを得ない事情によっては、本学の判断により、プログラムを中止または変更することがあります。

● 不慮の事故や損害に対して、本学は一切の責任を負いません。

● 本学において修学上のサポートを受けている場合は、留学に関して事前に関連部署局に相談してください。

1-1 春季外国語研修(2月~3月)

外国語研修とは…

春休み・夏休みの授業がない時期を利用して、海外の協定校で英語・中国語・朝鮮語・スペイン語などの言語を3~6週間で集中的に学習する短期プログラムです。本プログラムは「短期留学奨学金」の対象プログラムで、申請者には3万円(アジア)もしくは5万円(アジア以外)の奨学金が支給されます。

こんな人におすすめ!

夏休み・春休みを有効に活用して言語を学びたい!

いきなり中長期留学は不安…まずは短期で試したい!

海外初挑戦! 留学初挑戦!

部活や実習があって長期の留学ができない…

交換留学に向けて語学力を伸ばしたい!

◆英語研修

国名	大学名	出発日～帰国日	募集人数	滞在方式/食事	参加費
アイルランド	ダブリン・シティ大学	2/17(土)～3/19(月) (31日間)	50名	ホームステイ 平日:朝夕 土日祝日:朝昼夕	約44万円
イギリス	ケンブリッジ大学	2/17(土)～3/17(土) (29日間)	36名	ホームステイ 平日:朝夕 土日祝日:朝昼夕	約60万円
	レスター大学	2/10(土)～3/11(日) (30日間)	24名	寮 (食事なし)	約52万円
マレーシア	マラヤ大学	2/18(日)～3/11(日) (22日間)	25名	寮 平日:朝夕	約26万円
オーストラリア	ニュー・サウス・ウェールズ大学	2/3(土)～3/11(日) (37日間)	50名	ホームステイ 平日:朝夕 土日祝日:朝昼夕	約56万円
	アデレード大学	2/10(土)～3/4(日) (23日間)	18名	ホームステイ 朝夕夕	約43万円
カナダ	カルガリー大学	2/10(土)～3/18(日) (37日間)	20名	ホームステイ 朝夕夕	約49万円
	マウント・アリソン大学	2/4(日)～3/20(火) (45日間)	39名	寮 朝夕夕	約62万円
	トロント大学	2/4(日)～3/4(日) (29日間)	50名	ホームステイ 朝夕	約47万円
	ピクトリア大学	2/4(日)～3/4(日) (29日間)	30名	ホームステイ 朝夕夕	約48万円
アメリカ	カリフォルニア大学アーバイン校	2/4(日)～3/4(日) (29日間)	40名	ホームステイ 平日:朝夕 土日祝日:朝昼夕	約64万円

◆スペイン語研修

国名	大学名	出発日～帰国日	募集人数	滞在方式/食事	参加費
スペイン	アリカンテ大学	2/4(日)～3/4(日) (29日間)	15名	ホームステイ 朝夕夕	約38万円

◆中国語研修

国名	大学名	出発日～帰国日	募集人数	滞在方式/食事	参加費
台湾	東海大学	3/4(日)～3/24(土) (21日間)	15名	寮 (食事なし)	約28万円

◆朝鮮語研修

国名	大学名	出発日～帰国日	募集人数	滞在方式/食事	参加費
韓国	慶熙大学	3/4(日)～3/24(土) (21日間)	20名	寮 (食事なし)	約20万円

◆ビジネス英語研修

国名	大学名	出発日～帰国日	募集人数	滞在方式/食事	参加費
アメリカ	カリフォルニア大学デイビス校	2/8(木)～3/11(日) (32日間)	25名	ホームステイ 平日:朝夕 土日祝日:朝昼夕	約59万円

自分にぴったりのプログラムを見つけよう～外国語研修編～

○○な大学BEST3!!

どっちが好み? 都会 or 郊外

都会 1位 トロント大学

2位 ニュー・サウス・ウェールズ大学
3位 ダブリン・シティ大学

郊外 1位 マウント・アリソン大学

2位 ケンブリッジ大学
3位 ピクトリア大学

サッカーピルはいい意味で田舎なので勉強に集中するにはもってこいの場所でした。(文学部1年)
現地の人は日本人よりも遙かに親切で、手を差し伸べることの大切さを改めて感じました。(法学部1年)



初心者におすすめ!

1位 アデレード大学

2位 カルガリー大学
3位 ダブリン・シティ大学



今季からの新規大学ですが、現地に日本人スタッフもいて、困ったときに頼れる人がいることは留学初心者にとって心強いです。
(CIECスタッフ)

寒い日本を脱出できる!

1位 マラヤ大学

2位 アデレード大学
3位 ニュー・サウス・ウェールズ大学



外は激暑、室内は冷房ガンガン! 暑い東南アジアを味わえます。
(社会学部2年)

現地の学生と交流したい!

1位 マラヤ大学

2位 マウント・アリソン大学
3位 レスター大学



プログラム選択のPOINT

①行き先で選ぶ
まずどの国・地域に行ってみたいか考えてみましょう。北米、アジア、ヨーロッパなど、異なる文化をもつ様々な地域のプログラムがあります。

②滞在方式で選ぶ
ホームステイ、寮どちらで生活したいか考えてみましょう。ホームステイは現地の一般家庭の文化を体験でき、寮は共同生活や、プログラムによっては他の留学生との交流も体験できます。

③期間で選ぶ
どれくらいの期間学習したいか考えてみましょう。プログラムによって3週間と短いものから、6週間の長いプログラムまであります。

④プログラムの特徴で選ぶ
外国语の学習以外に何を求めるか考えてみましょう。例えば、現地学生と交流機会がある、ビジネスを学べる、授業が易しく初心者でも安心、アクティビティがプログラムに組まれているなどです。



6週間の長い期間集中して勉強できた。英語力が不安だったけど、授業もついていけたし誰にも負けない6週間を過ごせた自信があります。(文学部1年)

できるだけ長い期間勉強したい!

1位 マウント・アリソン大学(45日間)

2位 ニュー・サウス・ウェールズ大学(37日間)
2位 カルガリー大学(37日間)



英語研修プログラム

ダブリン・シティ大学

Dublin City University

【プログラム実施期間】

2018

2.19-3.17

日本出発日:2018.2.17
日本到着日:2018.3.19

大学情報

所在国・地域	大学創立年	学生数	大学情報
アイルランド ダブリン市	1989年	約12,000名	

募集人数 参加費(概算)

50名	総額:約44万円(1ユーロ=135円換算)
-----	-----------------------

プログラムの特徴・授業について

ダブリン・シティ大学ランゲージサービス(アイルランド政府認定校:ACELS)が実施する「General English」を受講します。

- ◆スピーキング、リスニング、ライティング、文法、発音等に重点を置いた内容です。
- ◆プログラム期間中、関学生のみが受講する「Cultural Studies Program」が週1回あります。この授業では、アイルランドの歴史、経済、法制度、文化等を学んだり、最終週には現地学生や留学生を招待して日本文化を紹介する「Japan Day」というイベントを開催します。
- ◆3/17のセントパトリックスデーのイベントに参加し、アイルランドの文化を体験します。

授業時間数 レベル別 クラス 滞在形式 食事

1日約4時間 週約22時間	あり	ホームステイ	平日:朝夕 土日祝日:朝昼夕
------------------	----	--------	-------------------

アクティビティ・フィールドトリップ、その他情報

平日は毎日14時から無料のアクティビティが提供されています。週末には、有料のエクスカーションに参加可能です。

【アクティビティ例(一部有料)
Film Discussion Class, Irish Dancing, Museum Trips, Conversation Support Class, Career Workshop等
【フィールドトリップ例(有料)
モハーの断崖、グレンダロッホ、キルケニー等



おすすめポイント

アイルランドの文化を体験できるアクティビティや授業が充実しています!

英語研修プログラム

ケンブリッジ大学

University of Cambridge

【プログラム実施期間】

2018

2.18-3.15

日本出発日:2018.2.17
日本到着日:2018.3.17

大学情報

所在国・地域	大学創立年	学生数	大学情報
イギリス イングランド ケンブリッジ市	1209年	約20,000名	

募集人数 参加費(概算)

36名	総額:約60万円(1ポンド=150円換算)
-----	-----------------------

プログラムの特徴・授業について

ケンブリッジ大学のヒューズホールが実施する実践発信型英語研修を受講します。

- ◆基本的語彙力、文法力だけでなく、スピーキング、ライティングによるプレゼンテーションを重視した研修です。
- ◆e-Learningによるフォローアップ学習があります。
- ◆英国の歴史・文化を講義やフィールドトリップに参加します。
- ◆教室内外ではなく、大学博物館や植物園、自然史博物館など、ケンブリッジ大学の様々な施設を利用して授業が行われます。

授業時間数 レベル別 クラス 滞在形式 食事

1日約4時間 週20時間	あり	ホームステイ	朝夕
-----------------	----	--------	----

アクティビティ・フィールドトリップ、その他情報

週末はホストファミリーと過ごしたり、大学が主催するフィールドトリップやアクティビティに現地の学生と共に参加可能です。

【フィールドトリップ例】
ロンドン、コッソウオルズ、バス、ストーンヘンジ等
※上記は参加費に含まれます。



おすすめポイント

それぞれのトピックについて意見を交換する授業が多く、今まで英語でプレゼンテーションしたことがないので緊張しましたが、すごくいい経験で自分を成長させることができました。

ケンブリッジを選んで本当に良かったです。自分の価値観や考え方には大きな影響を与えてくれました。

世界的に有名な大学で学び様々なフィールドトリップに参加することで、イギリスの文化や歴史を肌で感じることができます!

英語研修プログラム

レスター大学

University of Leicester

【プログラム実施期間】

2018

2.12-3.9

日本出発日:2018.2.10
日本到着日:2018.3.11

大学情報

所在国・地域	大学創立年	学生数	大学情報
イギリス イングランド レスター市	1921年	約13,000名	

募集人数 参加費(概算)

24名	総額:約52万円(1ポンド=150円換算) ※食事代は別途各自負担となります。
-----	--

プログラムの特徴・授業について

レスター大学のEnglish Language Teaching Unitが実施する「4-week English and British Culture Programme」を受講します。

◆英語だけでなくイギリスの文化、歴史、政治、文学等についての授業も行われます。

◆授業の一環として現地の小学校を訪問し、日本語・日本文化を紹介する機会も設けられる予定です。

授業時間数 レベル別 クラス 滞在形式 食事

週15時間	あり	寮	なし
-------	----	---	----

アクティビティ・フィールドトリップ、その他情報

現地の学生とアクティビティやフィールドトリップに参加します。オプショナルツアーやオプショナルツアーも豊富に用意されています。

【フィールドトリップ例】
オックスフォード、ストラットフォード日帰りトリップ、ロンドン宿泊研修等

※上記は参考費に含まれます。

【オプショナルツアーエ】
ケンブリッジ日帰りツアーや、リバーブル日帰りツアーや、エディンバラ宿泊旅行、ハーリーポッターランド見学等

最初は授業についていくのが不安でしたが、イギリス文化や習慣を学びながら、楽しく英語の勉強をすることができました。

たくさんの課外活動に参加したのですが、現地スタッフやパディがとても親切で、充実していました。行ってみたかった場所へも行き尽くせた気がします。ロンドンへの旅行が特に楽しかったです!

数えきれないぐらいの経験ができる、本当に楽しかった。二度とこんな経験はできない。このプログラムは人間を成長させてくれる。

おすすめポイント

パディとたくさんの課外活動に参加できる!イギリスの有名な場所に行きたい人におすすめ!

英語研修プログラム

マラヤ大学

University of Malaya

【プログラム実施期間】

2018

2.19-3.9

日本出発日:2018.2.18
日本到着日:2018.3.11

大学情報

所在国・地域	大学創立年	学生数	大学情報
マレーシア クアラルンプール市	1905年	約17,580名	

募集人数 参加費(概算)

25名	総額:約26万円(1USドル=115円換算)
-----	------------------------

プログラムの特徴・授業について

マラヤ大学のFaculty of Arts and Social Sciences(人文社会学部)以下「FASS」が実施するにコースを受講します。

◆午前は、「読む、聞く、話す」の総合的な英語力アップを目指します。

◆午後は、英語の実践(朗誦、英語劇、ディベート大会など)と、マレーシア文化の理解を目的とした各種実習(アクトビティ・フィールドトリップ例参照)が予定されています。

◆マラヤ大学に在籍する現地学生が相手となり、教室内外で補助を行ってくれるBuddy Programがあり、マラヤ大学生と交流を深めることができます。

授業時間数 レベル別 クラス 滞在形式 食事

1日4時間 週20時間	あり	寮	平日:朝夕
----------------	----	---	-------

アクティビティ・フィールドトリップ、その他情報

FASSが企画する、マレーシア文化に触れる様々なフィールドトリップやアクティビティに参加します。なお、下記イベントは全て参加費に含まれます。

【アクトビティ例】
日本語専攻学生との交流会、伝統音楽、舞踊体験、地域貢献活動、ホームステイ体験

【フィールドトリップ例】
国立博物館、クアラルンプール市内巡り、世界遺産登録都市「マラッカ」日帰り観光、クアラルンプール郊外自然保護区、行政新都市「プトラジャヤ」訪問

たくさんの友達が出来ました

パディの存在が本当に大きかったです。語学学習だけでなく、異文化理解を深めたり、日本人について考えるいい機会になりました。現地での体験は大きな宝物です。

Buddyと一緒に

世界遺産マラッカへのフィールドトリップ

Buddyと寝食を共にすることで、1日中英語に触れるだけでなく、異文化への理解が深まります。価値観や考え方方が大きく変わる体験をしよう!

英語研修プログラム

ニュー・サウス・ウェールズ大学

The University of New South Wales

【プログラム実施期間】

2018

2.5-3.9

日本出発日:2018.3.3
日本到着日:2018.3.11

大学情報

所在国・地域	大学創立年	学生数	大学情報
オーストラリア ニュー・サウス・ウェールズ州 シドニー市	1949年	約55,000名	

募集人数	参加費(概算)
50名	総額:約56万円(1AUドル=90円換算) ※電子入国許可(ETA)の申請が必要(別途AU\$20)。



プログラムの特徴・授業について

ニュー・サウス・ウェールズ大学のUNSW Globalが実施する「Essential English Program」のコースを受講します。

- ◆文法、語彙、発音に力を入れ、コミュニケーション能力の強化を目指します。
- ◆1クラス18名を上限とした小規模なクラスです。
- ◆プログラム初日のプレイスメントテストの結果により、以下のいずれかのコースに振り分けられます。

• Essential English: 総合的な英語を学ぶ
• Career English: 英語4技能に加え、ビジネスの場で必要となるスキルを学ぶ

授業時間数

授業時間数	レベル別 クラス	滞在形式	食事
1日4時間 週20時間	あり	ホームステイ	平日:朝夕 土日祝日:朝昼夕

アクティビティ・フィールドトリップ、その他情報

Activities Officeで様々なアクティビティ(一部有料)や週末のフィールドトリップに申し込むことができます。

【フィールドトリップ例(有料)】
ブルーマウンテンズ国立公園ツアー、ドルфин・ウォッキング、ハンターバレー・ワナリー巡り



おすすめポイント
放課後や休日に決められたアクティビティがないので自分で自由に計画・行動したい人におすすめ!オーストラリアのベストシーズンを満喫!

英語研修プログラム

アデレード大学

The University of Adelaide

【プログラム実施期間】

2018

2.12-3.2

日本出発日:2018.2.10

日本帰国日:2018.3.4

大学情報

所在国・地域	大学創立年	学生数	大学情報
オーストラリア 南オーストラリア州 アデレード	1874年	約25,000名	

募集人数	参加費(概算)
18名	総額:約43万円(1AUドル=90円換算) ※電子入国許可(ETA)の申請が必要(別途AU\$20)。



おすすめポイント
初級者向けプログラム!(必要に応じて日本人スタッフがサポート)
現地学生と一緒に行くショート・トリップ(グレネグビーチ、フリンジフェスティバル)、アデレードのカフェ・カルチャー探訪、ブッシュダンス

プログラムの特徴・授業について

アデレード大学の English Language Centre (ELC) が実施する「3 Week Beginners English + Australian Cultural Activities Study Tour Program」を受講します。

- ◆「英語が不得意」「海外が初めて」「留学に不安がある」そんな方にピッタリの初級者向けプログラムです。
- ◆英語4技能(スピーキング・リスニング・リーディング・ライティング)の向上を目的として、関学学生向けに特別に開講されます。
- ◆授業に加え、ホームステイ体験やアクティビティを通じての学びがバランスよく組み込まれています。

授業時間数

授業時間数	レベル別 クラス	滞在形式	食事
1日4時間 週20時間	なし	ホームステイ	朝昼夕

アクティビティ・フィールドトリップ、その他情報

【アクティビティ・フィールドトリップ例】
現地学生と一緒に行くショート・トリップ(グレネグビーチ、フリンジフェスティバル)、アデレードのカフェ・カルチャー探訪、ブッシュダンス

英語研修プログラム

カルガリー大学

University of Calgary

【プログラム実施期間】

2018

2.12-3.16

日本出発日:2018.2.10
日本到着日:2018.3.18

大学情報

所在国・地域	大学創立年	学生数	大学情報
カナダ アルバータ州 カルガリー	1966年	約30,000名	

募集人数	参加費(概算)
20名	総額:約49万円(1CAドル=90円換算) ※電子渡航認証(eTA)の申請が必要(別途C\$7)。



プログラムの特徴・授業について

カルガリー大学のEnglish Language Programが実施する「Intensive Program Winter II」を受講します。

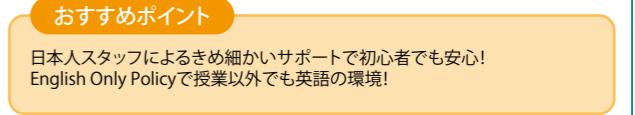
- ◆英語によるコミュニケーション・スキル(スピーキング・リスニング)の向上を目的としたプログラムです。
- ◆コミュニケーション重視の課題、グループ・ペアでの会話練習、グループワークやワークショップを通して実際に使える英語を身に付けることができます。
- ◆授業やアクティビティ等では常に英語を使うことが求められるEnglish Only Policyが掲げられており、学んだものを活かすことを心がける環境が整えられています。

授業時間数	レベル別 クラス	滞在形式	食事
1日5.5時間 週25時間	あり	ホームステイ	朝昼夕

アクティビティ・フィールドトリップ、その他情報

【アクティビティ例】
ダウンタウンのツアー、St. Patrick's Dayのパーティー等

【フィールドトリップ例】
冬のカナディアン・ロッキーの魅力を楽しめるスキーリゾートでの日帰りスキー、自然豊かなバンフ国立公園への1泊旅行等



おすすめポイント

日本人スタッフによるきめ細かいサポートで初心者でも安心!
English Only Policyで授業以外でも英語の環境!

英語研修プログラム

マウント・アリソン大学

Mount Allison University

【プログラム実施期間】

2018

2.5-3.17

日本出発日:2018.2.24
日本到着日:2018.3.20

大学情報

所在国・地域	大学創立年	学生数	大学情報
カナダ ニューブランズウィック州 サックビル市	1839年	約2,300名	

募集人数	参加費(概算)
39名	総額:約62万円(1CAドル=90円換算) ※電子渡航認証(eTA)の申請が必要(別途C\$7)。



おすすめポイント

特に留学が初めての人や勉強に集中したい人はマウント・アリソン大学が本当におすすめです!英語力に不安がありましたら、誰にも負けない6週間を過ごせた自信があります。挑戦してみてください。

冬のカナダを満喫できるアクティビティ・フィールドトリップが含まれています。

【アクティビティ例】

カーリング、アイススケート、アイスホッケー、スポーツ観戦、バレンタインパーティー等

【フィールドトリップ例】

モンク顿日帰り観光、メープルシュガー工場見学等

Conversation Partnerと定期的な交流機会がある!

郊外の落ちていた雪団気で、英語を習得するには抜群の環境!

英語研修プログラム

トロント大学

University of Toronto

【プログラム実施期間】
2018
2.5-3.2
日本出発日:2018.2.4
日本到着日:2018.3.4

大学情報				募集人数	参加費(概算)
所在国・地域	大学創立年	学生数	大学情報		
カナダ オンタリオ州 トロント市	1827年	約80,900名		50名	総額:約47万円(1CAドル=90円換算) ※電子渡航認証(eTA)の申請が必要(別途C\$7)。
プログラムの特徴・授業について					
<p>トロント大学のSchool of Continuing Studiesが実施する「English Plus」を受講します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆1クラス18名を上限とした小規模なクラスとなります。 ◆スピーキングに重点を置き、多様なトピックを題材に、様々な状況や議論に対応できるスピーキング力を身につけることが目標です。 ◆個別に長所・短所についてフィードバックがあります。 					
授業時間数	レベル別 クラス	滞在形式	食事		
1日4時間 週20時間	あり	ホームステイ	朝夕		
アクティビティ・フィールドトリップ、その他情報					
<p>トロント市内観光やナイアガラの滝へのフィールドトリップなどが予定されています(参加費に含まれます)。また、有料のフィールドトリップ先として以下のものをはじめ、毎週様々なアクティビティが企画されており、希望者は参加することができます。</p> <p>【フィールドトリップ例(有料)】 Ripley's Aquarium、Skiing and Snowboarding、Winter Camping Trip等</p>					

英語研修プログラム

ビクトリア大学

University of Victoria

【プログラム実施期間】
2018
2.5-3.2
日本出発日:2018.2.4
日本到着日:2018.3.4

大学情報				募集人数	参加費(概算)
所在国・地域	大学創立年	学生数	大学情報		
カナダ ブリティッシュ・コロンビア州 ビクトリア	1963年	約22,000名		30名	総額:約48万円(1CAドル=90円換算) ※電子渡航認証(eTA)の申請が必要(別途C\$7)。
プログラムの特徴・授業について					
<p>ビクトリア大学のEnglish Language Centreが実施する「Monthly English」を受講します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆カナダ文化の理解に加え、英語によるコミュニケーション・スキル(スピーキング・リスニング)の向上に焦点を当てた内容となっています。ボキャブラリーを増やすだけでなく、正しく使えるようになることが目標です。 ◆アクティビティやワークショップ、フィールドトリップが多く準備されており、毎週金曜は生きた英語を学べるプログラムが実施されます。 ◆月曜から木曜までは英語を集中的に学び、金曜はフィールドトリップでビクトリアの名所を訪れたり、ゲストスピーカーによる講義や現地ボランティアによるカナダの文化を学ぶワークショップに参加する機会があります。 					
授業時間数	レベル別 クラス	滞在形式	食事		
1日5時間 週20時間	あり	ホームステイ	朝昼夕		
アクティビティ・フィールドトリップ、その他情報					
<p>Cultural Assistant(CA)と呼ばれるビクトリア大学生が準備する無料のアクティビティや週末のツアーやイベント(有料)に参加できます。</p> <p>【フィールドトリップ例(有料)】 ホエールウォッチング、ブッチャート・ガーデン散策、ホッケーゲーム観戦等</p>					

英語研修プログラム

カリフォルニア大学アーバイン校

University of California, Irvine

【プログラム実施期間】
2018
2.5-3.2
日本出発日:2018.2.4
日本到着日:2018.3.4

大学情報				募集人数	参加費(概算)
所在国・地域	大学創立年	学生数	大学情報		
アメリカ カリフォルニア州 アーバイン市	1965年	約31,500名		40名	総額:約64万円(1USドル=115円換算) ※電子渡航認証(ESTA)の申請が必要(別途US\$14)。
プログラムの特徴・授業について					
<p>カリフォルニア大学アーバイン校(UCI)が実施する「Conversation and Culture Program」を受講します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆総合的な基礎英語力の修得を目的とした内容となっています。 ◆午前中のクラスは、リスニング、スピーキング、リーディング、ライティングの各分野における総合的な基礎語学力の向上を図るカリキュラムです。 ◆午後は、関学生独自のクラスで、語学学習をサポートするConversation Partner(CP)であるUCIの学生とスポーツや文化交流をしたり、大学の近隣のサイトビギットが実施されます。 					
授業時間数	レベル別 クラス	滞在形式	食事		
1日3時間 週15時間	あり	ホームステイ	平日:朝夕 土日祝日:朝昼夕		
アクティビティ・フィールドトリップ、その他情報					
<p>平日の午後は、無料のイベントや有料のアクティビティに参加できます。週末は大学が主催する各種フィールドトリップやアクティビティに参加可能です。</p> <p>【アクティビティ例(一部有料)】 ブーリーパーティー、スポーツ、アウトレット、NBA観戦、ナイトマーケット等</p> <p>【フィールドトリップ例(有料)】 ディズニーランド、ユニバーサルスタジオ、サンディエゴオールドタウン&アウトレット等</p>					

スペイン語研修プログラム

アリカンテ大学

Universidad de Alicante

【プログラム実施期間】
2018
2.5-3.2
日本出発日:2018.2.4
日本到着日:2018.3.4

大学情報				募集人数	参加費(概算)
所在国・地域	大学創立年	学生数	大学情報		
スペイン バレンシア州 アリカンテ県	1979年	約32,000名		15名	総額:約38万円(1ユーロ=135円換算)
プログラムの特徴・授業について					
<p>アリカンテ大学語学教育センターが実施する「Curso de Español インテンシブランゲージコース」を受講します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆約50ヵ国の学生が学ぶ国際色溢れるキャンパスでは、外国人がスペイン語を学習するための最適な環境を提供しています。スペイン語コースの受講者は年齢層も幅広く、大学生に限らず様々な職業の社会人やシニア層の人たちも多く学んでおり、様々な人種の学生が共存しています。 ◆1クラス15名を上限とした小規模なクラスとなります。 ◆コース修了には、全日程の80%以上の出席が必要です。 					
授業時間数	レベル別 クラス	滞在形式	食事		
1日3時間 週15時間	あり	ホームステイ	朝昼夕		
アクティビティ・フィールドトリップ、その他情報					
<p>有料あるいは無料で様々なアクティビティが用意されています。</p> <p>【アクティビティ例(無料)】 ・インテルカンピオ(アリカンテ大学で日本語を学ぶ学生との語学交流会) ・地元企業見学、ウェルカムパーティー</p> <p>【アクティビティ例(有料)】 フィールドトリップ(バルセロナ、グラナダなど)、バレンシア遠足、トレッキング、ワイナリー見学、料理教室、食事会など</p>					

中国語研修プログラム

東海大学
Tunghai University

【プログラム実施期間】

2018

3.5-3.23

日本出発日:2018.3.4
日本到着日:2018.3.24

大学情報

所在国・地域	大学創立年	学生数	大学情報
台湾 台中市	1955年	約17,000名	

募集人数 参加費(概算)

15名

総額:約28万円(1USドル=115円換算)

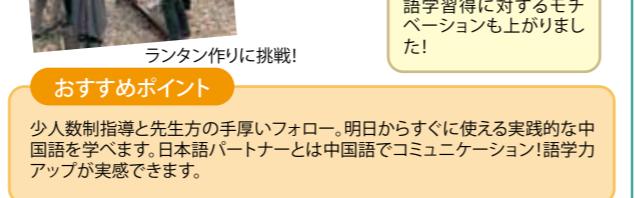
※食事代は別途各自負担となります。

プログラムの特徴・授業について

東海大学中国語センターが実施する「3週間短期集中」コースを受講します。
◆少人数クラスで行われます。
◆本プログラムは台湾、香港、マカオ等で使用されている繁体字の中国語学習となります。中国本土で使用されている簡体字とは異なりますので注意してください。
◆中国語の授業だけでなく、「台湾を知る」ための特別講座や東海大学の学生との交流、キャンパスツアー、台湾茶道や捏ね人(駄菓子人形)作りの文化体験、学外ツアーなども含まれています。
◆現地滞在中は東海大学の学生がサポートしてくれるため、中国語で交流する機会が多くあります。

授業時間数 レベル別 クラス 滞在形式 食事

1日3.5時間~5時間 週17時間~20時間	あり	寮	なし
---------------------------	----	---	----



おすすめポイント

食べ物もおいしく、物価も安く、過ごしやすい!台湾が大好きになつたし、語学習得に対するモチベーションも上がりまし
た!

アクティビティ・フィールドトリップ、その他情報

平日午後は、様々なアクティビティに参加、週末にはフィールドトリップも予定されています。
【アクティビティ例】中國結び体験、水墨画体験、龍のひげ飴体験
【フィールドトリップ例】九份老街、野柳地質公園、士林夜市、中正紀念堂、台北101、三峡老街

ランタン作りに挑戦!

少人数制指導と先生方の手厚いフォロー。明日からすぐに使える実践的な中国語を学べます。日本語パートナーとは中国語でコミュニケーション!語学力アップが実感できます。

朝鮮語研修プログラム

慶熙大学
Kyung Hee University

【プログラム実施期間】

2018

3.5-3.23

日本出発日:2018.3.4
日本到着日:2018.3.24

大学情報

所在国・地域	大学創立年	学生数	大学情報
韓国 ソウル特別市	1949年	約32,000名	

募集人数 参加費(概算)

20名

総額:約20万円(100ウォン=10円換算)

※食事代は別途各自負担となります。



おすすめポイント

とにかく分かりやすくて丁寧な授業です。リスニングやスピーキング力の向上が実感できました。
まるで神殿や大聖堂のような建物

プログラムの特徴・授業について

慶熙大学国際教育院が実施する「春季3週間課程研修」を受講します。
◆午前中は、スピーキング・リスニングを中心とした機能別授業を受けます。
◆午後は、韓国文化に関する授業を受けます(計4回)。(韓国の礼儀、韓国の遊び、韓国の歌、韓国のドラマなど)
◆希望者は、文化授業の代わりに、作文・読解の授業を選択できます。
◆プログラム中に2回、現地学習(フィールドトリップやアクティビティ)が予定されています。

授業時間数 レベル別 クラス 滞在形式 食事

1日4時間 週20時間	あり	寮	なし
----------------	----	---	----

アクティビティ・フィールドトリップ、その他情報

韓国文化体験として、下記の現地学習(フィールドトリップ)が予定されています。
【現地学習例】陶芸体験、民族村、国立博物館、公演観覧、Nソウルタワーなど

おすすめポイント

担任制度で、生活や学習の相談も安心。
トゥミ制度(バディ制度)があり、個人的な交流を通して、会話の練習だけでなく韓国の多様な文化を知ることができます。

ビジネス英語研修プログラム

カリフォルニア大学デイビス校
University of California, Davis

【プログラム実施期間】

2018

2.9-3.9

日本出発日:2018.2.28
日本到着日:2018.3.11

大学情報

所在国・地域	大学創立年	学生数	大学情報
アメリカ カリフォルニア州 デイビス市	1905年	約35,000名	

募集人数 参加費(概算)

25名

総額:約59万円(1USドル=115円換算)
※電子渡航認証(ESTA)の申請が必要(別途US\$14)。

スポーツアクティビティ

サイトビジット

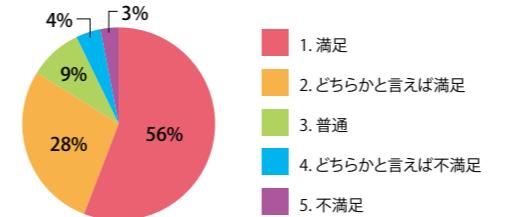
先生と

おすすめポイント

アメリカの会社へのサイトビジットもあり、国際ビジネスや起業に興味がある人におすすめ。
先生の指導も丁寧で、分かるまで熱心に教えてくれる!

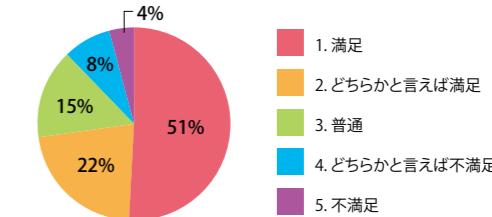
2016年度春季外国語研修 参加者アンケート結果

全体を通じた満足度



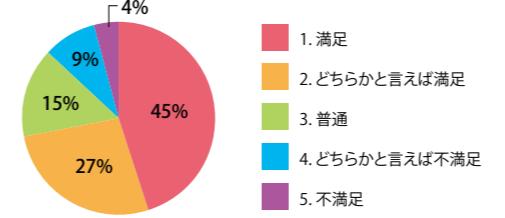
英語がとても苦手な私でも1ヶ月間生活することができました。(ダブリン・シティ大学)／どのプログラムを選んでも自分の計画力と行動力が重要であると思います。(ニューサウス・ウェールズ大学)／私は1人でこのプログラムに応募しましたが、大切な友人ができ、1人で行動する力がつきました。(カリフォルニア大学バークレー校)／自分から積極的に学ぶ姿勢がないと得られるものがないということを痛感しました。(ケンブリッジ大学)／本当に自分の視野が広くなった研修で、いい意味でも悪い意味でもカルチャーショックというものを感じることができました。(マラヤ大学)

滞在先の満足度



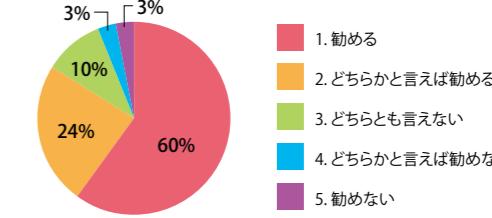
非常に治安も良く住みやすい都市でした。(アーリントン大学)／来てすぐに家のルールを確認したことは、ホスト先で気持ちよく生活することができた理由の1つでもあったと思います。(ケンブリッジ大学)／田舎ではありませんが、最低限のお店は近くにあり、カフェなど楽しめるところもあって満喫することができました。(マウント・アーリソン大学)／寮では初対面の方とのルームシェアで、良くも悪くも気を遣うことが大事だと思いました。(慶熙大学)／自炊をしなければならないため、イギリスのスーパーに行くことが多く、それがまた楽しかったです。(レスター大学)

授業の満足度



先生が親切で、英語で話すのに時間がかかるまで待って聞いてくれました。(トロント大学)／全体的にビジネスについて英語で学ぶのでレベルが高かったです。先生が分かるまで丁寧に説明してくれました。(カリフォルニア大学デイビス校)／最初は先生の言葉を理解することができませんでしたが、授業で日常会話のフレーズを覚えたり、実際に話してみたりすることで最後は理解できました。(東海大学)／単語の意味を理解し、表情豊かに発音するという授業を通して英語という言語に親しみを持てるようになりました。(マラヤ大学)／毎日授業が楽しみに思えるほど、全ての授業が充実していました。(マウント・アーリソン大学)

他の学生にこのプログラムを勧めたいか



初めての留学や初めての海外という理由で参加を迷っている人は是非おすすめしたいです。(カリフォルニア大学デイビス校)／楽しかっただけで終わらせないために、自分から学び積極的に行動する姿勢が何よりも大切です。(ケンブリッジ大学)／英語が苦手な私も楽しめたので是非参加してください!(ダブリン・シティ大学)／1ヶ月という短い期間ではありますが、本人の意識次第でこの経験の価値も変わってくると思います。恥をかくことを恐れずに自分から積極的に行動していってください!(トロント大学)／英語が苦手でも会話はできます。友達もできます。不安を感じていても一步踏み出してください。(マウント・アーリソン大学)

出願手続き

■出願期間
2017年10月11日(水)～13日(金)

※受付時間は事務室開室時間のみ
[平日] 8:50～11:30、12:30～16:50
[土曜] 8:50～12:20

■出願先
国際教育・協力センター(CIEC)
NUC G号館1階
KSC アカデミックコモンズ2階

■対象
学部学生
・学部学生だけで定員に満たない場合のみ、大学院生の参加も可能です。
・2018年3月に卒業予定の学生は以下の大学には参加できません。
ダブリン・シティ大学、カルガリー大学、マウント・アリソン大学、東海大学、慶熙大学

■募集人数
募集人数については、各プログラムのページ(P.12～P.19)の募集人數欄を参照してください。
※定員に達しなかった場合のみ、10月30日(月)～11月1日(水)に追加募集を実施します。

■選考方法
書類選考
※申込者多数の場合のみ抽選を行います。(参加申込書には第1希望～第6希望まで記入可能)

■出願に関する注意
・参加人数が最少催行人数に満たない場合は、プログラムを中止する可能性があります。
・2月9日(金)、10日(土)、13日(火)は、秋学期定期試験追試験日です。これらの日に試験が実施される場合、プログラムによっては、渡航日の関係から受験することができませんので、了解のもと出願してください。
・本募集要項に記載の渡航日程および内容は受け入れ大学の都合等により変更されることがあります。

■参加者決定から出発までのスケジュール

出願	2017年10月11日(水)～13日(金)	参加費残金振込	2017年12月4日(月)
参加者発表	10月18日(水)	渡航説明会	2018年1月13日(土)
参加手続き説明会	10月19日(木)、20日(金)※いずれか1日に参加すること	危機管理研修	1月27日(土)
申込金振込	10月27日(金)	出発	1月末～3月末
オリエンテーション	11月25日(土)	事後研修	3月中

【注意】参加手続き説明会、オリエンテーション、渡航説明会、事後研修は全員参加必須です。なお、無断欠席、遅刻、提出物の遅れ、参加費振込の遅延、参加態度が悪く周囲に悪影響が及ぶ等、問題行動が見られる場合は、プログラム参加が取り消されることがあります。

パスポートコピー (サンプル)



氏名: 学部: 学年:
学生番号:
第1希望大学:

■出願書類

- 以下の書類をオンライン出願ページ(P.9参照)からダウンロードし、記入して提出してください。

1. 参加申込書
2. 誓約書
3. 健康状態等申告書
4. 銀行口座届
5. パスポートコピー(2部)

※パスポートは顔写真を含む上下見開きページをA4用紙にコピーし、氏名、学部、学年、学生番号、第1希望大学を記入すること。

- 以下の大学が第一希望の場合は追加書類が必要となります。
マウント・アリソン大学: 英語能力試験の点数表原本とそのコピー

■単位認定

研修で修了した科目は各自が単位認定手続きをすることにより、2017年度秋学期必修科目以外の単位として認定されます(学部生のみ)。ただし、単位認定の手続きは2018年4月以降に行うことになるため、進級・卒業判定の単位とすることはできません。なお、GPA等については、単位認定後、秋学期の成績発表時に反映されます。
※単位認定に関する質問は所属学部事務室にお問合せください。
※4年生で当該学期に卒業する者は、単位が認定されません。

■参加決定後のキャンセル

参加決定後に辞退をする場合は、辞退理由に関わらず、以下のとおり参加費用の一部または全額のキャンセル料金が発生します。

- ・プログラム費: 参加大学のキャンセルポリシーに基づく
- ・航空券: 航空会社のキャンセルポリシーに基づく

■短期留学奨学金

申請者全員に3万円(研修先がアジアの場合)、もしくは5万円(アジア以外の場合)の奨学金を支給します。支給申請方法の詳細等は参加決定者に案内します。国際学部の参加者は、短期留学奨学金または国際学部留学奨励金のいずれか1つが受給可能です。国際学部留学奨励金については、国際学部事務室へお問合せください。

CCC (Cross-Cultural College) とは



MountAllison
UNIVERSITY

UNIVERSITY OF
TORONTO

Queen's
UNIVERSITY



関西学院大学
KWANSEI GAKUIN UNIVERSITY

関西学院大学とカナダの3つの協定校(マウント・アリソン大学、クイーンズ大学、トロント大学)が協働で運営するバーチャルカレッジです。日本とカナダの学生がともに課題に取り組むことにより、異文化に対する理解力やコミュニケーション能力、グローバル社会の第一線で活躍できるスキルを身につけることができます。



CCCでは、カナダ学生と力をあわせてビジネス課題を解決するCCC Global Career SeminarおよびCCC Global Internship in Japan、クイーンズ大学でビジネス英語やリサーチ・プレゼンススキルを学べる入門プログラムCCC Cross-Cultural Workshopなど、様々なプログラムに加え、多文化共生論や国際関係論について英語で学ぶ集中講義も開講しています。

なかでも、所定の16単位の修得および英語要件を満たすことにより修了証書が授与される“Certificate Program(CP)”は、関学で学んだ証となり、体系的に多文化共生論や国際関係論を学べることからも、みなさんにおすすめのプログラムです。

CCC修了証プログラム CP(Certificate Program)とは

全学年対象

CPはCCCが提供する修了証プログラムで、多文化共生や国際関係など、異文化に関する英語開講科目で構成されています。カナダの学生と寝食を共にしながらビジネス課題に挑戦する「コア科目」もこのCPの必修単位に含まれており、指定の科目群の中から合計16単位を修得し、所定の英語要件を満たした学生には、修了証書が授与されます。プログラムに取り組むことで、高い英語運用能力と幅広い国際的視野を身につけることができ、これまでに日加合わせて182名の学生が修了しました。

登録要件

※登録届は国際教育・協力センターのウェブサイトにてダウンロードできます。
TOEIC®680点(またはTOEFL iTP®530点、TOEFL iBT®71点、IELTS (アカデミック)5.5点、英検準1級)の英語能力を有している学部生であること

修了要件

- ①CCCの定めた科目群の中から合計16単位を修得していること
(修得単位の内訳は以下の表を参照してください)
- ②TOEIC®820点(またはTOEFL iTP®580点、TOEFL iBT®92点、IELTS (アカデミック)6.5点、英検1級)の英語能力を有している学部生であること

カテゴリー	単位数	内 容
選択必修1	2	多文化共生論について学ぶ科目
選択必修2	2	国際関係論について学ぶ科目
選択必修3	3	CCC Global Career Seminar または Global Internship
選択1	9	英語でCCCの理念に合致する内容を学ぶ科目

MS特別プログラム 「クロス・カルチュラル・スタディーズ」とは

3年生のみ

2015年度入学生(3年生)のみが出願対象となります。※理工学部生は学年を問わず対象外

MS特別プログラム「クロス・カルチュラル・スタディーズ」(CCS)とは、一つの学部に所属しながら、あたかも二つの学部に所属しているような形で学ぶことができる制度です。学部の枠にとらわれず、国際的教養や幅広い知識、それぞれのコースにおける深い専門性を身につけることができます。指定の科目群から合計32単位を修得しプログラムを修了すると、卒業時に複数分野専攻制(MS)修了証書が授与されます。

2018年度をもってプログラムが終了するため、現在3年生の学生のみが出願対象となり、今回が最後の出願受付となります。このチャンスを逃さないよう、ぜひ出願してください。

修了要件

CCCの定めた科目群の中から合計32単位を修得していること

- MS出願方法**
(2017年度秋学期申込・2018年度春学期履修開始)
- STEP1 説明会に参加**
MS特別プログラム「クロス・カルチュラル・スタディーズ」説明会に参加してください。
説明会の日程はP.3を参照してください。
 - STEP2 出願申込**
以下の期間中に、教務機構事務部にて出願手続きを行ってください。
2017年11月6日(月)～11月14日(火)
上記期間中に「複数分野専攻願」と成績証明書のコピーを提出してください。

CPは、英語要件をクリアしていればいつでも登録できます!



1-2 Cross-Cultural College カナダの学生と「協働」で学ぶプログラム

2018年2月実施プログラム募集要項

8月実施プログラムの募集詳細については、2018年3月発行の国際教育・協力プログラム募集要項2018 Volume Iを参照してください。

クロスカルチャル・ワークショップ

Cross-Cultural Workshop

実施期間 2018年2月5日(月)～3月2日(金)

ビジネス英語を含む、英語スキルの向上に加えてリサーチスキル・プレゼンテーションスキルも磨くことができる約4週間の英語学習プログラム。将来Global Career SeminarやGlobal Internshipなどへの参加を希望する学生にもおすすめです。

Point1:『実践的』な英語学習



Point2:グループ研究の基本スキルを習得

Point3:異文化体験

実施場所	カナダ:クイーンズ大学	
参加費	約45万円(1CAドル=90円換算。教科書代、ホームステイ先で提供される食事以外の食費は含まれない。) ※所定の成績・家計基準を満たした者には、日本学生支援機構より8万円の奨学金が支給される予定です。 ※日本学生支援機構から支給される奨学金を受給しない学生には、関西学院より短期留学奨学金として5万円が支給されます。	
単位	3単位	定員 30名(最少催行人数17名)
事前講義	複数回の事前研修を実施する予定です。※日時については募集説明会で案内します。	

※出発日は2018年2月3日(土)、帰国日は3月5日(月)の予定。

※2月9日、10日、13日は秋学期定期試験追試日です。これらの日に試験が実施される場合、受験することができませんので、了解のもと申し込んでください。

フィールドスタディー・イン・カナディアン・ビジネス

Field Study in Canadian Business

実施期間 2018年2月5日(月)～17日(土)

関西学院大学の学生でペアを組み、カナダ・トロントにある国際展開に積極的な企業・団体で10日間のインターンシップを行うプログラム。多文化社会であるカナダ特有のビジネス環境における実践的な課題分析・解決を通じて、カナダでのビジネスマネジメントや文化に対する理解、コミュニケーションスキルを習得することができます。プログラム期間中はホームステイでの滞在となります。



実施場所	カナダ:トロント近郊のインターンシップ先およびトロント大学	
参加費	約17万円(1CAドル=90円換算。往復航空運賃以外にかかる交通費、ホームステイ先で提供される食事以外の食費は含まれない。) ※所定の成績・家計基準を満たした者には、日本学生支援機構より8万円の奨学金が支給される予定です。 ※日本学生支援機構から支給される奨学金を受給しない学生には、関西学院より短期留学奨学金として5万円が支給されます。	
単位	3単位	定員 10名
事前講義	複数回の事前研修を実施する予定です。※日時については募集説明会で案内します。	
協力企業・団体(2016年度実績)	Yamaha Canada Music、Nikkei Voice、ISX Canada、The Japan Foundation Toronto、Japanese Canadian Culture Centre	

※出発日は2018年2月3日(土)、帰国日は2月19日(月)の予定。

※2月9日、10日、13日は秋学期定期試験追試日です。これらの日に試験が実施される場合、受験することができませんので、了解のもと申し込んでください。

グローバル・キャリア・セミナー・イン・カナダ

Global Career Seminar in Canada

実施期間 2018年2月19日(月)～26日(月)

日加の学生混成のグループを組み、企業・団体等から与えられる国際展開等に関する課題について解決策を立案するプログラム。プログラム前半では、企業・団体等の事業に精通し、第一線で活躍している方々に会い直接情報収集を行います。その後、グループ内で解決案を導き出し、最終的にその方々に対してプレゼンを行い講評を得ます。普段なかなかお会いする機会のない企業・団体等の方の考えに触れることにより、ビジネスならではの視点を学びつつ、多国籍な場での合意形成を体験します。



実施場所	カナダ:トロント大学	
参加費	約21万円(1CAドル=90円換算。食費、往復航空運賃以外にかかる交通費は含まれない。) ※所定の成績・家計基準を満たした者には、日本学生支援機構より8万円の奨学金が支給される予定です。 ※日本学生支援機構から支給される奨学金を受給しない学生には、関西学院より短期留学奨学金として5万円が支給されます。	
単位	3単位	定員 15名
事前講義	約10回(オンライン講義を含む)	※日時については募集説明会で案内します。
協力企業・団体(2016年度実績)	Toyota Canada、Hardy Stevenson and Associates Ltd.、Moneris、Air Canada、Kuehne + Nagel	

※出発日は2018年2月17日(土)、帰国日は2月28日(水)の予定。

※関西学院大学に在籍する外国人留学生とグループを組むこともあります。

オススメ
セットでの申込も
可能です!

セット参加することで、一度の渡航で2プログラムに参加し、ふたつの奨学金を併給できます。
パターン① 日本学生支援機構奨学金(8万円) + 短期留学奨学金(5万円) = **13万円**を受給
パターン② 短期留学奨学金(5万円) + 短期留学奨学金(5万円) = **10万円**を受給
1ヵ月のトロントでの生活で、あらゆる観点から異文化コミュニケーション、国際ビジネスについて学ぶことができるため、効率的かつ経済的に学びたい人におすすめです。

※セット参加の場合の参加費は約26万円です。
→奨学金を受給する場合の実質負担はおよそ13万円または16万円になります(予定)。
※日本学生支援機構奨学金には成績・家計基準があります。詳しくは国際教育・協力センターまでお問い合わせください。

出願資格

Cross-Cultural Workshop

- TOEIC®400点、TOEFL iTP®430点相当以上のスコアを有する者
- 事前講義を含むプログラム全日程に参加できる者

Field Study in Canadian Business、Global Career Seminar in Canada共通

- 学部2年生以上(大学院生を除く)の者
- TOEIC®680点(またはTOEFL-iTP®530点、TOEFL-iBT®71点、IELTS5.5点、英検準1級)以上のスコアを有する者
- 事前講義を含むプログラム全日程に参加できる者

申込方法

出願書類:以下の1~3の書類をCIECに提出してください。

- 「参加申込書」(国際教育・協力センターWebサイトでオンライン出願後印刷)
- 英語運用能力を証明する書類の原本とそのコピー(確認後原本は返却)
- 成績証明書のコピー(Field Study in Canadian Business、Global Career Seminar in Canada 出願者のみ)

※募集説明会、出願期間、出願手続き等については、P.2、P.9を参照してください。

学生の声

CCCに参加している学生に、CCCを選んだ理由や印象深かったことを聞きました。

-Certificate Program(CP)に登録したきっかけは?

中期留学の事前研修でCCCの紹介を聞いたことです。卒業式で代表者が壇上で英語の修了証書を受け取ると聞いて、単純に「かっこいいな」と思ったのが一番の理由でした(笑)。

ーもともと留学や国際交流に興味があった?

中期留学に参加したのは、もともと大嫌いだった英語が、受験勉強中のある日を境に急に理解できるようになり、大好きになった経験があったから。そこから、どうせ関学に入るなら留学をしたいと思うようになりました。陸上競技部に入ることも決めていたので、1年生は部活に打ち込み、2年生で留学することにしました。

-CPに取り組むうえで工夫したことは?

CPについては、どうしても自學部の履修科目との両立が必要だったので、春休みの集中講義等も活用し、空いたところでCPの科目をどんどん履修するようにしました。中期留学でクイーンズ大学に4ヶ月滞在したので、もう一度カナダに行きたかったこと、また、夏休みは部活がシーズン中のため参加できなかったのですが、2月であれば参加が可能だったので、Global Career Seminar in Canada (GCS)に参加しました。

-GCSはどうだった?

GCSは想像していたよりもずっと難しかったです。ですが仲間に恵まれ、本当に充実した10日間でした。カナダの学生のレベルの高さについていけないと感じることもたくさんあった反面、自分の英語がここまで使えるんや、という実感もあり、楽しくて取り組むことができました。一番大変だったのは、最初にグループメンバーと打ち解けるまでに時間がかかったこと。最初の数日間は個々でリサーチをしてばかり、どういうきっかけでディスカッションに移ればいいのか分からなかった。ホテルではカナダの学生と相部屋だったので、コミュニケーションは取れていたと思うのですが、関学生側には日本人の遠慮がちな部分が多くあったように思います。

-CCCの魅力はどんなところ?

CCCの一番の魅力は、なんといっても自分の自信に繋がるところ。英語を使って何かをしたいと思っていても、社会に出てから役に立つか、不安な人もいると思います。カナダの学生と英語でディスカッションをし、英語でビジネスを学ぶという経験を通じて、僕自身もまだまだ不安だった英語にとても自信がつきました。また、GCSに参加する前は、企業をどのように理解し、分析すればいいのか分かりませんでしたが、プログラムでの企業分析やリサーチを通じて、そうしたスキルが身につき、実際の就職活動にも活かすことができました。

-CCCに興味がある人にメッセージをお願いします!

CCCにチャレンジしたのは、部活だけで学生生活を終わりたくなったから、せっかく留学にも行ったのに、そのまま何もなければ確実に力は落ちてしまう。好きな英語に取り組むと一度決めたからには最後までやろうと思ったし、決して安くはない学費に加えて留学の費用まで出してくれた親への感謝の気持ちから、どうせならやることはやろうと決意し、修了を目指すことにしました。CCCに挑戦しようか迷っているけど自信がない、という人もいるかもしれません、迷っているということはやりたいという気持ちがあるということだと思います。迷うならまずは挑戦してほしいし、そうする価値のあるプログラムだと思います。



中村 奎太 Keita Nakamura

商学部4年 CP修了予定 (2017年7月時点)



1-3 短期海外インターンシップ^{（アメリカ）}

国際教育・協力センター/教務機構 ハンズオン・ラーニングセンター共催プログラム

研修内容

アメリカ・ロサンゼルスで実施する約4週間のインターンシッププログラムです。海外で働く日本人と接することで自身のキャリアを具体化することを目的としているため、インターンシップ先は現地の「日系企業」が中心となります。参加者の英語力に応じてインターンシップ先や業務内容を調整しますので、海外でインターンシップをしてみたいけれど、英語力に自信がない…という方でも挑戦できるプログラムです。

●ビジネス研修(4日間)

インターンシップを行う前に、他大学の学生と合同でビジネス研修に参加します。全国の同世代の学生とキャリアについて話し合う貴重な機会です。

1日目:ダウントン視察 3日目:学生フォーラム
2日目:グローバルリーダーシップフォーラム 4日目:グローバルキャリアフォーラム



募集要項

●出願期間

2017年10月16日(月)～18日(水)

●出願書類

- 海外インターンシップ(アメリカ)参加申込書
出願用紙は国際教育・協力センターウェブサイトでオンライン出願し、印刷したものを作成すること(P9参照)。
- Personal Profile Form
オンライン出願ページにある様式をダウンロードし、タイプ記入したものを作成すること(署名以外手書き不可)。なお、参加決定者は、後日データも提出が必要となるので保存しておくこと。

●出願先

国際教育・協力センター(CIEC)
NUC G館1階 / KSC アカデミックコモンズ2階

●募集人数

30名

●出願資格

- 学部学生(2018年3月卒業見込者は出願不可)
- TOEIC450点以上の英語力があることが望ましい。
- 事前研修、フォローアップセミナーに参加できること。
- 外国籍の方は、出願前にCIECまでご相談ください。

●成績評価(認定科目)

ライフデザイン科目「海外インターンシップ」(2単位)
事前研修、フォローアップセミナー、実習先での評価や各種提出物などを基に評価します(事前研修、フォローアップセミナーは全て出席必須)。

出願から出発までのスケジュール

出願	10/16 (月)～18 (水)
書類選考結果発表	10/20 (金)
面接選考	10/28 (土)
参加者発表	10/30 (月)
申込金振込み、手続き書類提出	11/6 (月)
マッチング面談	11/11 (土)
第1回事前研修	12/2 (土)
参加費残金振込み	12/8 (金)
第2回事前研修	1/13 (土)
第3回事前研修	1/27 (土)
出発	2/7 (水)
フォローアップセミナー	3/14 (水)

●参加費

総額 約57万円
※電子渡航認証(ESTA)の申請が必要(別途US\$14)。
※参加費の最終的な精算はプログラム終了後となります。
※為替相場変動などにより追加徴収又は返金する場合があります。

●プログラム実施機関

本プログラムは下記運営会社と提携して実施しています。
ライトハウス・キャリアエンカレッジ株式会社(以下、LCE)
Lighthouse Career Encourage USA Corporation
2958 Columbia Street Suite 200, Torrance CA 90503 U.S.A.

●滞在形式

- ビジネス研修期間:ホテル(朝・昼食付)
- インターンシップ期間:<GCP>ホームステイ(朝・夕食付)
<PBL>ホテル(朝食付)

●参加決定後のキャンセルについて

参加決定後の辞退は原則不可。
万一、辞退が発生する場合でも、履修の取り消しはできません。
参加決定後に辞退する場合は、辞退理由に問わらず、以下のとおり参加費用の一部または全額のキャンセル料金が発生します。
・プログラム費:LCEのキャンセルポリシーに基づく
・航空券:航空会社のキャンセルポリシーに基づく

【プログラム実施期間】

2.8-3.2

日本出発日:2018.2.7
日本到着日:2018.3.4

1-4 海外フィールドワーク^(ベトナム)

【プログラム実施期間】

3.4-3.12

日本出発日:2018.3.4
日本到着日:2018.3.13

開発途上国の現場における導入的学びのためのプログラムです。

特に本学が提供している「国連ユースボランティア」および「国際社会貢献活動」など、将来的に中長期の海外ボランティアプログラムへの参加を検討している方向けの短期研修プログラムです。開発途上国の現場において、フィールドワークの導入的学びを身につけながら、経済・歴史・宗教・文化などの現場について理解を深めます。

プログラム

講義 ベトナム商業大学及び他の現地NGO・NPO機関等での講義

現地の企業、農家、伝統産業、金融機関、高等学校、マーケット等を訪問予定

調査 ハノイ市内の視察を通じて農村地区との格差を比較することで、計画経済から市場経済への移行経緯を確認

交流 現地学生(ベトナム商業大学)との交流活動 ワークショップ・プレゼンテーション 学びの総括・グループワーク



主なスケジュール(予定)

募集・選考スケジュール

10月10日(火)～11日(水)	出願期間
10月13日(金)	書類選考結果発表
10月14日(土)	面接選考(西宮上ヶ原キャンパスG号館)
10月17日(火)	参加者発表日

事前研修

11月25日(土)、12月16日(土)、3月1日(木)、3月2日(金)

現地プログラム

3月4日(日)	ベトナムへ出発
3月5日(月)～11日(日)	ベトナム商業大学で講義、交流会、ハノイ市内にてフィールドワーク、バッチャン村(陶器の村)、企業、ベトナム日本人材協力センター(VJCC)、農家、マーケット等を訪問し関係者にインタビュー他 ベトナム商業大学でプレゼンテーション等、プログラムのまとめ
3月12日(月)	深夜現地発、翌日関西空港着

開講担当者 中村 明 国際教育・協力センター教授

参加費 約16万円

内訳:出発空港からの往復渡航費、現地宿泊・現地移動費
食費(1日3食)、海外旅行保険料等
注1)為替レートなどにより変動する場合があります。
注2)参加費の最終的な精算はセミナー終了後となります。
注3)参加決定後のキャンセルは原則認められません。やむを得ない事情により辞退した場合もキャンセル料が発生します。
注4)本プログラムは短期留学奨学金(3万円)の支給対象プログラムですが、支給時期が出发直前となるため参加費との相殺はできません。

募集要項

実施期間 2018年3月4日(日)～3月12日(月)の10日間を予定

開催地 ベトナム、ハノイ市内及びハナム省

募集人数 15名

参加資格 1.学部生で本セミナーに全日程参加できる者

- 2.本セミナー準備のための事前研修に全日程参加できる者
- 3.英語で行われる講演などを理解できる語学力を有する者
※英語能力を証明する書類を提出できる者が望ましい。

単位認定 グローバルスタディーズ科目「海外フィールドワーク2」として2単位が与えられます。

*2018年3月卒業の学生は成績評価の対象とならない旨了承の上、出願してください。

学生の声

七瀬 優介 法学部1年(参加時) 派遣先:ベトナム

●海外フィールドワーク(FW)に参加しようと思ったきっかけ

将来、途上国に関わる仕事がしたいと考えており、入学時より関西学院大学にしかない国際社会貢献活動に参加したいと思っていた。国際社会貢献活動への参加には途上国への渡航経験が必要ですが、私はそれまで海外に一度も行ったことがありませんでした。そこで、海外経験と途上国経験を同時にできる海外FWに参加することができる、国際社会貢献活動への準備になると考えました。

●プログラムを通して感じたこと

まず、自分の日本に対する知識不足を認識しました。FW中にベトナム人の学生に日本の文化、社会、企業などについて質問されましたが、僕は彼らの知りたかった具体的な答えを言うことができず、ありました。英語力の不足も認識する

ことができました。FW中はベトナム人と英語で会話していましたが、彼らと話している時に言いたいことを英語で表現できないことがよくありました。これらを踏まえ、帰国後は英語で実施する授業の履修を増やすなど、学習計画を大きく見直しました。

●現在取り組んでいること

2018年度の春学期から国際社会貢献活動でベトナム日本人材協力センター(VJCC)に派遣されることが決まっているので、派遣に向かって準備をしています。今はVJCCの活動や、JICAがベトナムで実施している活動について調べています。また、それと並行して日本の企業についても勉強しています。



写真左



2-1 英語中期留学

英語中期留学とは…

海外協定校の附属機関が実施する英語の集中学習と外国での実生活を組み合わせた約1学期間のプログラムです。

英語の上達だけでなく、留学先での経験を通して世界市民としての感覚を身につけることができます。

言語運用能力の向上に主眼を置いたプログラムのため、帰国時にはTOEFL ITP®の点数で30点から50点程度のレベルアップを目指しています。

こんな人におすすめ!

- 短期プログラムでは物足りない!
- 英語を集中的に勉強したい!
- 交換留学、CCCや国際ボランティアへのステップアップにしたい!
- 海外での生活を通じて人間に成長したい!



国名	大学名	対象英語スコア※1	派遣学期 日本出発日～日本到着日※2	募集人数※3	参加費(概算)	滞在方式	プログラムの特徴	記載ページ
アメリカ USA	ネブラスカ大学 オマハ校	TOEFL ITP® 420～500点 または TOEFL iBT® 36～61点	春学期 2018/5/2(水)～8/12(日)	30名	約117万円	学生寮	①6段階にレベル分けされ、読解、会話、文法、ライティング等を曜日ごとに学ぶ。 ②総合的な英語4技能の他、ボランティアやTOEFL対策講座、Oral English等の中からコースを選択して受講。	P.28
	マウント・アリソン 大学		秋学期 2018/8/15(水)～12/9(日)	30名				
カナダ CANADA	トロント大学	TOEFL ITP® 450～530点 または TOEFL iBT® 45～71点	春学期 2018/4/1(日)～7/15(日)	30名	約122万円	ホームステイ	①春学期はTerm3に関学生のみの「カナダ研究」の講義科目を受講。 ②秋学期はTerm1に関学生のみの「スピーキング＆リッスン」を受講。 ③プログラム期間中は、現地で10時間以上のボランティア活動に参加。	P.29
	クイーンズ大学		秋学期 2018/8/9(日)～12/23(日)	30名				
イギリス UK	ケンブリッジ 大学	TOEFL ITP® 450点以上 または TOEFL iBT® 45点以上	春学期 2018/4/16(月)～8/12(日)	25名	約132万円	ホームステイ	①Term1ではスピーキングを重視した導入コースを受講。 ②Term2、3は6段階にレベル分けされ、総合的な英語4技能を学ぶ。 ③教室内外で英語以外の言語使用を禁止するEnglish Only Ruleがある。	P.30
	オックスフォード 大学		秋学期 2018/8/6(月)～12/8(土)	25名				
マレーシア MALAYSIA	マラヤ大学	以下のいずれか ①TOEFL ITP® 450点以上 または TOEFL iBT® 45点以上	春学期 2018/4/29(日)～8/19(日)	30名	約103万円	ホームステイ	①10段階にレベル分けされ、総合的な英語4技能を学ぶ。 ②英語圏の大学で必要となるアカデミックスキルの向上に重点を置く授業のため、リーディングやライティングの要素も多く含む。	P.31
	ニューサウス・ウェールズ 大学		秋学期 2018/8/26(日)～12/19(水)	30名				
オーストラリア AUSTRALIA	クイーンズランド 大学	②TOEIC®550 点以上	春学期 2018/3/24(土)～7/15(日)	25名	約127万円	ホームステイ	①4段階にレベル分けされ、総合的な英語4技能を学ぶ。 ②「マレー文化研究」を受講し、マレー語やマレーシアの文化について学ぶ。 ③Term4は現地オフィスの提供する派遣先企業（日系企業含む）にてインターンシップに参加。	P.32
			秋学期 2018/8/25(土)～12/16(日)	30名				

*1 TOEIC®スコア提出者は、留学手続き書類として出発までにTOEFL®を受験し、スコアを提出してください。

*2 日本出発日・到着日は、変更されることがあります。

*3 参加決定者数が最少催行人数に満たない場合は、渡航先の変更やプログラム中止等の措置が取られることがあります。

自分にぴったりのプログラムを見つけよう～英語中期留学編～

○○な大学BEST3!!

集中して学習できる郊外の大学!

1位 マウント・アリソン大学

- 2位 ネブラスカ大学オマハ校
3位 クイーンズ大学



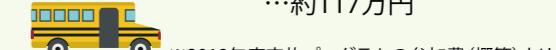
【マウント・アリソン大学】
サックビルの街全体が留学生を快く受け入れてくれ、多くの人が笑顔で話しかけてくれたり、私達との会話を楽しんでくれます。課題やプレゼンも多く時には大変ですが、頑張った分、英語能力の向上につながりました。(国際学部2年)

【マラヤ大学】
「授業期間中の食事が3食含まれている」「学生寮からバスで通学できる」そして「現地での物価の安さ」により参加費総額が低めに抑えられる点が魅力です!(CIECスタッフ)

経済的! (参加費、物価の安さなど)

1位 マラヤ大学…約86万円

- 2位 ゲルフ大学…約103～約105万円
3位 ネブラスカ大学オマハ校
…約117万円



※2018年度実施プログラムの参加費(概算)より

プログラム期間が長い!

1位 オックスフォード大学…153日

- 2位 マラヤ大学…128日
3位 クイーンズ大学…125日(秋学期)

※2018年度実施プログラムの現地滞在予定日数より

【クイーンズ大学】
4ヶ月という期間は、英語を聞き、話すことには慣れるのに、丁度良い期間でした。
色々なイベントに積極的に参加すると、より楽しい留学生活が送れると思います。(国際学部2年)

【ゲルフ大学】
自分にあったレベルで授業を受けることができました。様々な国籍を持つクラスメイトと触れ合うことで、英語を学ぶという域を超えて、現代のグローバル社会を生きていこう上で大事なことを沢山学ぶ事ができました。(社会学部2年)

レベルが細かく分けられている!

1位 ゲルフ大学…10段階

- 2位 クイーンズランド大学
…7段階+他コース
3位 ニュー・サウス・ウェールズ大学
…7段階



プログラム選択のPOINT

1. 優先事項を決めよう!

大学名やプログラム費用だけでなく、プログラムの特徴が自身のイメージする留学生活と合致していることが何よりも大切です。

例1：期間中は大学でしっかり勉強したい、または自分でいろいろな場所に出かけたい！

例2：学生寮orホームステイ

その他、授業形態や課題の量、参加費用等、優先するいくつかの視点からプログラムを比較してみましょう。

2. 情報を収集しよう!

次ページからのプログラム概要の他、都市情報や大学周辺環境について調べることで、より具体的に留学についてイメージできます。

プログラム選択は留学に踏み出す第一歩です！

ぜひ自分にあったプログラムに参加し、理想的な留学生活を実現してくださいね。

番外編

英語 + a の特徴がある！

インターんシップに参加できる：

マラヤ大学(約4週間のインターんシップ)

英語の講義科目を受講できる：

マウント・アリソン大学、ケンブリッジ大学、オックスフォード大学、マラヤ大学、トロント大学

ボランティアに参加できる：

ネブラスカ大学オマハ校、マウント・アリソン大学、トロント大学

英語中期留学

ネブラスカ大学オマハ校

University of Nebraska Omaha

【プログラム実施期間】
2018 春学期
5.7-8.10
日本出発日:2018.5.2
日本到着日:2018.8.12

【プログラム実施期間】
2018 秋学期
8.20-12.7
日本出発日:2018.8.15
日本到着日:2018.12.9

大学情報				募集人数		
所在国・地域	大学創立年	学生数	大学情報			
アメリカ ネブラスカ州 オマハ市	1908年	約15,000名		春学期:30名 秋学期:30名		
プログラムの特徴・授業について						
<p>ILUNO Intensive Englishが提供するIntensive Language Programを受講します。</p> <p>《春学期》5月7日(月)～8月10日(金) 《秋学期》8月20日(月)～12月7日(金)</p> <p>Term 1:5月7日(月)～6月22日(金)(7週間) Term 1:8月20日(月)～10月12日(金)(8週間)</p> <p>Term 2:6月25日(月)～8月10日(金)(7週間) Term 2:10月15日(月)～12月7日(金)(8週間)</p> <p>※週数が異なりますが、総授業時間数は同じです。</p> <p>◆Term1,2共にプレイスメントテストを受験し、英語力に応じて5～6レベルに振り分けられます。</p> <p>◆午前中は総合英語、午後はOral Fluencyやボランティア、TOEFL対策など興味のある授業を選択できるElective Courseを受講します。</p>						
授業時間数	レベル別 クラス	滞在形式	食事			
週20時間	あり	(現地学生または関学同士の4名ユニット、個室有)	自炊			
アクティビティ・フィールドトリップ、その他情報						
<ul style="list-style-type: none"> 教室での授業だけでなく、様々なイベントが企画されています(一部有料)。 例:映画鑑賞、スポーツ観戦、Henry Doorly Zoo and Aquarium 等 現地の学部生が参加する学内イベントにも参加可能です。 キャンパス内にはスポーツジムがあり、自由に利用できます。 					<p>おすすめポイント</p> <p>「標準アメリカ英語」といわれる中西部の発音を学ぶことができる!</p>	

募集人数
春学期:30名 秋学期:30名
参加費(概算)
総額 春:約117万円 秋:約117万円(1USドル=115円で換算) ※留学査証(F1ビザ)の申請が必要です(別途US\$360)。 ※食費は含まれません。
科目・単位数
【必修英語科目】 Term1:英語科目「英語中期留学ネブラスカ大学 I」7単位(160時間) Term2:英語科目「英語中期留学ネブラスカ大学 II」7単位(160時間) ★但し、国際学部生については、「英語中期留学NEB(OMH)」14単位となります。

英語中期留学

トロント大学

University of Toronto

【プログラム実施期間】
2018 春学期
4.2-7.13
日本出発日:2018.4.1
日本到着日:2018.7.15

【プログラム実施期間】
2018 秋学期
9.10-12.21
日本出発日:2018.9.9
日本到着日:2018.12.23

大学情報				募集人数		
所在国・地域	大学創立年	学生数	大学情報			
カナダ オンタリオ州 トロント市	1827年	約80,900名		春学期:30名 秋学期:30名		
プログラムの特徴・授業について						
<p>School of Continuing Studiesが提供するAcademic Englishを受講します。また、関学学生対象の授業として、春学期のTerm3は「カナダ研究」、秋学期のTerm1は「Speaking English」の授業を受講します。</p> <p>《春学期》2018年4月2日(月)～7月13日(金) 《秋学期》2018年9月10日(月)～12月21日(金)</p> <p>Term1:4月2日(月)～5月11日(金)(6週間) Term1:9月10日(月)～9月28日(金)(3週間)</p> <p>Term2:5月14日(月)～6月22日(金)(6週間) Term2:10月1日(月)～11月9日(金)(6週間)</p> <p>Term3:6月25日(月)～7月13日(金)(3週間) Term3:11月12日(月)～12月21日(金)(6週間)</p> <p>◆Academic Englishの期間には週に1度Project Dayがあり、12週間かけてグループで一つのテーマに沿ったプレゼンテーションを準備します。</p>						
授業時間数	レベル別 クラス	滞在形式	食事			
週20時間	あり	ホームステイ	朝・夕			
アクティビティ・フィールドトリップ、その他情報						
<ul style="list-style-type: none"> トロント市内観光(CNタワー、トロントアイランド)や、ナイアガラの滝へのフィールドトリップが用意されています(参加費に含まれます)。 映画鑑賞やパーティー、スポーツ、キャンプ、野球観戦など、屋内外問わず様々な企画が予定されています(いずれも有料)。 放課後にはスピーチングの練習の機会となるConversation Caféが週1回開かれます。 					<p>おすすめポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> ボランティア活動でカナダに住んでいる人の生活に触れ、文化を感じることができます。 Project Dayでは外国人留学生と一緒にプレゼン準備をしたり調査することで刺激がいっぱい! 	

英語中期留学

マウント・アリソン大学

Mount Allison University

【プログラム実施期間】
2018 春学期
5.7-8.10
日本出発日:2018.5.2
日本到着日:2018.8.12

【プログラム実施期間】
2018 秋学期
9.3-12.7
日本出発日:2018.8.27
日本到着日:2018.12.9

大学情報				募集人数		
所在国・地域	大学創立年	学生数	大学情報			
カナダ ニューブランズウィック州 サックビル市	1839年	約2,500名 (学部生)		春学期:40名 秋学期:50名 ※最少催行人数:20名		
プログラムの特徴・授業について						
<p>International Affairsが提供する関学独自プログラム</p> <p>《春学期》2018年5月7日(月)～8月10日(金) 《秋学期》2018年9月3日(月)～12月7日(金)</p> <p>Term1:5月7日(月)～6月1日(金)(4週間) Term1:9月3日(月)～9月28日(金)(4週間)</p> <p>Term2:6月4日(月)～6月29日(金)(4週間) Term2:10月1日(月)～10月26日(金)(4週間)</p> <p>Term3:7月2日(月)～7月27日(金)(4週間) Term3:10月29日(月)～11月30日(金)(4週間)</p> <p>Community Outreach:7月30日(月)～8月10日(金) Community Outreach:12月3日(月)～12月7日(金)</p> <p>◆Term3終了後、2週間程度地域でのボランティア活動を兼ねたCommunity Outreachを行います。</p> <p>(活動例) 地域の中学校、保育園、病院への訪問や花屋、喫茶店、スーパーへの手伝いなど</p>						
授業時間数	レベル別 クラス	滞在形式	食事			
週25時間	なし	学生寮 春学期:1人部屋 秋学期:2人部屋	春学期 平日:朝夕 土日祝:食堂閉鎖の場合朝のみ 秋学期 平日・土日祝:朝夕			
アクティビティ・フィールドトリップ、その他情報					<p>おすすめポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> 週末にモンクトン、プリンス・エドワード島、ハリファックス等、近郊の町を訪問します。 1時間程度のラジオ番組のパーソナリティを務めるRadio Show、日本料理を教えに現地の一般家庭を訪問するJapanese Cooking Lesson等があります。 各参加者は現地学生のConversation Partnerがつきます。 春学期参加者は、Partner Familyも紹介され、月に数回食事などを共に楽しめます。 	
<p>英語学習+英語の講義科目を受講可能!</p> <p>関学の弱みや特徴を知り尽くした教員による授業が特徴。</p>						

英語中期留学

クイーンズ大学

Queen's University

【プログラム実施期間】
2018 春学期
4.18-8.9
日本出発日:2018.4.16
日本到着日:2018.8.12

【プログラム実施期間】
2018 秋学期
8.8-12.6
日本出発日:2018.8.6
日本到着日:2018.12.8

大学情報				募集人数		
所在国・地域	大学創立年	学生数	大学情報			
カナダ オンタリオ州 キングストン市	1841年	約23,850名		春学期:25名 秋学期:25名		
プログラムの特徴・授業について						
<p>School of Englishが提供するプログラムを受講します。Term1は、準備クラスとして、スピーチングに重点を置いたCanadian Academic English Experienceを受講します。Term2とTerm3はEnglish for Academic Purpose (EAP) を受講します。</p> <p>《春学期》2018年4月18日(水)～8月9日(木) 《秋学期》2018年8月8日(水)～12月6日(木)</p> <p>Term1:4月18日(水)～5月9日(木)(3週間) Term1:8月8日(水)～8月29日(木)(3週間)</p> <p>Term2:5月10日(木)～6月21日(木)(6週間) Term2:9月6日(木)～10月19日(金)(6週間)</p> <p>Term3:7月2日(月)～8月9日(木)(6週間) Term3:10月29日(月)～12月6日(木)(6週間)</p> <p>厳格なEnglish Only Ruleのもと、滞在中は英語以外の言語の使用は禁止されています(ホームステイ先、外出時にも適用)。</p>						
授業時間数	レベル別 クラス	滞在形式	食事			
週22時間	あり	ホームステイ	朝・昼・夕			
アクティビティ・フィールドトリップ、その他情報					<p>おすすめポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> 徹底した“English Only Rule”によりしっかりと英語を話す練習ができる。 ほどよい郊外の町で暮らしやすい。 	
<p>教室での授業だけでなく、様々なイベントが企画されています(一部有料)。</p> <p>例:映画鑑賞、スポーツ鑑賞、屋内外ゲーム、史跡等への観光、ショッピング等</p> <p>現地の学部生が参加できる学内イベントにも参加可能です。</p>						

英語中期留学

ゲルフ大学

University of Guelph

【プログラム実施期間】
2018 春学期
5.7-8.16
日本出発日:2018.4.29
日本到着日:2018.8.19

【プログラム実施期間】
2018 秋学期
9.6-12.14
日本出発日:2018.8.26
日本到着日:2018.12.19

大学情報				募集人数
所在国・地域	大学創立年	学生数	大学情報	
 カナダ オンタリオ州 ゲルフ市	1964年	約20,000名		
プログラムの特徴・授業について				
<p>English Language Programsが提供する「English Language Certificate Program(ELCP)」を受講します。</p> <p>【春学期】2018年5月7日(月)～8月16日(木) 【秋学期】2018年9月6日(木)～12月14日(金)</p> <p>Term1:5月7日(月)～6月21日(木)(7週間) Term1:9月6日(木)～10月19日(金)(7週間)</p> <p>Term2:7月3日(火)～8月16日(木)(7週間) Term2:10月29日(月)～12月14日(金)(7週間)</p> <p>◆Term1、2共にプレイスメントを受験し、英語力に応じて10レベルに振り分けられます。</p> <p>◆論理的な文章の書き方等、北米の大学に入学するために必要となるアカデミックスキルに重点を置いた授業です。</p>				
授業時間数	レベル別 クラス	滞在形式	食事	
週25時間	あり	ホームステイ	朝・昼・夕	
アクティビティ・フィールドトリップ、その他情報				
<p>教室での授業だけでなく、様々なイベントが企画されています(一部有料)。</p> <p>例:映画鑑賞、スポーツ観戦、屋内外ゲーム、史跡等への観光、ショッピング等</p>				

募集人数
春学期:30名 秋学期:30名
参加費(概算)
総額 春:約103万円 秋:約105万円(1CAドル=90円で換算) ※テキスト代が別途CA\$250程度必要です(現地で購入)。 ※電子渡航認証(eTA)の申請が必要です(別途CA\$7)。
科目・単位数
【必修英語科目】 Term1:英語科目「英語中期留学ゲルフ大学Ⅰ」7単位(175時間) Term2:英語科目「英語中期留学ゲルフ大学Ⅱ」7単位(175時間) ★但し、国際学部生については、「英語中期留学GLP」14単位となります。
 
おすすめポイント
・10段階のレベル別クラスのため、自分にあった授業を受けることができる。 ・文法の間違いや接続詞によるニュアンスの違いなど、今後英語を学ぶうえで重要なスキルを学べる!

英語中期留学

オックスフォード大学

University of Oxford

【プログラム実施期間】
2018 秋学期
10.10-3.8
日本出発日:2018.10.9
日本到着日:2019.3.10

大学情報				募集人数
所在国・地域	大学創立年	学生数	大学情報	
 イギリス イングランド オックスフォード市	11世紀	約22,000名		秋学期:8名
プログラムの特徴・授業について				
<p>ハートフォードカレッジが日本人学生向けに開講するEnglish Language and British Culture Studiesを受講します。</p> <p>【秋学期】2018年10月10日(水)～2019年3月10日(日)</p> <p>Term1:10月10日(水)～12月14日(金)(10週間) Term2:1月2日(水)～3月8日(金)(10週間)</p> <p>◆授業は平日、月～木9時半～16時まで、金9時半～12時半。金曜日は学習状況の振り返りが中心となります。</p> <p>◆Term2からは総合英語学習に加えてイギリスの生活文化・ビジネス英語を学びます。</p> <p>◆2018年12月17日(月)～2019年1月1日(火)は休暇週間です。学生寮に滞在できますが、この期間は自炊となります。</p>				
授業時間数	レベル別 クラス	滞在形式	食事	
週22時間	あり	学生寮 (日本人学生用)	授業実施日:朝・夕の2食 ※週末・休暇中の食事は自炊	
アクティビティ・フィールドトリップ、その他情報				
<p>・オックスフォード到着時にはWelcome Tea、プログラム終了時にはGala Dinnerが開催されます。</p> <p>・オックスフォード市内でのフィールドトリップやクリスマスパーティーなどが予定されています。</p>				
おすすめポイント				
<p>・英語でビジネスについて学ぶ授業があり、実践的な英語を学ぶことができる! ・現地小学校で講義をする授業によりイギリスの文化や歴史に興味を持つことができる。</p>				

英語中期留学

ケンブリッジ大学

University of Cambridge

【プログラム実施期間】
2018 春学期
4.16-7.27
日本出発日:2018.4.15
日本到着日:2018.7.29

大学情報				募集人数
所在国・地域	大学創立年	学生数	大学情報	
 イギリス イングランド ケンブリッジ市	1209年	約20,000名		
プログラムの特徴・授業について				
<p>ヒューズ・ホールが提供するプログラムを受講します。</p> <p>【渡航前事前学習】2018年2月12日(月)～4月6日(金)(8週間)</p> <p>【春学期】2018年4月16日(月)～7月27日(金)</p> <p>Term 1: 4月16日(月)～5月11日(金)(4週間) Term 2: 5月21日(月)～6月15日(金)(4週間) Term 3: 6月25日(月)～7月27日(金)(5週間)</p> <p>◆渡航前事前学習として「ケンブリッジ大学認定IELTS®対策プログラム」をオンラインで個別学習します。</p> <p>◆Term 1、2は総合英語を受講し、大学の授業で必要なスキルを身につけます。</p> <p>◆Term 3 は英国の歴史・文化や英國からみた国際情勢等について学ぶ International Social Science を受講します。</p>				
授業時間数	レベル別 クラス	滞在形式	食事	
週20時間	なし	ホームステイ	平日:朝夕 土日祝日:朝夕	
アクティビティ・フィールドトリップ、その他情報				
<p>大学が主催するフィールドトリップやアクティビティに参加可能です。</p> <p>【フィールドトリップ例】ロンドン、コッウォルズ、ストーンヘンジ等へのフィールドトリップ、大学博物館や植物園、自然史博物館の訪問など</p>				
おすすめポイント				
<p>・渡航前にオンラインプログラムを受講し、英語力を伸ばすことができる。 ・8週間の事前学習に加え、Term3では英語で講義科目を受講できるため体的に英語を学習できる。</p>				

英語中期留学

マラヤ大学

University of Malaya

【プログラム実施期間】
2018 秋学期
8.27-12.28
日本出発日:2018.8.24
日本到着日:2018.12.30

大学情報				募集人数
所在国・地域	大学創立年	学生数	大学情報	
 マレーシア クアラルンプール市	1905年	約21,200名		秋学期:25名 ※最少催行人数:10名
プログラムの特徴・授業について				
<p>マラヤ大学のFaculty of Arts and Social Science (FASS) が提供するプログラムを受講します。</p> <p>【秋学期】2018年8月27日(月)～12月28日(金)</p> <p>Term1: 8月27日(月)～9月21日(金)(4週間) Term2: 10月1日(月)～10月26日(金)(4週間) Term3: 11月5日(月)～11月30日(金)(4週間) Term4: 12月3日(月)～12月28日(金)(4週間)</p> <p>◆Term 1～3は、英語の授業以外にもマレー語、マレーシアの歴史・文化を学ぶ講義やフィールドトリップが準備されています。</p> <p>◆Term 4は、日系企業を含む現地法人にてインターンシップに参加します。</p>				
授業時間数	レベル別 クラス	滞在形式	食事	
週25時間	あり	学生寮	朝夕(インターンシップ期間中は除く)	
アクティビティ・フィールドトリップ、その他情報				
<p>マレーシア文化に触れる様々なフィールドトリップやアクティビティに参加します。なお、以下のイベントは全て参加費に含まれます。</p> <p>【フィールドトリップ例】 ・国立博物館、クアラルンプール市内巡り 【アクティビティ例】 ・日本語専攻学生との交流会 ・伝統音楽、舞蹈体験 ・行政新都市「プトラジャヤ」訪問 ・孤児院、養護施設ボランティア活動</p>				
おすすめポイント				
<p>・英語学習だけでなく、マレー語や現地文化を学ぶことができる。 ・日本企業も多数進出しているアジアの大都会でインターンシップに挑戦できる。</p>				

ニュー・サウス・ウェールズ大学

University of New South Wales

【プログラム実施期間】
2018 春学期
4.16-7.27
日本出発日:2018.4.14
日本到着日:2018.7.29

大学情報

募集人数

春学期:15名

所在国・地域	大学創立年	学生数	大学情報
オーストラリア ニュー・サウス・ウェールズ州 シドニー市	1949年	約53,500名	

プログラムの特徴・授業について

Institute of Languagesが実施するプログラムを受講します。

《春学期》2018年4月16日(月)～7月27日(金)

Term1: 4月16日(月)～5月18日(金)(5週間)

Term2: 5月21日(月)～6月22日(金)(5週間)

Term3: 6月25日(月)～7月27日(金)(5週間)

◆各Term開始前のプレイスメントテストの結果により、上級レベルのCareer EnglishまたはAcademic Englishを受講可能です。

授業時間数 レベル別 クラス 滞在形式 食事

週20時間 あり ホームステイ 平日:朝夕 土日祝:朝夕

アクティビティ・フィールドトリップ、その他情報

Activities Officeが様々なアクティビティや週末の小旅行などをアレンジしてくれます(一部有料)。

参加費(概算)

総額 約130万円(1AUドル=90円で換算)
※留学査証(e-Visa)の申請が必要です(別途AU\$550程度)。なお、ビザ取得にあたり、指定病院での健康診断を求められることがあります。その場合、2～3万円程度の費用が必要となります。
※テキスト代が別途AU\$100程度必要です(現地で購入)。

科目・単位数

【必修英語科目】
Term1: 英語科目「英語中期留学ニュー・サウス・ウェールズ大学Ⅰ」4単位(100時間)
Term2: 英語科目「英語中期留学ニュー・サウス・ウェールズ大学Ⅱ」4単位(100時間)
Term3: 英語科目「英語中期留学ニュー・サウス・ウェールズ大学Ⅲ」4単位(100時間)

★但し、国際学部生については、

「英語中期留学NSW」12単位となります。



おすすめポイント

- 英語レベルによって、段階的に上級のクラスに挑戦できる。
- 世界でも有数の国際都市、シドニーでオーストラリアの文化を体感できる!

英語中期留学

クイーンズランド大学

The University of Queensland

【プログラム実施期間】
2018 春学期
3.26-7.13
日本出発日:2018.3.24
日本到着日:2018.7.15

【プログラム実施期間】
2018 秋学期
8.27-12.14
日本出発日:2018.8.25
日本到着日:2018.12.16

大学情報

募集人数

春学期:25名 秋学期:30名

プログラムの特徴・授業について

Institute of Continuing & TESOL Education (ICTE-UQ)が実施する英語学習プログラムを受講します。

《春学期》2018年3月26日(月)～7月13日(金) 《秋学期》2018年8月27日(月)～12月14日(金)
Term 1: 3月26日(月)～4月27日(金)(5週間) Term 1: 8月27日(月)～9月28日(金)(5週間)
Term 2: 4月30日(月)～6月1日(金)(5週間) Term 2: 10月8日(月)～11月9日(金)(5週間)
Term 3: 6月11日(月)～7月13日(金)(5週間) Term 3: 11月12日(月)～12月14日(金)(5週間)

◆各Term開始前のプレイスメントテストにより、以下の上級コースを受講可能です。

- Academic English
- English for International Business Communication
- English for Specific Purposes (TESOL):
英語教育の場で必要となる英語スキルや手法を学びます。

授業時間数 レベル別 クラス 滞在形式 食事

週20時間 あり ホームステイ 平日:朝夕 土日祝:朝夕

アクティビティ・フィールドトリップ、その他情報

Activities Officeが様々なアクティビティや週末の小旅行などをアレンジしてくれます(一部有料)。また、ICTE-UQのサッカー/コーラスクラブに参加できます。

参加費(概算)

総額 春:約127万円 秋:127万円(1AUドル=90円で換算)
※留学査証(e-Visa)の申請が必要です(別途AU\$550程度)。なお、ビザ取得にあたり、指定病院での健康診断を求められることがあります。その場合、2～3万円程度の費用が必要となります。
※テキスト代が別途AU\$100程度必要です(現地で購入)。

科目・単位数

【必修英語科目】
Term 1: 英語科目「英語中期留学クイーンズランド大学Ⅰ」4単位(100時間)
Term 2: 英語科目「英語中期留学クイーンズランド大学Ⅱ」4単位(100時間)
Term 3: 英語科目「英語中期留学クイーンズランド大学Ⅲ」4単位(100時間)

★但し、国際学部生については、「英語中期留学QLD」12単位となります。



おすすめポイント

- 各自の英語レベルによって、英語教育(TESOL)やビジネスイングリッシュの授業を受講可能。
- 気候の良いブリスベンで集中的に英語を学ぼう!

英語中期留学 全プログラム共通事項

以下の内容は、全ての英語中期留学プログラムに共通する内容です。

1. 出願手続き

■出願期間

【春学期出発】**2017年11月29日(水)～12月1日(金)**【秋学期出発】**2018年1月12日(金)～1月16日(火)**

出願手続きの詳細についてはP.9を参照してください。

■出願書類

- 英語中期留学参加申込書
- 2016年4月以降受験分の英語スコアのスコア原本とそのコピー(原本は確認後、返却します)

出願資格はP.26を参照してください。

2. 参加者発表

春学期出発:2017年12月6日(水)
秋学期出発:2018年1月23日(火)

3. 出願に関する注意

- 出願人数が募集人数を上回った場合には、書類選考を行ったうえで抽選により参加者を決定します。
- ケンブリッジ大学、マウント・アーリソン大学、マラヤ大学については、参加人数が最少催行人数に満たない場合、プログラムを中止する場合があります。
- 第1学年度必修の英語の単位を修得できなかった場合には参加を取り消します。
- 中期海外インターンシップとの併願を希望する場合は、事前に必ず申し出ください。

英語中期留学科目

- 出席状況不良、課題未提出等で不合格になったTermがあった場合は、残りのTermの授業科目の履修はできません。この場合、直ちに自費での帰国を求めます。
- 英語科目やグローバルスタディーズ科目については時間数もしくは科目名が変更される場合があります。

履修登録する際の注意点

- 原則として、中期留学参加者の留学学期(春学期もしくは秋学期)の履修科目については、各プログラムの該当科目のみとなります。履修の取り扱いは学部により異なりますので、所属学部事務室で確認してください。
- 夏季や春季に開講される集中科目で、参加する英語中期留学科目的研修期間と授業期間が重ならない科目については、履修を認めています。この場合、履修登録期間中に教学Webサービスを通して履修手続きをする必要があります。事務室窓口での申込・履修手続きが必要な授業科目の履修はできません。

参加費

- 参加費(概算)には現地授業料、滞在費(寮またはホームステイ)、往復渡航費、海外旅行保険、現地保険費用等が含まれます。
- 為替レートや航空券の燃油サーチャージ費用等の変動を勘案し、最終的な参加費用を決定します(春学期2月頃、秋学期5月頃)。
- 参加費は、申込金20万円(オックスフォード大学は100万円を予定)、申込金を除いた参加費残金の2回に分けて徴収します。
- プログラム終了後に参加費の精算を行います。為替相場の変動などにより返金又は追加徴収する場合があります。
- オプショナルのフィールドトリップや個人の旅行にかかる費用、小遣い等は参加費に含まれません。
- 英語中期留学参加期間中であっても、本学学費の納入が必要です。

参加決定後のキャンセルについて

- 参加決定後に辞退をする場合は、辞退理由に関わらず、以下のとおり参加費用の一部または全額のキャンセル料が発生します。

①プログラム費:参加大学のキャンセルボリュームに基づく ②航空券:航空会社のキャンセルボリュームに基づく

奨学金

◆中期留学奨学金

英語中期留学参加者は全員中期留学奨学金(20万円)の支給対象となります(返還不要)。

支給申請方法の詳細は参加決定者に案内します。ただし、国際学部の参加者には原則として、中期留学奨学金に代わり、国際学部留学奨励金が適用されます(過去に他プログラムで受給済の場合には中期留学奨学金(20万円)が適用されます)。

国際学部生の取り扱い

- 履修する科目や奨学金など、他学部生とは一部取り扱いが異なります(科目名・単位数については各大学詳細ページに記載しています)。
- 国際学部が独自に実施する留学事前・事後講義に必ず参加しなければなりません(各講義日程は、参加決定後に別途お知らせします)。

■参加決定から出発までのスケジュール

	【春学期出発】	【秋学期出発】
参加手続き説明会	2017年12月7日(木)、8日(金)	2018年1月24日(水)、25日(木)
オリエンテーション・事前研修を出発までに3回実施予定。内容、日程(土曜を中心に行う予定)については、出願時にお知らせします。	2018年2月～4月(予定)	2018年5月～8月(予定)
参加費残金支払期限	2018年2月下旬	2018年5月下旬
出発(日程は各プログラムのページ参照)	2018年4月上旬～5月上旬	2018年8月上旬～10月中旬
帰国(日程は各プログラムのページ参照)	2018年7月下旬～8月中旬	2018年12月中旬～2019年3月中旬
解散式・TOEFL®受験	2018年8月上旬～9月上旬	2018年12月下旬～2019年1月上旬
帰国報告会	2018年10月中旬	2018年12月下旬～2019年1月中旬

※上記スケジュールは大学によって異なる場合があります。詳細は参加決定後に案内します。

【注意】参加手続き説明会、オリエンテーション、渡航説明会、事後研修は全員参加必須です。なお、無断欠席、遅刻、提出物の遅れ、参加費振込の遅延、参加態度が悪く周囲に悪影響が及ぶ等、問題行動が見られる場合は、プログラム参加が取り消されることがあります。

2-2 中期海外インターンシップ (オーストラリア)

プログラム概要

グローバル化が進む現代の経済社会では、海外との対外交渉やビジネス実務に即応できる高い英語コミュニケーション力を持ち、かつ異なる文化や価値観を認め合い共生できる人材が求められています。本学は、ビジネス英語を中心とした大学での英語学習に加え、実践的なインターンシップ体験が組み込まれた「中期海外インターンシップ」をオーストラリア（シドニー）のニュー・サウス・ウェールズ大学と連携しながら実施しています。インターンシップ内容は、教育機関やホテルでの業務、現地企業でのオフィスワークなどを予定しています。参加者は出発前に各自興味を持つ分野を選択し、現地コーディネーターとの面談を経て、各参加者の希望と適性を考慮し、インターンシップ先が決定されます（インターンシップ先によっては事前面接あり）。卒業後は世界を舞台に活躍したいというキャリアプランを持つ学生にお奨めのプログラムです。

■科目・単位数

ビジネス英語研修

Term1: 英語科目「英語中期留学ニュー・サウス・ウェールズ大学Ⅰ」4単位(5週間／9月3日(月)～10月5日(金))

インターンシップ

Term2: グローバルスタディーズ科目「インターンシップ準備演習（オーストラリア）」4単位(3週間／10月8日(月)～10月26日(金))

Term3: 海外社会体験実習グローバルスタディーズ科目「海外社会体験実習（オーストラリア）」6単位(6週間／10月29日(月)～12月7日(金))

※Term1は、他国の学生と共に受講します。Term2は、本学学生のみに開講される特別授業です。

※原則として、中期海外インターンシップ参加者の2018年度秋学期履修は上記開講科目のみです。

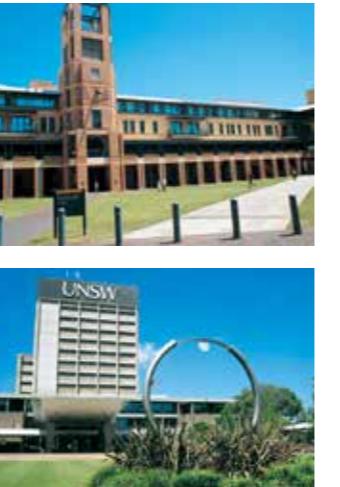
※英語科目的取り扱いについては、所属学部事務室に問い合わせください（学部により扱いが異なるため）。

※上記科目・単位数は2017年9月現在の予定であり、変更になる可能性があります。

【研修期間（予定）】
2018 秋学期／14週間
9.3-12.7
日本出発日：2018.9.1
日本到着日：2018.12.9

■2018年度中期海外インターンシッププログラム現地授業スケジュール（予定）

Week	Content
1	Term 1 他国からの留学生と共にビジネスの場で必要となる英語を学ぶ「Career English」(週20時間)を受講 授業内容の一例： • Discussion of business topics • Individual business focussed presentation • Media studies, focussing on business news • Analysing case studies • Attending guest lectures • Building negotiation skills
2	Term 2 専門学生に特別に準備された「Internship Preparation Program」(週20時間)を受講 授業内容の一例： • 英文履歴書の作成指導 • オーストラリアにおける職場文化の学習 • ビジネス文章の書き方
3	Term 3 事前申込書、面談に基づき配置される現地企業でインターンシップ実習を実施 2017年度派遣先例： 旅行代理店／金融コンサルティング会社／教育機関／法律事務所／ホテル／マーケティング会社 など
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	



学生の声

今野 雄介 総合政策学部3年(参加時)

●留学の目的

実際に使える英語を勉強したかったからです。日本国内でも英語が必要な仕事が増えている中、学生のうちにそのような経験ができるることは非常に有益だと感じました。インターンシップを通して海外の職場環境や語学を同時に学べ、将来の選択肢を増やすことができたと思います。

●現地での印象的な出来事

ホームステイについてです。最初の方は文化が異なるため、戸惑う場面もありましたが、自分から意見を主張して状況を変えられた経験はいろいろな意味で思い出深いものとなりました。留学はまたとない貴重な機会ですので、参加者にはすべての出来事をプラスに捉えて乗り越えてほしいですし、そうすれば少なからず成長できると思います。

●留学で得たもの

異文化への対応力です。それを感じたのはホームステイ先とインターン先の二つの場面でした。ステイ先では留学生受け入れに対する考え方の違いに戸惑いましたが、乗り越えられました。インターン



の勤務先ではスタッフの出退勤時刻がバラバラで、各自の仕事量に応じた柔軟な対応がなされていました。私は10:00から16:00と勤務時間が定まっていましたが、そのような周りの環境に少し戸惑いました。他にも細かい異文化体験は多々ありました。今では良い経験であったと感じています。

●これから留学を考えている人へのアドバイス・メッセージ

留学体験談ではよく“楽しい”面だけが強調されます。しかし留学期間が長いほど様々な出来事が起ります。なんでもすぐに手に入る便利な日本の生活とはかけ離れた環境に留学する人もいるでしょう。しかし、それらを苦痛と見るか、人間としての経験値を積める環境と見るかは自分次第です。留学は一生のうちに何度もできるものではないので、身の回りに起こりうるすべての出来事を受け入れて、自分なりにもがいてください。そして壁を乗り越えた時にこそ、留学は楽しいものになると思います。せっかくの機会なので全力で挑戦してください。

募集要項

■募集人数

20名(最少催行人数10名)

■参加費(概算)

総額：約123万円(1AUドル=90円換算)

参加費は授業料等改定、為替レート、旅費等を勘案して2018年6月頃に決定し発表します。

※本プログラム期間中であっても、本学学費の納入は必要です。

※オーストラリア渡航ビザ(ワーキングホリデービザ)取得に伴い、ビザ申請費用が別途発生します。

■滞在形式

公共交通機関を利用して約1時間圏内の家庭にホームステイ。平日は朝、夕の2食付。土日祝日は3食付。寝室は原則1人部屋ですが、日本人を含めた他の学生と同じ家庭にステイする場合もあります。

■出願資格・条件

①留学時に学部2年生以上であること。

②第1学年度必修の英語科目的単位をすべて修得、または修得見込みの者(2017年度秋学期終了時点未修得の場合は、参加取り消しとなる)。

③以下のいずれかの英語条件を満たすこと。

TOEFL iBT®510点以上、TOEFL iBT®64点以上、IELTS5.5点(overall)以上、TOEIC®620点以上。

*2016年4月以降受験分を有効とする。

*TOEIC®スコア利用者のみ出願後に現地大学による15分程度の電話面接選考あり。

④心身ともに健康である者。

⑤全ての事前研修会、渡航説明会に参加できること。

■奨学金

申請者全員に20万円の中期留学奨学金を支給します。支給申請方法の詳細は参考決定者に案内します。国際学部の参加者には原則として、中期留学奨学金に代わり、国際学部留学奨励金が適用されますが受給できるのは在学中1回に限ります(過去に他プログラムで受給済みの場合は中期留学奨学金(20万円)が適用されます)。

■事前研修

2018年4月～8月の土曜日に合計3回程度実施予定。

※全てに必ず参加しなければなりません

●本プログラムはワーキングホリデー(以降「WHJ」)ビザを利用してオーストラリアへ渡航します。WHJビザ制度を利用した同国への渡航は1人1回に限られるため、過去に同制度でのオーストラリア渡航歴がある方や、同国とWHJ制度を締結していない国の国籍所持者等、WHJ制度を利用できない方は出願前に必ず国際教育・協力センターへ相談して下さい(オーストラリアとのWHJ協定締結国：日本、韓国、台湾、他)。制度の詳細は下記ウェブサイトを確認してください。
外務省ウェブサイト：http://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/visa/working_h.html



■海外インターンシップ

という英語を話さざるをえない環境に身を置くことによって、自分の英会話力を上達させることができました。(経済・3年)

報告会に参加しよう！

プログラムに参加した先輩による体験談を聞くことができます。
参加を検討している人は、ぜひ報告会に参加しましょう！
日時：12月18日(月)12:45～13:25(昼休み)
場所：NUC G号館202教室



■募集説明会

西宮上ヶ原キャンパス

2017年11月13日(月)、21日(火)

[時間] 12:45～13:25(昼休み)

[場所] 西宮上ヶ原キャンパスG号館227号教室

神戸三田キャンパス

2017年11月17日(金)、22日(水)

[時間] 12:45～13:25(昼休み)

[場所] 神戸三田キャンパスIII号館104号教室

■出願方法

出願期間：2018年1月12日(金)～1月16日(火)

出願書類：①「中期海外ビジネスインターンシッププログラム参加申込書」

*オンライン出願および紙面での提出(P.9を参照)。

*オンライン入力は12月21日(木)より可能です。

②上記記載の英語能力試験のスコア原本とそのコピー

出願場所：国際教育・協力センター

(西宮上ヶ原キャンパスG号館1階、神戸三田キャンパスアカデミックコモンズ2階)

参加者発表：2018年1月23日(火)

参加者手続き説明会：2018年1月24日(水)昼休み※出席必須

西宮上ヶ原キャンパスG号館G227号室

*KSC、NSCの学生は出願時に相談ください。

■出願に関する注意

●書類選考を行った上で、定員数を上回った場合は抽選により参加者を決定します。申し込む際に、必ずプログラムに参加するという強い意志が要求されます。参加者決定後、安易に参加を取りやめることは許されないと理解した上で出願してください。

●参加決定後のキャンセルについて

参加決定後に辞退をする場合は、辞退理由に關わらず、以下のとおり参加費用の一部または全額のキャンセル料金が発生します。

・プログラム費：参加大学のキャンセルボリシーに基づく

・航空券：航空会社のキャンセルボリシーに基づく

●英語中期留学との併願を希望する場合は、事前に必ず申し出てください。

*ビザの取得は参加者個人の責任のもと、各自で行っていただきます。万一、ビザが取得出来なかった場合はプログラムに参加することは出来ません。

*出席状況不良、課題不提出等で不合格になったTermがあった場合は、引き続き残りのTermの授業科目の履修はできません。この場合、直ちに自費で帰国しなければなりません。

色々な人と出会い、多種多様な文化、そして考え方で触れて、英語力だけでなく、自分自身の人間的成长も実感できました。(教育・4年)



■出願から出発までのスケジュール

出願期間	2018年1月12日(金)～1月16日(火)	参加者オリエンテーション・事前研修会 (出発までに合計4回程度実施予定、内容、日程(土曜日を中心に)に行う予定)については、決定次第お知らせします。	2018年4月～8月(予定)
電話面接選考(TOEIC®スコア利用者のみ対象)	2018年1月17日(水)～1月22日(月)昼休み(出願後に決定)		
参加者決定・発表	2018年1月23日(火)	参加費残金振込期限	決定後通知
参加手続き説明会	2018年1月24日(水)昼休み	出発	2018年9月予定
申込金(20万円)振込・手続き資料提出期限	2018年2月5日(月)	帰国・解散式	2018年12月中旬予定

【注意】参加手続き説明会、オリエンテーション、渡航説明会、事後研修は全員参加必須です。なお、無断欠席、遅刻、提出物の遅れ、参加費振込の遅延、参加態度が悪く周囲に悪影響が及ぶ等、問題行動が見られる場合は、プログラム参加が取り消されることがあります。

2-3 フランス語中期留学

リヨン第2大学

Université Lumière Lyon 2

大学情報				授業
所在国・地域	大学創立年	設置形態	学生数	
フランス リヨン市	1969年	公立	約28,000名	
プログラム実施機関URL				
Université Lumière Lyon 2 http://www.univ-lyon2.fr/ Centre International d'Études Françaises (CIEF) http://cief.univ-lyon2.fr/ Campus France http://www.japon.campusfrance.org/ja				
都市の特徴				
フランス南東部に位置し、ローヌ川とソーヌ川が合流するところにある人口約48万人の、フランス第2の都市です。歴史的にパリと地中海を結ぶ交通の要衝で、アルプスとマントヴァントラル(中央山地)の中間にあり東西軸の中心都市でもあります。さらに、ドイツ、イタリア、スイスへも通じる位置にあります。リヨンはルネッサンス文化の大本拠地として、また織物の生産地、映画やギニヨールという人形芝居の発祥地として古い伝統があり、旧市街は世界遺産に認定されています。また、現在では美食の街として世界中に知られています。				
大学の特色				
リヨン市にある国立大学で、人文・社会科学系の学部があります。旧リヨン大学は、理学部(1835年創立)、文学部(1838年)、医学部(1874年)、法医学部(1875年)が統合して1896年に創設されました。現在はこれらが3つの大学に分かれています。リヨン第2大学には、現在6学部、7研究所、2センターがあります。ローヌ川沿いにあるキャンパスはリヨン中心地にも徒歩圏の距離です。				
募集人数				20名
滞在形式				学外の寮。トラムウェイ(路面電車)で学校まで15分程度。一人部屋、自炊。各部屋にキッチン、シャワー、トイレが有ります。
科目・単位数				【必修フランス語科目】 Term 1:「フランス語中期留学 I」4単位(95時間) Term 2:「フランス語中期留学 II」4単位(95時間) Term 3:「フランス語中期留学 III」4単位(90時間) 1.フランス語科目は計3科目(12単位)履修します。 2.本学学生はフランス語科目を必ず履修しなければなりません。「フランス語中期留学 I (または II)」が、出席状況不良、課題不提出等で不合格になった場合は直ちに帰国しなければなりません。 3.フランス語科目的各学部での取り扱いについては、各所属学部事務室に問合せてください。全学部とも単位が認定されますが、取り扱いは学部によって異なります。
学生の声				中西千夏 文学部2年(参加時)
●留学の目的				話をしたり、中華を食べに行ったりしてすごく楽しかったです。放課後はINSAという現地のエンジニアの大学の日本語の授業に、ラーニングアシスタントのような形で参加しました。そこで出会った現地の学生とも仲良くなり、一緒にご飯を食べたりパーティーをしたりしました。
●現地での印象的な出来事				●これから留学を考えている人へのアドバイス・メッセージ
平日は毎日朝から夕方まで授業があり、フランス語でフランス語を学び、またネイティブのフランス人の先生のもとで勉強したので、かなり苦労することも多かったです。帰国時には語学力の向上を感じることができました。平日にしっかりと勉強する分、休日は存分に遊びました。				私は、フランスを含むヨーロッパで生活して、今まで自分はなんて狭い世界で生きていたんだろうと思いました。日本にはない街の雰囲気、建築、文化、人々の価値観を感じることは、自分にとってかけがえのない経験です。留学すること、海外へ行くことに不安を感じている人がいると思いますが、それを理由に留学を諦めるのはとてももったいないと思います。少しでも気持ちがあるなら、是非挑戦してみてください。
●留学で得たもの				
クラスには私を含む3人の日本人と13人の中国人だけで、フランス語でしかコミュニケーションがとれなかったので大変でしたが、お互いの国文化や流行				

【研修期間(予定)
2018秋学期/15週間
9.17-12.21
日本出発日:2018.9.2
日本到着日:2018.12.23

募集要項

募集説明会

日時:2017年11月10日(金)、16日(木)12:45~13:25(昼休み)
場所:NUC G号館227号教室

出願資格・条件

- 原則として学部2年生(申込時は原則1年生、大学院生は申込不可)。2年生だけで定員に満たない場合のみ、3・4年生の参加も可能とします。
- (文学部フランス語学専修生)
 - 第1学年度必修科目(フランス語)4単位をすべて修得している者、または修得見込みの者。(文学部フランス語学専修生以外)
 - 第1学年度必修科目(フランス語)4単位(フランス語インテンシブを履修している場合は5単位)をすべて修得している者、または修得見込みの者。(文学部生以外)
 - 第1学年度選択必修科目(フランス語)、もしくは総合政策学部、理工学部開講の選択科目のフランス語4単位をすべて修得している者または修得見込みの者。(全部生共通)
 - 申込時は修得見込みでも可。ただし2017年度秋学期終了時点ですべて修得できなかつた場合は参加決定が取り消されます。
- 心身ともに健康である者。
- 事前研修会に必ず参加できる者。
- 留学前までには、実用フランス語技能検定試験(仮候)3級レベル以上であることが望ましい。

出願に関する注意

- 申し込み際に必ずフランス語中期留学に参加するという強い意志が要求されます。参加者が途中で安易に参加を取りやめることは許されません。
- 参加決定後のキャンセルについて
 - 参加決定後に辞退をする場合は、辞退理由に関わらず、以下のとおり参加費用の一部または全額のキャンセル料金が発生します。
 - ・プログラム費: 参加大学のキャンセルボリシーに基づく
 - ・航空券: 航空会社のキャンセルボリシーに基づく

参加者決定方法

- 選考試験(筆記・面接)
日時:2017年12月16日(土)
- 参加者発表
日時:2018年1月10日(水)9:00
- 参加手続説明会
日時:2018年1月25日(木)12:40~13:25(昼休み)
- 選考通過後、諸手続きを完了し、フランス語の先修条件を満たし留学査証を取得した者が正式なフランス語中期留学参加者となります。

参加者決定から出発までのスケジュール

出願期間	2017年11月21日(火)～11月24日(金)
選考試験(筆記・面接)	12月16日(土)
参加候補者決定・発表	2018年1月10日(水)9:00
参加手続説明会	1月25日(木)12:40~13:25(昼休み)
申込金(30万円)振込・手続資料提出	2月
参加者オリエンテーション・事前研修会	2月～7月(出発までに5回程度実施予定。内容、日程については決定次第お知らせします。)
参加費残金振込	決定後通知
出発	8月下旬～9月初旬
帰国	12月下旬
解散式・帰国報告会	2019年2月

【注意】参加手続説明会、オリエンテーション、渡航説明会、事後研修は全員参加必須です。なお、無断欠席、遅刻、提出物の遅れ、参加費振込の遅延、参加態度が悪く周囲に悪影響が及ぶ等、問題行動が見られる場合は、プログラム参加が取り消されることがあります。



出願手続き

出願期間

2017年11月21日(火)～11月24日(金)

*オンライン出願は11月1日(水)より可能です。

※受付時間は事務室開室時間のみ

[平日]8:50～11:30、12:30～16:50 [土曜]8:50～12:20

出願に必要な書類

「フランス語中期留学参加申込書」*

*出願用紙は国際教育・協力センターウェブサイトhttp://www.kwansei.ac.jp/c_ciec/にアクセスし、画面右上の「海外留学申込み」からオンライン出願し、印刷したものを提出すること。本人及び保証人自署欄は直筆で記入して下さい。

出願先

国際教育・協力センター NUC G号館1階
KSC アカデミックコモンズ2階

履修登録する際の注意

原則として、フランス語中期留学参加者の2018年度秋学期の履修については、フランス語中期留学開講科目となります。履修上の取り扱いは学部により異なりますので、所属学部の事務室で確認してください。但し、2018年度春休みに行われる集中授業科目のうち、フランス語中期留学プログラムの期間と授業期間が重ならない授業科目については履修を認めています。この場合、履修登録期間中に留学先で教学Webサービスを通して自分で履修手続きをする必要があります。一部、事務室窓口で申込・履修手続きが必要となる授業科目の履修はできません。

奨学金

申請者全員に20万円の奨学金を支給します。支給申請方法の詳細は参加決定者に案内します。国際学部の参加者には原則として、中期留学奨学金に代わり、国際学部留学奨励金が適用されますが、受給できるのは在学中1回に限ります(過去に他プログラムで受給済の場合はフランス語中期留学奨学金(20万円)が適用されます)。

その他

- 参加費以外に必要な費用
 - 参加費以外にどの程度必要かについては、休暇中の旅費やその他の個人的経費によって大きく異なりますが、一般的に約40万円程度は必要になると考えてください。

3-1 交換留学

学生交換協定校 約140校

年間派遣者数 約170名

●交換留学の目的

- 専門知識や興味のある学問に関する知識を海外の大学で深める
- 異なる文化や価値観に接し、その社会や人々の理解を深める

交換留学は、本学に在籍しながら、協定大学へ1学期間または2学期間(1年)留学できる制度です。大学時代に海外で専門分野の勉強に打ち込み、多種多様な価値観を持つ世界各国の友人と交流を深めながら、世界市民を目指してください。

●交換留学のメリット

- 授業料相殺:** 大学の授業料をもって留学先大学の授業料に充てます。一部授業料非相殺交換留学(留学期間中は本学の授業料と共に、留学先大学の授業料を納入する必要あり)もあります。
- 奨学金制度:** 学内・学外の奨学金制度が充実しています。
- 単位認定制度:** 留学先で修得した単位を所属学部で本学の単位に認定することが可能です(詳細は、学部事務室に問い合わせさせてください)。

●交換留学の期間と募集時期

【交換留学期間】

交換留学ができる期間は、1学期間または2学期間(1年)です。海外の大学の学年歴は日本の学年歴と異なっているため、必ずしも本学の学期と留学先の学期が連動しているわけではありませんが、本学での扱いは春学期留学、秋学期留学又は通年留学として留学期間を扱います。

【募集時期】

交換留学の募集は、実際に留学を開始する時期の約1年または1年前に行います。第1期募集(5月)と第2期募集(9月)の年に2回実施しています。具体的な出願資格、出願手続き、選考方法等については、『国際教育・協力プログラム募集要項2017 Volume I』のP.37~48を参照してください。

最新の交換留学募集人数は、
国際教育・協力センターウェブサイトをチェック!

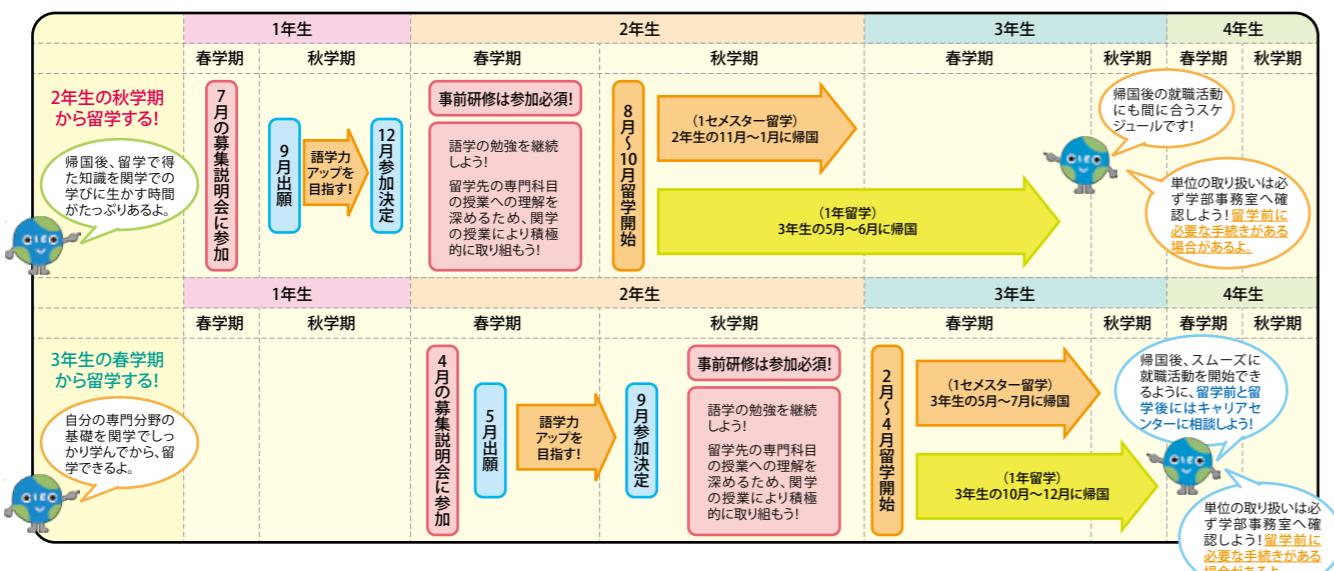


QRコードからも
アクセスできるよ!



●交換留学のモデルケース

交換留学参加のタイミングについて、モデルケースの一例を紹介します。「交換留学に行きたいけど、今からでも間に合うかな?」と悩んでいる方は、ぜひ国際教育・協力センターまで相談に来てください。また、単位認定や演習(ゼミ)等については、所属学部事務室にて相談してください。

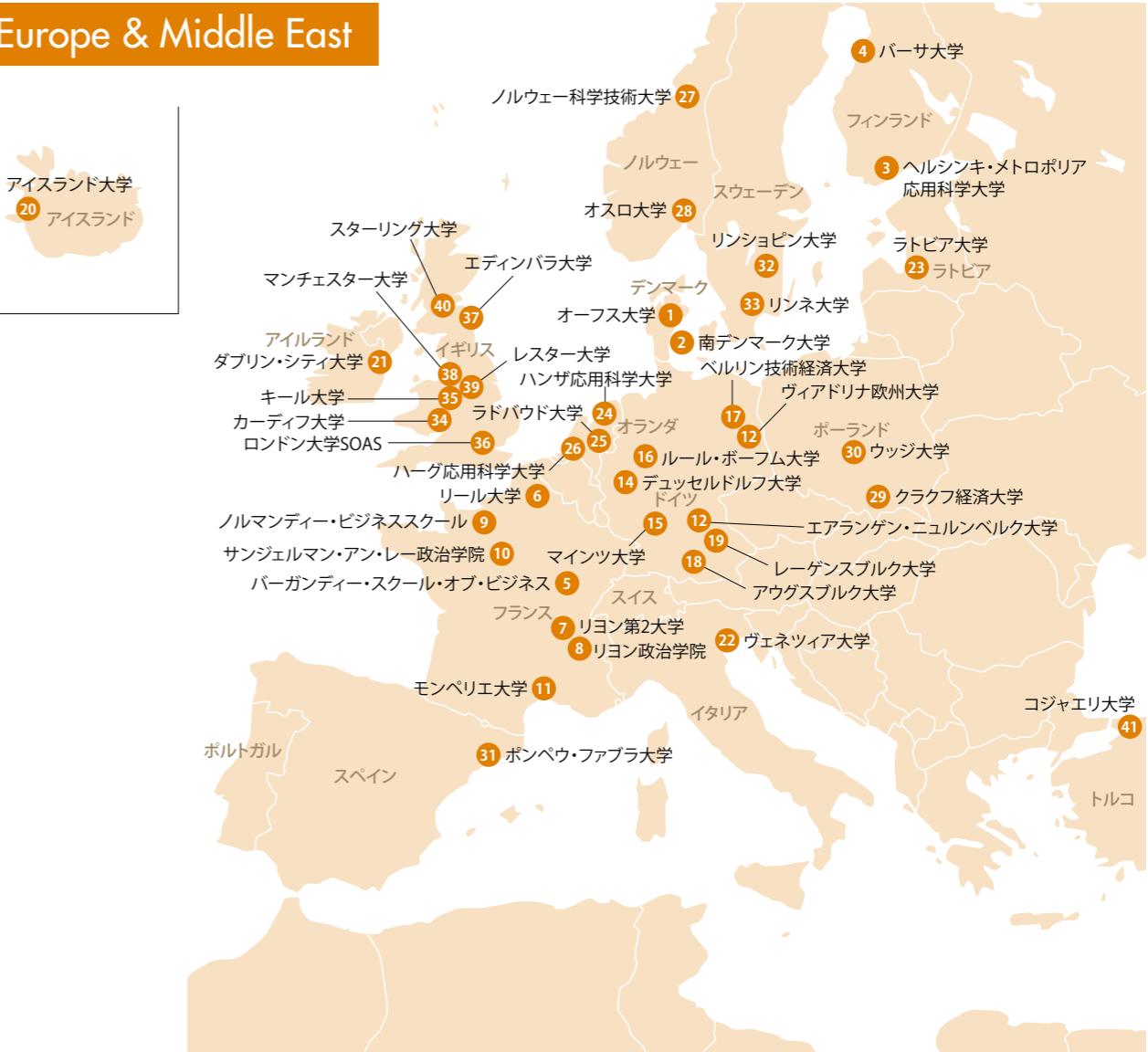


交換留学が可能な海外協定校一覧



国際教育・協力センターウェブサイトからも確認できるよ!

Europe & Middle East

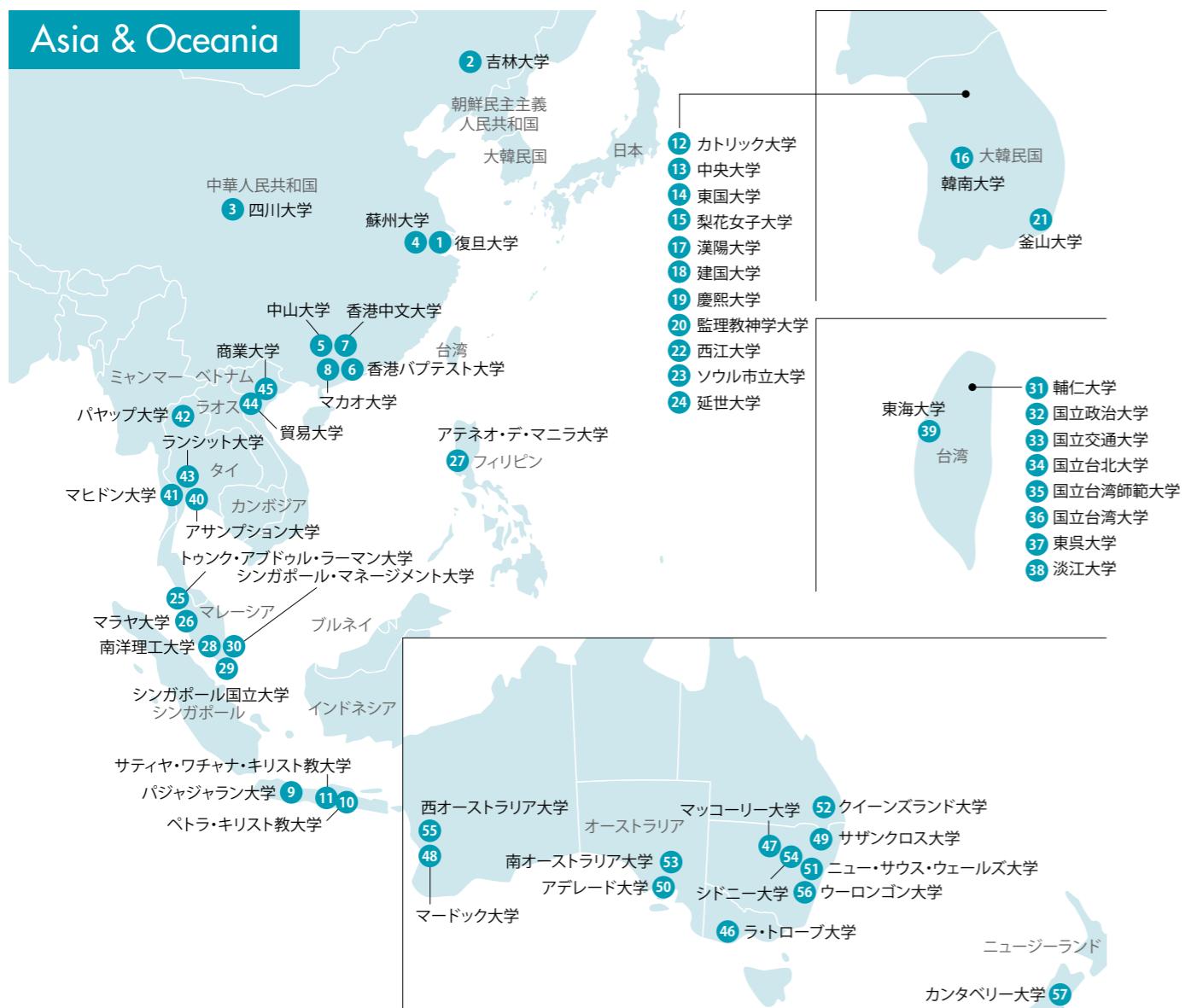


交換留学が可能な海外協定校

Denmark	① オーフス大学/Aarhus University ② 南デンマーク大学/University of Southern Denmark
Finland	③ ヘルシンキ・メトロポリア応用科学大学/Helsinki Metropolia University of Applied Sciences ④ バーサ大学/University of Vaasa
France	⑤ バーガンディー・スクール・オブ・ビジネス/Burgundy School of Business NEW ⑥ リール大学/Lille University ⑦ リヨン第2大学/Lumiere University of Lyon 2 ⑧ リヨン政治学院/Lyon Institute of Political Studies ⑨ ノルマンディー・ビジネススクール/Normandie Business School ⑩ サンジェルマン・アン・レー政治学院/Saint-Germain-en-Laye Institute of Political Studies ⑪ モンペリエ大学/University of Montpellier ⑫ ヴィアドリナ欧州大学/European University Viadrina ⑬ エアランゲン・ニュルンベルク大学/Friedrich-Alexander University of Erlangen-Nürnberg ⑭ デュッセルドルフ大学/Heinrich Heine University Duesseldorf ⑮ マインツ大学/Johannes Gutenberg University Mainz ⑯ ルール・ボーフム大学/Ruhr University Bochum ⑰ ベルリン技術経済大学/HTW Berlin ⑱ アウグスブルク大学/University of Augsburg ⑲ レーゲンスブルク大学/University of Regensburg
Germany	⑳ アイスランド大学/University of Iceland ㉑ ダブリン・シティ大学/Dublin City University
Iceland Ireland	㉒ ヴェネツィア大学/Università Ca' Foscari Venezia NEW ㉓ ラトビア大学/University of Latvia ㉔ ハンザ応用科学大学/Hanze University of Applied Sciences ㉕ ラドバウド大学/Radboud University ㉖ ハーグ応用科学大学/The Hague University of Applied Sciences ㉗ ノルウェー科学技術大学/Norwegian University of Science and Technology ㉘ オスロ大学/University of Oslo ㉙ クラクフ経済大学/Cracow University of Economics ㉚ ワッジ大学/University of Lodz ㉛ ポンペウ・ファブラ大学/Pompeu Fabra University ㉜ リンショピング大学/Linkoping University ㉝ リンネ大学/Linnaeus University ㉞ カーディ夫大学/Cardiff University ㉟ キール大学/Keile University ㉟ ロンドン大学SOAS/School of Oriental and African Studies,University of London ㉞ エдинバラ大学/The University of Edinburgh ㉟ マンチェスター大学/The University of Manchester ㉞ レスター大学/The University of Leicester ㉞ スターリング大学/University of Stirling ㉞ コジャエリ大学/Kocaeli University

交換留学が可能な海外協定校一覧

Asia & Oceania



交換留学が可能な海外協定校

China	1 復旦大学/Fudan University 2 吉林大学/Jilin University 3 四川大学/Sichuan University 4 蘇州大学/Soochow University 5 中山大学/Sun Yat-Sen University	Taiwan	30 シンガポール・マネージメント大学/Singapore Management University 31 輔仁大学/Fu Jen Catholic University 32 国立政治大学/National Chengchi University 33 国立交通大学/National Chiao Tung University 34 国立台北大学/National Taipei University 35 国立台湾師範大学/National Taiwan Normal University 36 国立台湾大学/National Taiwan University 37 東吳大学/Soochow University 38 淡江大学/Tamkang University
China/Hong Kong	6 香港バプテスト大学/Hong Kong Baptist University 7 香港中文大学/The Chinese University of Hong Kong		39 東海大学/Tunghai University
China/Macau	8 マカオ大学/University of Macau		40 アサンプション大学/Assumption University
Indonesia	9 パジャジャラン大学/Padjadjaran University 10 ペトラ・キリスト教大学/Petra Christian University 11 サティヤ・ワチャナ・キリスト教大学/Satya Wacana Christian University		41 マヒドン大学/Mahidol University International College 42 パヤップ大学/Payap University 43 ランシット大学/Rangsit University 44 貿易大学/Foreign Trade University
Korea	12 カトリック大学/Catholic University of Korea	Thailand	45 商業大学/Thuongmai University 46 ラ・トローブ大学/La Trobe University 47 マッコリー大学/Macquarie University 48 マードック大学/Murdoch University 49 サザンクロス大学/Southern Cross University 50 アデラード大学/The University of Adelaide 51 ニュー・サウス・ウェールズ大学/The University of New South Wales 52 クイーンズランド大学/The University of Queensland 53 南オーストラリア大学/University of South Australia 54 シドニー大学/The University of Sydney 55 ウエスタンオーストラリア大学/The University of Western Australia 56 ウーロンゴン大学/University of Wollongong
	13 中央大学/Chung-Ang University 14 東国大学/Dongguk University 15 梨花女子大学/Ewha Womans University 16 韓南大学/Hannam University 17 漢陽大学/Hanyang University 18 建国大学/Konkuk University 19 庆熙大学/Kyung Hee University 20 監理教神学大学/Methodist Theological University 21 釜山大学/Pusan National University 22 西江大学/Sogang University 23 ソウル市立大学/University of Seoul 24 延世大学/Yonsei University	Vietnam	57 カンタベリー大学/University of Canterbury
Malaysia	25 トunku・アブドゥル・ラーマン大学/Tunku Abdul Rahman University	Australia	
Philippines	26 マラヤ大学/University of Malya		
Singapore	27 アテネオ・デ・マニラ大学/Ateneo de Manila University 28 南洋理工大学/Nanyang Technological University 29 シンガポール国立大学/National University of Singapore		

North, Central & South America



交換留学が可能な海外協定校

Canada <ul style="list-style-type: none"> ① ウエスタン/ヒューロン大学/Huron University College at Western University ② ウエスタン/キングス大学/King's University College at Western University ③ マギル大学/McGill University ④ ニューファンドランド・メモリアル大学/Memorial University of Newfoundland ⑤ マウント・アリソン大学/Mount Allison University ⑥ クイーンズ大学/Queen's University ⑦ サイモン・フレーザー大学/Simon Fraser University ⑧ ブリティッシュ・コロンビア大学/The University of British Columbia ⑨ カルガリー大学/University of Calgary ⑩ ゲルフ大学/University of Guelph ⑪ トロント/ピクトリア大学/University of Toronto / Victoria University ⑫ ピクトリア大学ビジネススクール/University of Victoria, Peter B. Gustavson School of Business ⑬ ドレイク大学/Drake University ⑭ エモリー大学/Emory University ⑮ フロリダ州立大学/Florida State University ⑯ ガウチャード大学/Goucher College ⑰ ネブラスカ・ウェスレян大学/Nebraska Wesleyan University ⑱ ノース・キャロライナ州立大学/North Carolina State University ⑲ ピツォー大学/Pitzer College ⑳ サンフランシスコ州立大学/San Francisco State University ㉑ サンノゼ州立大学/San Jose State University ㉒ 南メソジスト大学/Southern Methodist University 	U.S.A. <ul style="list-style-type: none"> ㉓ ステットソン大学/Stetson University ㉔ テキサスA&M大学/Texas A&M University ㉕ ジョージア大学/The University of Georgia ㉖ ネブラスカ大学カーニー校/The University of Nebraska at Kearney ㉗ ニューメキシコ大学/The University of New Mexico ㉘ ノース・カロライナ大学チャペルヒル校/The University of North Carolina at Chapel Hill ㉙ トリニティ大学/Trinity University ㉚ ニューヨーク州立大学オルバニー校/University at Albany, The State University of New York ㉛ ハワイ大学マノア校/University of Hawaii at Manoa ㉜ マサチューセッツ大学アムハースト校/University of Massachusetts at Amherst ㉝ ミズuri大学コロンビア校/University of Missouri-Columbia ㉞ ネブラスカ大学オマハ校/University of Nebraska Omaha ㉟ ネバダ大学リノ校/University of Nevada, Reno ㉟ パシフィック大学/University of the Pacific ㉜ ワシントン&ジェファーソン大学/Washington and Jefferson College ㉞ ウィットワース大学/Whitworth University ㉞ カリフォルニア大学デイビス校/University of California, Davis ㉞ カリフォルニア大学アイバイン校/University of California, Irvine ㉞ カリフォルニア大学リバーサイド校/University of California, Riverside 	Brazil <ul style="list-style-type: none"> ㉛ リオデジャネイロ州立大学/Rio de Janeiro State University ㉜ サンパウロ大学/University of Sao Paulo 	Mexico <ul style="list-style-type: none"> ㉝ モンテレー大学/University of Monterrey
---	--	---	---

学生の声

大幅スコアアップに成功し、第一志望の大学への交換留学を実現!

交換留学では、出願時に必要な英語スコアを出願書類事務室提出期間に提出して頂きますが、数ヵ月後の最終英語スコア提出日までなら、より高いスコアへ差し替えることが可能です。今回は、出願から最終英語スコア提出間に大幅にスコアをアップさせ、見事第一志望の大学に留学した学生の声を聞きました。

影山 美祈 国際学部2年(参加時)

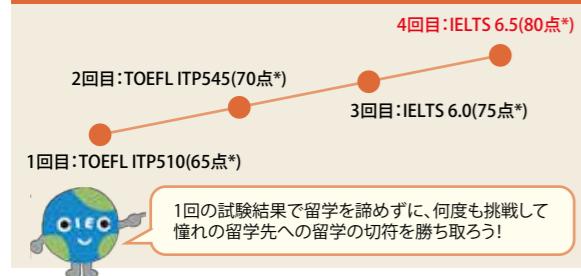
参加プログラム: 交換留学
国名: カナダ 留学先: ウエスタンヒューロン大学

●英語のスコアアップのために工夫したことは何ですか?どのようにモチベーションを維持し続けましたか?

夏休みに大学で行われた「IELTS夏季集中講座」はスコアアップに本当に役立ちました。そこで学んだ勉強法、押さるべきポイントを何度も復習し続けました。特に苦手だったWritingに関しては、毎日1つは文章を書くようにしてテンプレートを増やしていました。また、モチベーションが下がりそうな時は先輩方の定例報告を読み、留学している自分を想像するなどして乗り切りました。

計4回の受験を通して大幅点数アップに成功!

*英語運用能力試験換算表を基に点数化(P.45)

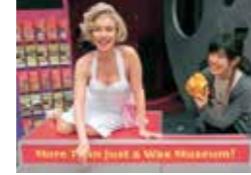


●留学を通して得たものは何ですか?

【友達】留学中はもちろん、今でも英語の添削をしてくれたり愚痴や相談にも乗ってくれる友達と出会えたことに本当に感謝しています。帰国後、日本に遊びにきてくれた友達もいますし、夏には私も遊びに行く予定です。留学中に出会った友達は人生の宝物です。
【自信】私は普通の公立高校出身で留学経験もなかったため、留学当初は現地学生との会話に困りました。しかし、完璧な英語でなくても伝えようとすれば伝わると気づき、コミュニケーションを楽しんでいる内に英語で人に話しかけることにつらがなくなりました。

●これから留学を考えている人にメッセージ!

人生なんでもやってみた人、動いた人が勝ちです。留学ができる機会なんてそうそうありません。そんな時間があるのも今が最後のチャンスかもしれませんよ。行きたいと思うなら挑戦してみませんか?日本の毎日から一瞬抜け出して、外の世界を見てみてください。たくさんの出会いを通して未来の目標が見つかるかもしれません。私みたいに。



英語力だけで満足していませんか?目標せマルチリンガル!

関西学院大学は約140校と学生交換協定を結んでおり、世界中の大学に留学が可能です。中には、英語に加えて、現地で話されている言語を学ぶ学生もいます。今回は、ドイツで経済学や民主主義について学んだ学生の声を聞いてみました。あなたも英語に加えてもう一つ、ご自身の強みを身につけませんか?

今井 恵 社会学部2年(参加時)

参加プログラム: 交換留学
国名: ドイツ 留学先: デュッセルドルフ大学

●なぜドイツ語圏への留学を考えましたか?1年間でドイツ語と英語のレベルはどれくらい向上しましたか?

留学先として英語圏ではなくドイツを選んだのは、第二言語として学んでいたドイツ語を実際に使ってコミュニケーションを取りたいという思いがあったからと、当時ヨーロッパでの難民受入者数が最多であったドイツ現地の状況を見てみたかったからです。留学先の大学ではドイツ語コースと並行し、英米文学、国際ビジネス、EUと民主主義など大学の講義を一般的の学生と共に英語で受講しました。

●留学を通して得たものは何ですか?

【計画性・大胆さ】交換留学一つをとっても、TOEFL®の受験、学業成績、面接、留学決定後の書類提出、保険・寮・ビザの申請、履修登録など



ど、煩雑な手続きがたくさんあります。人から何でも教えてもらうのではなく、自分で調べ、必要な書類を揃え、自分で実際に出向いて交渉するのも留学の学びの一つです。留学先では受け身にならず、自分から行動することで達成感につながると思います。

●これから留学を考えている人にメッセージ!

留学に少しでも興味があるなら、早め&広めに情報収集しましょう! 留学の募集要項を読んだり、交換留学から帰国した学生アドバイザーによる相談会もぜひ活用し、留学経験者から直接話を聞いてみてください。どこに留学するか悩んでいる方も、関学では多種多様な留学プログラムが提供されているので、きっと皆さんに合ったプログラムに出会えるはずです!



英語に加えて第3言語も話せると、きっと将来の武器になるはず!自分の新たな可能性を見つけよう!



3-2 その他プログラム

ACUCA

ACUCAプログラム学生交換計画(ACUCA Student Mobility Scheme、以下SMSと略す)は、アジアのキリスト教主義の大学が相互協力と発展のために結成した協会ACUCA(The Association of Christian Universities and Colleges in Asia)による学生交換プログラムです。ACUCA加盟校のいずれかに秋学期の1学期間留学することが出来ます(すでに関学と個別の交換留学協定がある大学、および留学が可能な学期や提供される授業などの事情で派遣が困難な大学は、本プログラムの対象外です)。留学期間中の授業料の支払いや、単位認定の取り扱いは交換留学と同様です。

●2018年度秋学期派遣 出願資格・選考日程・手続き

2018-2019年交換留学第2期募集と同時に選考します。詳細スケジュールは国際教育・協力プログラム募集要項2017 Volume I のP.3を参照してください。

●奨学金

派遣されることが決定した場合、交換留学奨学金に加えて以下の支給奨学金に申請することができます。

奨学金名: Living Expenses Subsidy 300US\$/月
Travel Subsidy 750US\$ (上限額)

●ACUCA加盟大学

ACUCAウェブページ
(<http://www.acuca.net/>)よりStudent Mobility Scheme参照

日加コンソーシアム

日加戦略的留学生交流促進プログラムは、日本コンソーシアム協定大学とカナダコンソーシアム協定大学に在籍する学生を相互に交換する学生交流プログラムです。コンソーシアム形式の計画的・継続的な交流により、1対1の交流協定では難しい幅広い日加間の学生交流に資すること目的としています。

●2018年度秋学期派遣 出願資格・選考日程・手続き

募集に関する詳細は、2017年12月頃に国際教育・協力センターのウェブサイトに公開予定

●日加コンソーシアム加盟大学

日加コンソーシアムウェブサイト (<http://www.jacac.com/what-we-do/student-exchange/partners/>) をご確認ください。

認定留学

認定留学とは、休学することなく、協定大学を含む外国の大学に留学する制度です。認定留学は、本人の申請に基づいて留学を希望する外国の大学(専攻しようとする分野)が、学位授与権を有しているかなどの諸点を大学が審査し、学部教授会により、本人の留学目的が教育上有益と判断した場合に認められています。学籍上の取扱い、単位認定、履修上の特例等については、交換留学の場合と同じですが、学費は本学と留学先大学の両方に納入しなければなりません。ただし、認定留学する者に対しては本学の授業料の半額を限度として、留学先大学の学費を助成する制度があります。

●出願資格

学部生で該留学年度までに少なくとも1年以上在学し、24単位以上の単位を修得した者。

学位授与権を持つ大学に入学する場合であっても、大学の英語集中コース(ESLなど)については認定留学として適用されません。
事前に申請せず独自に外国に留学し、帰国後、本学の単位の認定を希望するケースについても認定されません。

●認定留学の手順(最低1年要)

- ①留学先(国・大学)を決める
- ②留学先の出願要件を確認し、入学申請をする
 - ・留学したい大学の要覧、講義要項、入学願書を入手する
- ③国際教育・協力センターや所属学部、指導教員に相談する
 - ・研究演習の履修、教職課程、卒業要件の確認
- ④入学出願手続き
 - ・出願書類一式を留学先大学に提出する
- ⑤入学許可書が送付される
- ⑥以下の書類を国際教育・協力センターに提出する(渡航日の3ヶ月前)
 - ・認定留学願
 - ・留学先大学情報
 - ・留学計画書
 - ・認定留学助成金申請書
- ⑦国際連携委員会、学部教授会の審査を経る
- ⑧認定留学の可否が判定される

●留学期間: 交換留学に準じる

●認定留学前後の諸手続き

- ・帰国後の履修について所属学部の指導を受ける
- ・留学届・留学帰学届を所属学部に提出する
- ・単位認定願は、原則として成績表とともに認定留学終了後40日以内に提出する

●認定留学助成金

留学先大学で実際に支払われた学費(正規授業に関わる費用)を対象として、本学の授業料の半額相当額を限度として支給される
注) 奨学金等で免除となる学費は支給対象にならない

3-3 國際ボランティア

「国連ユースボランティア」「国際社会貢献活動」

国際ボランティアは、「国連ユースボランティア」と「国際社会貢献活動」との2つのプログラムからなります。両プログラムは、本学のスクールモットー“Mastery for Service”を体現する、創造的かつ有能な世界市民を育むことを狙いとした多様な派遣先と活動内容が魅力のプログラムです。開発途上国での5ヵ月間の活動は非常にやりがいがあり、自己成長を促進させます。なお、本プログラムは開発途上国に長期間派遣されるため、学内選考においては開発途上国での活動実績や国際協力、開発関連科目などを通じた学習歴が強く求められます。本プログラムへの応募を検討する場合は事前に必ず国際ボランティア担当教員を訪問し、学習計画などを相談するようしてください。

国連ユースボランティア

「国連ユースボランティア」は、関西学院大学が国連ボランティア計画(UNV)との協定に基づき、学生を開発途上国にボランティアとして派遣するプログラムです。本学が2004年に開発途上国への学生ボランティア派遣を開始して以来、これまでに90名の学生が開発途上国で活動を行ってきました。2013年度以降、本学以外に、国内の国公私立大学(大阪大学、国際教養大学、上智大学、筑波大学、東洋大学、明治大学、明治学院大学、立教大学)が連携校として参加しています。

派遣学生は、UNVのコーディネートにより、約5ヵ月間、主に開発途上国の国連諸機関に派遣されます。派遣先国はアジア、アフリカ、欧州、大洋州、中南米の各国です。ウェブサイトやポスター作成などの広報活動やプロジェクト運営支援などを通じて、教育、保健衛生、環境、ジェンダー、貧困削減などの活動に携わります。



国際社会貢献活動

「国際社会貢献活動」は、開発途上国でボランティア活動を行う本学独自のプログラムであり、国際機関である赤十字国際委員会(ICRC)、海外の教育機関、NGOなど、さまざまな派遣先があります。

派遣先ごとに活動内容が異なり、その種類は多岐にわたります。派遣学生の募集は、「NGO・教育機関等」、「赤十字国際委員会(ICRC)」、「国際協力機構(JICA)青年海外協力隊(JOCV)短期」の3つのグループに分けて行われます。派遣先ごとに特徴があり、教育支援、環境保全、観光開発、平和構築などの幅広い分野で広報活動、フィールド調査、エコツアーエンターテイメント開発・実施、学校教育補助など、多彩な活動に携われます。参加する学生は約5ヵ月間、派遣先のスタッフや現地の人々と共に活動します。



国連ユースボランティアと国際社会貢献活動との違い

	国連ユースボランティア	国際社会貢献活動
参 加 校	関西学院大学 + 連携校(国内の8大学)	関西学院大学
派 遣 先	国連ボランティア計画(UNV)をはじめとする国連諸機関 ※UNVを通じて提供されるプログラムです。	国際機関、NGO、教育機関など ※本学が独自に開発したプログラムです。
活 動 内 容	広報活動(ウェブサイト・ポスター作成)、プロジェクト運営支援など	学校教育補佐、日本文化紹介、広報活動、フィールド調査、エコツアーエンターテイメント開発・実施など
派 遣 時 期	秋学期 ※春学期の派遣はありません	春学期・秋学期
選 考	・学内選考 ・UNVによる選考(書類、電話インタビューなど) ※本学の他に国内8大学の学生が選考対象です。	・学内選考 ・派遣先による選考(書類、エッセイ、電話インタビューなど)

国際ボランティア(国連ユースボランティア・国際社会貢献活動)の担当教員

關谷 武司(国際学部教授) 山田 好一(国際教育・協力センター教授) 鍋田 肇(国際教育・協力センター教授)
孫 良(人間福祉学部教授) 中村 明(国際教育・協力センター教授)

国際ボランティアウェブサイト

国際ボランティアについての最新情報は国際教育・協力センターのウェブサイトをご覧ください http://www.kwansei.ac.jp/c_ciec/c_ciec_005757.html

国際ボランティア報告会

2017年度春学期派遣者を中心に派遣報告会を実施します。現地での活動内容を派遣学生から直接説明いただけるので出願を検討している方は奮って参加ください。
日程:10月21日(土) 場所:西宮上ヶ原キャンパスC号館 ※詳細は決定次第上記ウェブサイトでお知らせします。

国連ユースボランティア 2018年度派遣 募集要項

募集・選考スケジュール

2018年度秋学期派遣	
募 集 説 明 会	2017年10月12日(木)・13日(金)
出 願 期 間	11月21日(火)～24日(金) 必要書類:①参加申込書②学習計画書③英語運用能力試験のスコア票の原本及びコピー
書類選考結果発表	12月1日(金)
面 接 選 考	12月9日(土)
面接選考結果発表	12月14日(木)

※「学習計画書」は必ず国際ボランティア担当教員と相談のうえ作成してください(教員による押印要)。



募集人数	参加資格
15名程度	1) 派遣時に20歳以上である学部2年生以上であること。大学院生は参加不可。 ※派遣される年の9月1日時点で20歳以上であること。応募は1年生から可。
募集選考	2) 日本国籍を有すること。 3) 学業成績が良好であること。
1) 学内選考:書類選考及び面接選考 2) 国連ボランティア計画(UNV)による選考:書類選考及び電話インタビューなど ※希望する派遣先(案件)は、学内選考結果に基づき、派遣候補者の能力と適性を総合的に判断したうえで確定します。 ※UNVによる選考は、本学だけでなく、国内8大学の学生も対象となります。	4) 派遣者選考時にTOEFL iBT® 500点(TOEFL iBT® 61点、もしくはIELTS5.0点、TOEIC® 630点)以上の英語力を有することが望ましい。 5) 開発途上国の厳しい生活環境や異文化環境においても心身の健康を維持し、困難な状況に対応できること。 6) 國際協力や開発に関する基礎的知識を持ち、各活動分野において実践的応用力を発揮できること。
主な業務内容・条件・特徴など	必要経費
国連ユースボランティアとして派遣される学生は、開発途上国の国連事務所、政府機関またはNGOなどに派遣されます。ウェブサイトやポスター作成などの広報活動やプロジェクト運営支援などを通じて、教育、保健衛生、環境、ジェンダー、貧困削減などの活動に携わります。 派遣期間は約5ヵ月間です。	1) 渡航期間中の本学への学費納入が必要です。 2) 派遣が確定した学生に対し、UNVから航空券、現地滞在費などの手当が支給されます。 3) 健康診断、予防接種、査証取得、海外旅行傷害保険など、プログラム参加準備に必要な費用及び事前研修参加時の交通費・宿泊費などの実費は自己負担になります。
科目・単位数	
学部生 「国連ユースボランティア実習」12単位 「国連ユースボランティア課題研究」4単位 (計16単位)	

派遣実績

年 度	派遣先国
2015年度	インド、ウガンダ、エチオピア、カンボジア、ガーナ、サモア、サンビア、スリランカ、タンザニア、東ティモール、フィジー、フィリピン、エザンビーク、モンゴル、ラオス、ルワンダ
2016年度	インドネシア、ウガンダ、エチオピア、カンボジア、サモア、サンビア、ジンバブエ、スリランカ、タイ、タンザニア、パルバドス、東ティモール、ミャンマー、モサンビーク、モンゴル、ラオス、ルワンダ
2017年度	インドネシア、エジプト、カンボジア、サモア、ジンバブエ、スリランカ、タイ、トリニダード・トバゴ、パルバドス、東ティモール、フィジー、フィリピン、ベトナム、マラウイ、ミャンマー、モサンビーク、ラオス

※下線の国が関学生の派遣先です。



出願から派遣までの流れ



国際社会貢献活動 2018年度秋学期派遣 募集要項

募集・選考スケジュール

2018年度秋学期派遣	
募集説明会	2017年10月12日(木)・13日(金)
出願期間	11月21日(火)～24日(金) 必要書類:①参加申込書②学習計画書 ③英語運用能力試験のスコア票の原本及びコピー
書類選考結果発表	12月1日(金)
面接選考	12月9日(土)
面接選考結果発表	12月14日(木)

※「学習計画書」は必ず国際ボランティア担当教員と相談のうえ作成してください(教員による押印要)。



①NGO・教育機関等への派遣

募集人数	参加資格
各学期15名程度	1) 学部2年生の秋学期以降の参加であること。 ※応募は1年生から可。大学院生はP.47記載の「大学院生出願資格」を確認すること。 2) 学業成績が良好であること。 3) 開発途上国の厳しい生活環境や異文化環境においても心身の健康を維持し、困難な状況に対応できること。 4) 國際協力や開発に関する基礎的知識を持ち、各活動分野において実践的応用力を發揮できること。
募集選考	1次(書類)及び2次(面接)による学内選考が実施されます。学内選考通過後、ICRCによる選考(英文履歴書・英文エッセイ審査、電話インタビューなど)を経て、正式に派遣が決定します。
主な業務内容・条件・特徴など	オーストラリア(キャンベラ)などのICRC事務所にて、人道援助に関わるリサーチや書類の作成、イベント運営などを行います。リサーチスキルと高い英語力(特にリーディング、ライティング)が求められます。派遣期間は各学期のうち約5ヶ月間です。
必要経費	1) 渡航期間中の本学への学費納入が必要です。 2) 派遣が決まった学生のうち、申請手続きを経て選ばれた者に対し、国際社会貢献活動奨学金30万円が支給されます。 ※国際学部の参加者には原則として上記の奨学金に代わり、国際学部留学奨励金が適用されます。 3) 各派遣者は、航空券、住居費、食費、交通費、査証取得関係費、海外旅行傷害保険費、予防接種費、健康診断などのボランティア派遣に必要な経費を個人負担します。
科目・単位数	学部生 「国際社会貢献実習」12単位 「国際社会貢献課題研究」4単位 (計16単位)

国際社会貢献活動 [NGO・教育機関等] 派遣先一覧(一例)

※派遣先は追加・削除されることがありますので必ず最新情報をP.44記載の国際教育・協力センターの国際ボランティアウェブサイトを確認してください。

国	派遣先機関／組織／事業	派遣先での主な業務内容・条件・特徴など
インドネシア	Satya Wacana Christian University (サティヤ・ワチャナ・キリスト教大学)	小学校や高校での日本語や日本文化の紹介
カンボジア	Joint Support Team for Angkor Preservation and Community Development (JST)	アンコールワット周辺のツアーアクティビティ・営業・広報活動 中学校等での日本語授業、遺跡保全活動
	カンボジア日本人材開発センター (CJCC)	ウェブサイト等での活動情報発信 ビジネス関連の研修やセミナーのサポート
ドイツ	ドイツ国際平和村	施設に入所している子どもたちの日常生活の世話 子どもたちやスタッフと会話できる程度のドイツ語能力要
ベトナム	ベトナム日本人材協力センター(VJCC)	文化交流促進、日本語教育の補助
マレーシア	Universiti Tunku Abdul Rahman (UTAR)	現地コミュニティにおける調査や日本語や日本文化の紹介 大学での教育プログラムの調整
	Malaysian Nature Society (MNS)	環境保全に関するツアーアクティビティの準備と実施 ウェブサイト等の更新
ラオス	ラオス日本センター(LJI)	ビジネス事業や交流事業の企画・立案・運営 広報事業に関するIT(SNS)に係る事業の補助
AOTSが実施する「国際化促進インバーンシップ事業」を利用した派遣	AOTSが提供する受入機関のうち、民間企業以外で学生を受け入れる組織(ウェブサイト参照) http://intern.hidajapan.or.jp/	受入先により異なる(営利組織は派遣対象外)

・派遣先での業務内容は現地情勢や受入体制などにより変更される場合があります。

・各派遣先へは同時期に1名以上の派遣になる場合があります。

・一般財団法人海外産業人材育成協会(AOTS)プログラムは渡航費・滞在費などがAOTSより補助されるため、国際社会貢献活動及び国際学部留学奨励金は支給されません。

②赤十字国際委員会(ICRC)派遣

赤十字国際委員会(ICRC)は、戦争や武力紛争の犠牲を強いられた人々に対して人道的保護と支援を行う、公平にして中立、かつ独立した国際機関です。世界中の主な紛争地域で活動を行うほか、平時においても世界中に国際人道法を広める活動を行っており、戦争や暴力を発端とする非人道的な行為を抑制、禁止し、一人でも多くの人間の尊厳が守られるよう活動しています。



募集人数	参加資格
各学期若干名	1) 学部2年生の秋学期以降の参加であること。 ※応募は1年生から可。大学院生は本ページ下「大学院生出願資格」を確認すること。 2) 学業成績が良好であること。 3) 派遣予定時にTOEFL iBT®500点(TOEFL iBT®61点、もしくはIELTS5.0点、TOEIC®630点)相当の英語力を有することが望ましい。 4) 開発途上国の厳しい生活環境や異文化環境においても心身の健康を維持し、困難な状況に対応できること。 5) 國際協力や開発に関する基礎的知識を持ち、各活動分野において実践的応用力を發揮できること。
募集選考	1次(書類)及び2次(面接)による学内選考が実施されます。学内選考通過後、ICRCによる選考(英文履歴書・英文エッセイ審査、電話インタビューなど)を経て、正式に派遣が決定します。
主な業務内容・条件・特徴など	オーストラリア(キャンベラ)などのICRC事務所にて、人道援助に関わるリサーチや書類の作成、イベント運営などを行います。リサーチスキルと高い英語力(特にリーディング、ライティング)が求められます。派遣期間は各学期のうち約5ヶ月間です。
科目・単位数	学部生 「国際社会貢献実習」12単位 「国際社会貢献課題研究」4単位 (計16単位)
必要経費	1) 渡航期間中の本学への学費納入が必要です。 2) 派遣が決まった学生のうち、申請手続きを経て選ばれた者に対し、国際社会貢献活動奨学金30万円が支給されます。 ※国際学部の参加者には原則として上記の奨学金に代わり、国際学部留学奨励金が適用されます。 3) 各派遣者は、航空券、現地滞在費(派遣地により異なる:オーストラリアの場合80万円程度)、査証取得関係費、海外旅行傷害保険費、予防接種費、健康診断などのボランティア派遣に必要な経費を個人負担します。

③国際協力機構(JICA)青年海外協力隊(JOCV)短期派遣

国際協力機構(JICA)は、日本の政府開発援助(ODA)を一元的に実施し、開発途上国が抱える課題解決を支援する機関です。青年海外協力隊事業(JOCV)は、JICAが実施する日本の代表的なボランティアプログラムです。JICAと関西学院大学が連携実施する開発途上国でのプロジェクトに青年海外協力隊員として派遣されます。

派遣国や対象競技はJICAと現在調整中のため、詳細は決定次第P.44記載の国際ボランティアウェブサイトに公開します。

募集人数	参加資格(参考:2017年度派遣時)
若干名(秋学期派遣のみ)	1) 各種球技、陸上などを含むスポーツ競技経験(5年以上)を有すること。スポーツ指導経験があると望ましい。
募集選考	2) 日本体育協会公認スポーツ指導者のいずれかの資格所持及び消防本部による「普通救命講習」を受講・修了していることが望ましい。
主な業務内容・条件・特徴など	3) 派遣時に学部2年生以上であり、JICAの青年海外協力隊募集期間終了時現在で20歳に達していること。大学院生は本ページ「大学院生出願資格」を確認すること。
現在調整中です。	4) 学業成績が良好であること。
科目・単位数(参考:2017年度派遣時)	5) 日本国籍を有していること。
学部生 「国際社会貢献実習」12単位 「国際社会貢献課題研究」4単位 (計16単位)	6) 5年以内に取得した英語能力証明書(TOEFL®/TOEIC®スコア、英検など)を提出できること。
必要経費	7) 開発途上国の厳しい生活環境や異文化環境においても心身の健康を維持し、困難な状況に対応できること。
1) 渡航期間中の本学への学費納入が必要です。 2) 渡航にかかる費用についてはJICAより補助があります。 ※国際社会貢献活動奨学金及び国際学部留学奨励金は支給対象外となります。	8) 國際協力や開発に関する基礎的知識を持ち、各活動分野において実践的応用力を發揮できること。

■国際社会貢献活動 大学院生出願資格(出願時学部生含む)

大学院生としての派遣希望者は下記の出願資格を有している者に限る。なお、出願予定者は国際教育・協力センターに出願期間開始前に必ず問い合わせること。

1. 派遣時までに本学大学院に1学期間以上在籍し、指導教員の許可を得ている者。
2. 現在本学学部生で2018年度に本学大学院へ内部進学を予定している者は、次の条件を満たしている場合に限り学部4年生時(早期卒業予定者は3年生時)に出願し、大学院入学後の秋学期より参加することを可能とする。
 - (1) 本学の学部生で、出願時点で本学大学院入学試験に合格し、入学手続きを完了している者。
 - (2) 指導予定教員及び進学予定大学院研究科委員長または研究科長から学長への推薦が得られること。
 - (3) その他条件、選考試験までの過程は学部生参加資格・選考過程に準ずる。なお、大学院進学後、正式に派遣候補者として決定する。

国際ボランティア 履修が強く望まれる科目

国際ボランティアへの参加を目指すには、国際協力や開発についての基本的な知識を身に付けたり、途上国の現場で学ぶための導入的プログラム「海外フィールドワーク」に参加するなど、計画的な履修や国内、海外での活動実績が必要です。さらに、各派遣先で必要とされる語学やICTスキルなども必要に応じて習得してください。

また、**派遣前に少なくとも以下の国際協力関連科目の履修を通じた知識の修得が強く望まれます。**事前申込が必要な科目も含まれますので、「履修心得」を参照のうえ、受付期間内に手続を行ってください。

科目・プログラム名		
世界市民論	教育開発論	プロジェクトマネジメントⅠ・Ⅱ
国際情報分析	国際平和構築論	海外フィールドワーク
グローバルゼミA・B	国際環境論	International Politics and Economy A・B
外国語研修（マラヤ大学）	国連セミナー	インドネシア交流セミナー

国際ボランティア よくある質問(FAQ)

Q1	英語力はどのくらい必要ですか？	A1	応募時に英語の成績は問いません（TOEFL®、TOEIC®などの英語能力を証明する書類の提出は必要です）が、派遣先での業務遂行が可能なレベルの英語力が求められます。派遣先によって求められる英語能力及びその他の外国语能力は異なりますので、CIECのウェブサイトに掲載されている各派遣先の業務指示書などで確認してください。なお、国連ユースボランティアと国際社会貢献活動（赤十字国際委員会（ICRC））については、TOEFL ITP®500点以上の英語力が求められます。
Q2	派遣国の言語は必要ですか？	A2	派遣国の言語が話せることは選考及び活動するうえで有利です。しかし、派遣国の言語ができなくても、英語能力を証明する書類があれば応募することは可能です。なお、ドイツ国際平和村での活動は、業務遂行に最低限必要な中級程度のドイツ語能力が必須です。
Q3	海外ボランティアの経験が全くないのですが、参加は可能ですか？	A3	本プログラムでは、長期間海外へ個人派遣されるため、派遣までに2週間以上の開発途上国渡航経験があることが望れます。途上国経験がない方は、「海外フィールドワーク（P.25参照）」を事前に履修しておくことをお勧めします。
Q4	派遣中に日本に一時帰国することはできますか？	A4	5ヵ月間の派遣期間中の一時帰国は認められません。派遣期間中は現地での活動に専念してください。
Q5	休学して国際ボランティアに参加することはできますか？	A5	本プログラムは授業科目であり、休学して参加することはできません。また、渡航期間中は学費納入が必要です。
Q6	大学院生は国際ボランティアプログラムに参加できますか？	A6	「国連ユースボランティア」は対象を学部生に限定しています。「国際社会貢献活動」に参加を希望する場合は、必ず事前に国際教育・協力センターにご相談ください。P.47下部記載の出願資格も確認してください。

⚠ 国際ボランティア参加にあたっての注意点(重要)

- 学部科目の履修（通年科目など）に影響が出る可能性がありますので、出願前に卒業までの履修計画を所属学部事務室などに必ず相談してください。
- 本プログラムは5ヵ月間海外で活動をする必要があることを十分理解し、就職活動への影響なども十分に考慮したうえで応募してください。原則として、応募してからの辞退は認められません。
- 次の場合は派遣が中止になる可能性があります。
 - 大学または派遣先機関が指定する健康診断の結果、活動に耐えうる健康状態ではないと判断された場合（受診費用は自己負担）
 - 派遣候補者の能力が十分ではないと判断された場合
 - 受入機関の要請と派遣候補者の適性が不適合であると判断された場合
 - 派遣先の治安悪化などにより派遣に危険が伴う可能性があると判断された場合
 - その他の事情で派遣が困難であると判断された場合
- 派遣候補者となった後は、査証取得などの渡航準備、オリエンテーションや派遣前の事前研修が予定されています（**参加必須**）。渡航前は渡航準備への専念が必要であることを承知のうえ、応募してください。原則、出発2ヵ月前の海外渡航は避けてください。
- プログラムを終了し、帰国した直後に体調を崩すこともあるため、帰國後2週間の海外渡航は避けてください。また、帰国後速やかに健康診断を受け、受診結果を報告することが必要となります。
- 選考時及び本プログラムで派遣される期間の直前・直後に他の留学プログラムへの参加を検討している場合は、出願前に必ず国際教育・協力センターへ相談してください。手続きや事前事後研修への影響や受入機関によっては手続上、派遣ができなくなる可能性があります。
- P.9「出願手続きの流れ」も必ず確認してください。出願時期に他の留学プログラム参加中で日本にいないことが想定される場合は、日本出発前に必ず国際教育・協力センターへ相談してください。
- 事前研修などの講義及び派遣手続きは日本語で実施されるため、日本語での意思疎通が十分にできることが必須です。

学生の声

国連ユースボランティア
西岡 沙絵 法学部4年（派遣時：4年生）
派遣国：パリバドス 派遣先機関名：UNDP 派遣時期：2016年度秋学期

● 参加しようと思ったきっかけ

中学1年生の時に「あなたが世界を変える日」という本を読み、12歳の少女が世界に向けて行った力強いスピーチの内容とその行動に感銘を受けました。国際協力の代表機関である国連で、開発途上国の現状を学び、国際社会で求められる能力を身に付けたいと考えました。またこのプログラムでは、学生が1人で派遣されるため、解決策を考え抜く力が鍛えられる点も魅力的でした。

● 入学後、現地派遣に至るまで頑張ったこと、準備したこと

主に必要とされていた経験と能力は、英語能力・ICTスキル・途上国経験の3点でした。派遣後には現地で広報物を作成するため、特にICTスキルは必要不可欠でした。写真加工やホームページ制作などの作業、WordやExcelなどのソフトの使い方を勉強しました。

● 現地滞在中印象的な出来事

パリバドスでは、東岸は荒波でできた断崖絶壁、西岸は穏やかな海と純白の砂浜、内陸は森林に平原と、小国ながらバラエティに富んだ風景を楽しむことができます。都会的な娛樂は限られているものの、大きな木に何



気なく吊るされているハンモックに揺られたり、野生の海亀や色鮮やかな魚が泳ぐ透き通った海に癒されたりと、豊かな自然を満喫する生活でした。他方、猛威を振るった熱帯低気圧「マシュー」の襲来や慢性的な水不足、停電を体験して、カリブ諸国が直面している課題を改めて認識することになりました。

● プログラムを通じて得た経験・スキル

自分の知識不足に幾度も直面しましたが、受け身とならず提案や議論を試みる中で、仕事をする上でコミュニケーションや信頼関係の重要性を学びました。できることを全力で行うこと、そして自信がなくとも挑戦したい声を上げることが次の仕事につながるステップとなりました。また多様性溢れる環境において周囲との関係を構築することにやりがいを感じました。

● 今後このプログラムを目指す後輩へのアドバイス・メッセージ

新たな環境で人間関係を築き、業務を進めていく過程には、数え切れないほどの不安や悩み、壁があります。そういった環境に自ら身を置き、奮闘して得た経験とスキルは、その先も必ず活き続けます。どうか全力で挑戦してみてください。応援しています。

国際社会貢献活動
谷 尚真 総合政策学部4年（派遣時：3年生）
派遣国：マレーシア 派遣先機関名：Malaysian Nature Society 派遣時期：2016年度秋学期

● 参加しようと思ったきっかけ

3点あります。1点目は、ゼミで途上国の開発を学んでいましたが、机上の学習だけでは現場をイメージすることに限界を感じたため、自分の目で現場を見たかったからです。2点目は、派遣前にマレーシアを訪れた時に、街の活気・人のパッションに魅力を感じるとともに、都市と地方の発展格差に疑問を抱き、地方の現状を深く知りたかったからです。3点目は、幼少期にドイツに在住していたことがあります。環境保全に关心があったからです。

● 入学後、現地派遣に至るまで頑張ったこと、準備したこと

主に3点に力を入れました。1.BBCとマレー語の参考書を使った英語力とマレー語の基礎の向上、2.大学の授業や本による環境問題・環境保全知識のインプット、3.同期派遣者と一緒にマレーシアの基本情報と前任者から派遣先の情報収集に努めました。

● 現地滞在中、印象的な出来事

「中進国の罠」を現実問題としてみたことです。順調に発展していると言われているマレーシアですが、私の周りの人は皆、口を揃えて「職がない」「お金がない」「経済が悪い」と言っていました。そして、そのような国民の



声を政府は政策に反映できていないことを知りました。環境だけでなく、経済格差、ガバナンス等未だ様々な課題を抱えている現状を目にしました。

● プログラムを通じて得た経験・スキル

ゼミの先生の言葉を借りれば、「同じ釜の飯を食った戦友」です。派遣期間中、マレーシア人のインターン生十数名と生活を共にしました。彼らがいたからこそ、5ヶ月間たくさんの思い出と経験、学びを得ることができました。楽しいことばかりではなく、言葉の壁を感じてお互いコミュニケーションが取れない辛い時期もありましたが、それを乗り越えて絆を深めることができました。

● 今後このプログラムを目指す後輩へのアドバイス・メッセージ

私はこのプログラムに参加できてよかったです。なぜなら、自分の殻を破ることができたからです。私はこのプログラムに参加すること自体が目標ではありませんでした。このプログラムを通して、私の将来の方向性を定めることができました。後輩の皆さんには、このプログラムに参加すること目標にするのではなく、このプログラムの参加を通して自分はどうありたいのか、何を学びたいのか、将来にどのように活かしたいのかを考えたうえで応募・参加することをお勧めします。

国際ボランティア担当教員によるサポート・勉強会

国際ボランティアがどのようなプログラムか知りたい方、参加したいが何から始めてよいか分からず、国際協力の世界を学んでみたい方を対象に、担当教員や先輩学生から直接、相談や指導を受けられる場所や機会を設けています。少しでもプログラムに興味をお持ちの方は必ずお越しください。



[西宮上ヶ原キャンパス G号館1階]
国際協力事業室



[西宮上ヶ原キャンパス G号館1階]
コース学習ルーム



[神戸三田キャンパス アカデミックコモンズ2階]
ミーティングルームほか
勉強会・相談会

※国際協力事業室・コース学習ルームに来室を希望される方は、まずadmin-iv@kwansei.ac.jpにメールで来室可能日時を確認してください。

※実施時間が限られていますので、スケジュールなどの最新情報はCIECのウェブサイトのニュースにてご確認ください。

担当教員からのメッセージ



山田 好一 国際教育・協力センター教授

国際支援などに関心のある学生が学部や学年に関係なく集結し、G号館1階「コース学習ルーム」及び「国際協力事業室」は、毎日活気に溢れています。また、2015年度からは神戸三田キャンパスでも「勉強会・相談会」を開始しました。学生の自主的な勉強や相談の場・語らいの場であり、教員が常駐していることから教員との学習相談や進路相談、学生同士のフランクな情報交換が頻繁に行われています。今まで聞いた事のないような、新鮮な情報がやり取りされ、学生にとって刺激的で自分を見つめ直し、学ぶべき方向性をつかむきっかけとなっています。

4-1 就職活動×留学

留学をする前に

貴重な留学期間を充実させるために、留学前から留学先での生活を具体的にイメージし、計画を立てましょう！

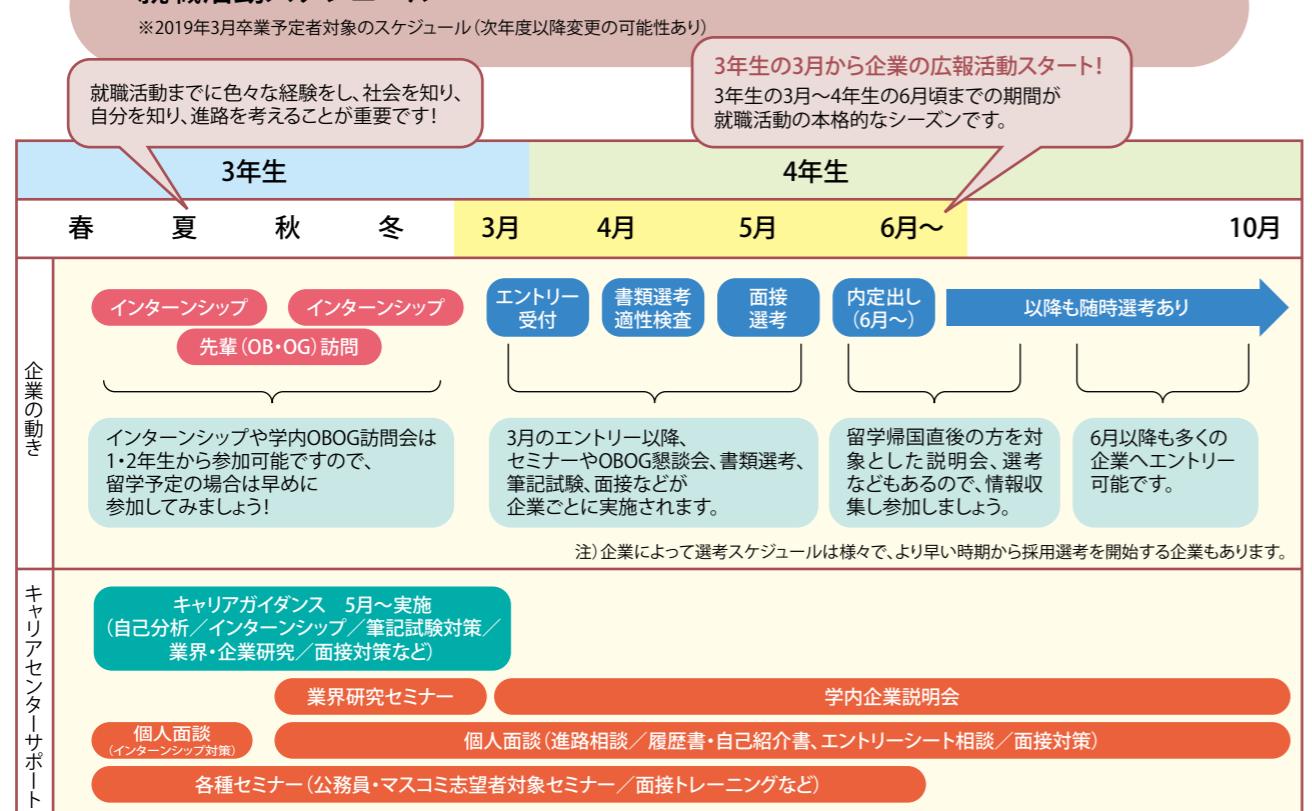
●留学の目標・目的をしっかりと考える。

- 日本経済団体連合会が企業に実施しているアンケートで、新卒採用選考で重視する点は、トップから順に「コミュニケーション能力」「主体性」「チャレンジ精神」「協調性」となっています。この上位4項目は過去10年間変わっていません。
→まさに留学はこれらの能力を鍛えるチャンスです。

●就職活動のスケジュールをチェック！

- 就職活動は3年生終盤の3月から本格的にスタートします。詳細は下の「就職活動スケジュール」を確認してください。
- 3年生の3月から4年生の6月にかけてが就職活動の本格的なシーズンです。これにより留学期間を変更したり、諦めたりする方もいるかもしれません。実際、この時期に日本にいないうことで、応募できない企業もありますが、最近は留学経験のある学生対象に秋採用を実施したり、年間を通して採用活動をしたりしている企業も増えてきています。就職活動に対する事前の情報収集は重要ですが、留学は学生時代だからこそできる経験です。就職活動を意識しそうすることなく、興味のあることには、積極的に挑戦してみてください。そういう経験を経て、将来どのように働いていきたいのか考え、あなたに合った就職活動をすることが重要です。

就職活動スケジュール



留学中

留学生生活を満喫し、しっかりと勉強して、勉強以外にも色々なことを経験してきてください！

●留学前に立てた目標や目的は忘れずに、目標や計画は必要に応じて変更し、色々なことに挑戦する

●現地での生活や感じたこと、考えていたことを記録しておく(日記など…)

- 新しい環境での生活ではその時に困難なこと、感じることや考えることがあります。それを書き留めておくことで、自分自身を振り返り、キャリアプランを立てる際に役立ちます。

●現地の学生や社会人、他国からの留学生と積極的に交流し、その国の文化や価値観、ビジネスについて理解を深める

- 留学先だけではなく、様々な国的学生や人々と交流し、異文化理解を深めるチャンスを活かしましょう！

●留学先で働く関学OBGや日本人の方に話を聞く、インターンシップに参加する

- 海外で活躍されている方に直接お話を聞けるチャンスです。日本での就職を考えている場合でも、社会人の方のお話を聞くことはいい経験になります。

●帰国直前もしくは帰国直後の語学力を形に残せるよう準備する(語学試験の申込など)

就職活動時期に重なって留学する場合

●インターネットを通じて、就職活動の情報を集める

- キャリアセンターでは教学Webサービス「キャリア」タブの「お知らせ」や「KGキャリアナビ」より、3年生・M1年生対象のキャリアガイダンスや企業セミナーなど(左記就職活動スケジュール参照)の動画を配信しています。
- 業界研究や企業研究は、インターネットでも可能です。また、本を購入し、持っていくのもひとつです。
- 海外からでもWeb上でのエントリーは可能な場合もあり、就活情報サイトを見ておくといいでしょう。

●筆記試験対策を行う(SPIなど)

- 教学Webサービス内の「SMART SPI」からWeb上で筆記試験対策を行うことができます。また、留学先に筆記試験対策の本を一冊持って行くこともおすすめです。

留学後

留学中に経験したことを振り返り、自分自身への理解を深めましょう。これからどのように大学生活を過ごしていくか、人生を送っていくか、目標や計画を考えてみましょう。

●留学前、留学中に考えていたこと、今考えていることを比較し、これからの行動計画を考えましょう

- 帰国後は様々な手続き等で忙しくなりますが、一度ゆっくり振り返る時間を作ってみましょう。自分への新たな発見があるはずです。

就職活動時期に重なって留学した場合／帰国後すぐ就職活動を始める場合

●キャリアセンターに来てください！

- 留学期間中に実施したキャリアガイダンス等の資料をお渡しするとともに、今後の就職活動を進め方について個別にお話します。

●留学経験者向けの説明会に参加する

- 大きなものとしては、Career Forum(ディスコ)、マイナビ国際派就職EXPOがあります。詳細はHP等で確認してください。

Career Forum

[2016年度実績]
◆東京(6月、12月に実施) ◆大阪(6月実施)
◆For Exchange Students[東京](7月実施)

[2017年度]
◆東京:12月16日(土)、17日(日)東京ビックサイト
[2018年度]
◆東京(6月、12月に実施予定) ◆大阪(6月に実施予定)

マイナビ国際派就職EXPO

[2016年度実績]
◆東京:6月17日(土)・18日(日) 東京ビックサイト
◆大阪:6月15日(木) 梅田スカイビル

[2017年度]
◆東京:12月22日(金)、23日(土) ベルサール汐留
[2018年度]
◆東京:6月16日(土)・17日(日) / 12月22日(土)・23日(日) 予定
◆大阪:6月予定

キャリアセンターからのメッセージ

「留学に行くと就職に有利」、こう考えている学生は多いかもしれません。就職活動の際には、多くの学生が留学経験をPRする傾向が高まっており、留学で得たこと・学んだこととして「語学力向上」「海外での生活経験」だけでは十分ではありません。2015年度には8万5千人程度の学生が日本から海外へ留学しています。しっかりと「留学で学びたいこと」や「身につけたい力」など、目的を持って留学しましょう。納得して進路を選択するためには、充実した大学生活を送ることが重要です。迷っている場合はぜひ挑戦を！

よくある質問(FAQ)

Q1 留学に行きたいので、卒業を1年(1学期)遅らせて卒業しようと思うのですが、就職に不利ですか？

A1 しっかりと目的・目標を持って大学生活を過ごし、充実した留学生活を送っていれば、むしろ就職活動には強みになります。学費の負担は多くなってしまいますが、長い目で考え、卒業を延期するのも選択肢のひとつです。また、春学期(9月)卒業の場合、ほとんどの企業がその年度の3月卒業生と同じ扱いをするとキャリアセンターでは認識しています。

Q2 留学後すぐに卒業し、既卒として就職活動することもできますか？

A2 新卒対象の採用活動は多くの企業が実施されていますが、既卒や第二新卒対象に採用活動を行う企業は残念ながらそこまで多くありません。もちろん、志望企業が採用活動をしている可能性もありますし、留学先での出会い等でチャンスを得ることもあります。みなさんそれぞれにとって、理想の進路、就職活動というのには異なります。事前の準備や情報収集をしっかりと行い、計画的に将来のプランを考えていく必要があります。

Q3 英語(外国語)を使う仕事、もしくは海外で働きたいです。どういった業界・企業がいいですか？

A3 現在、様々な企業が海外進出、海外との取引を行っています。将来の仕事を考える際に「英語(外国語)を使う、海外で働く」という視点だけではなく、さらに掘り下げてどういった仕事をしたいのかを考えて業界・企業を選んでみましょう。英語(外国語)=外資系と考える方もいますが、外資系やすでに海外進出をされている企業には外語のできる方、ネイティブの方が多く働いている可能性が高いです。その中で、その企業の専門的な知識を備えつつ、即戦力となるレベルの英語(外国語)力を身につけるのは、難しいのが実情です。英語(外国語)力+αの強みを活かし、大きい視点でライフプランを考えていきましょう。これから海外進出するような企業も面白いかもしれません。

4-2 教職×留学

教育職員免許状取得(教職)と海外留学を考えている皆さんは、1年生から計画的に履修計画を考えいく必要があります。留学に参加するためには、①学部での履修計画、②教職の制度やスケジュールの確認、③留学プログラムの理解が必要です。①～③を十分に理解した上で、留学に行くことができるのか、どの留学プログラムに参加するのか、また行くならいつ、どのくらいの期間で行くのか等、各自で大学生活の計画を立てていきましょう。

①学部での履修計画 まずは、所属学部のカリキュラムを理解し、大学生活の大まかな履修計画を立てましょう。

②教職の制度やスケジュールの確認 大学生活の計画をできるだけ早い段階で立てることが重要です。

■は、教職課程の特に重要なスケジュールです。

	1年	2年	3年	4年
4月		春学期に中期プログラム・ 交換留学に参加?		・介護等体験事前指導(前期) ★教育実習オリエンテーションI ★教育実習校への内諾依頼訪問 ★介護等体験説明会(後期)
5月		例えば ・英語中期留学 ・国際社会貢献活動 ・交換留学		・教育実習第2次登録 ・教育実習事前講義(4月～5月の土曜日)
6月				
7月				
8月	夏休みを利用して短期プログラムに参加? 例えば ・外国语研修 ・海外フィールドワーク ・短期海外インターンシップ	夏休みを利用して短期プログラムに参加? 例えば ・外国语研修 ・海外フィールドワーク ・国連セミナー ・短期海外インターンシップ		・実習校での実習(実習時期は実習校によるが、5月～7月、9月が多い。) ★教育実習オリエンテーションII ★教育実習第1次登録 ★介護等体験事前指導(後期)
9月				
10月		秋学期に中期プログラムor 交換留学に参加? ★介護等体験説明会(前期)		
11月				・教育実習事後講義
12月				
1月				
2月	春休みを利用して短期プログラムに参加? 例えば ・外国语研修 ・海外フィールドワーク ・国連ユースボランティア ・国際社会貢献活動 ・交換留学	春休みを利用して短期プログラムに参加? 例えば ・外国语研修 ・海外フィールドワーク ・Cross-Cultural College		
3月				
注意点	・1年生、2年生の間に履修可能な必要単位を修得。 ★印: 留学の場合は事前に所定の手続きを行うことで代理人への委任が可能	・3年生秋学期終了時までに、教育実習の先修条件を満たしておこ。 ・先修条件の中には3年生からしか履修できない「○○科教育法」があるので注意が必要。 ★印: 留学の場合は事前に所定の手続きを行うことで代理人への委任が可能	・4年生秋学期終了までに免許に必要な単位を修得。 ・4年間で教員免許取得を目指す場合は、4年生でのセメスター以上の留学は不可。 ・教育実習(実習校での実習)の時期の希望申込みは不可。 ・中学校免許を取得希望の学生は、介護等体験を行わなければならない(3～4年生)。	

*スケジュール等は、現時点でのもので今後変更される場合もあります。最新のスケジュールは、必ず各自で確認を行ってください。

③留学プログラムの理解 留学プログラムといつても短期のものから中長期のものまで、期間も目的もさまざまです。まずは募集説明会に参加し、それぞれのプログラムの内容を理解しましょう。

学生の声

松永真輝 文学部2年(参加時)

取得免許状: 中・高英語(一種)、中・高ドイツ語(一種)
参加プログラム: 交換留学(デュッセルドルフ大学)

1. 教職と留学を両立できたポイント

私はもともと、留学と教員免許の取得のどちらにもチャレンジしてみたいと考えていました。しかし入学後、その両立は大変難しいことであることを知りました。特に、文部科学省の独身学生にとってドイツ語以外の免許を取得するには、「教職に関する科目」だけでなく、自分の専門とは別の「教科に関する科目」も修得しなければならないため、一度は教職を諦めることも考えました。しかし、CIECや学部事務室、教職教育研究センターに相談し、それぞれの制度やスケジュールを理解し、目標や優先順位を考える中で、きちんと履修計画を立てれば、私の場合、①2年生秋学期であれば特別な手続きの必要なく留学が可能、②ドイツ語に加え、英語の教員免許取得が可能、であることが見えてきました。まずは、交換留学や中期留学、短期プログラムなどのいろいろな留学やシステム、また学部や教職のスケジュールとカリキュラムを知ることから始めてみてはどうでしょうか。

2. 4年間のスケジュール(例: 松永さんの場合)

学年	学期	教職と留学に関して実施したこと
1年	春学期	・教職課程履修説明会 ・留学制度や大学の情報収集(CIEC) ・教員や留学経験者に留学の相談
	秋学期	・交換留学第2期出願 ・交換留学先決定 ・留学先大学の情報収集 ・留学先大学担当者とのやりとりがはじまる
2年	春学期	・留学先大学担当者とのやりとり ・留学先大学の各種手続き
	秋学期	・交換留学(10月～2月: ドイツ/デュッセルドルフ大学)
3年	春学期	・教育実習オリエンテーションI ・教育実習校への内諾依頼訪問 ・介護等体験説明会(後期)
	秋学期	・教育実習オリエンテーションII ・教育実習第1次登録 ・介護等体験事前指導(後期) ・介護等体験(特別支援学校) ・介護等体験説明会・申込(次年度前期分)
4年	春学期	・介護等体験事前指導(前期)、介護等体験(社会福祉施設) ・教育実習オリエンテーションIII ・教育実習第2次登録 ・教育実習第3次登録 ・教育実習事前講義(土曜日) ・実習校との打ち合わせ(5月中旬)、教育実習(5月下旬から6月中旬) ・教員採用試験
	秋学期	・教職実践演習履修申込 ・教育実習事後講義 ・教員実践演習全体講義(土曜日) ・教員免許状一括申請申込

*上記の内容は松永さんのスケジュールです。免許状の課程等によって手続きの内容や時期は異なりますので、必ずご自身で教職教育研究センター(教育学部生は教育学部事務室)へ確認するようにしてください。

3. 教職と留学を実現したい皆さんへメッセージ

教育実習の際、生徒の中には英語が苦手でも外国に興味を持つ生徒は多く、特に外国で生活することには皆、興味津々でした。たとえ留学した国が英語圏でなくとも、留学を通じて得られた経験を伝えることで日本以外の国、さらには外国语に興味を持つもらうことにつながったと思います。このように、異文化を体験することは、実際のエピソードなどで指導に深みを持たせることもできるため、非常に貴重な経験でした。もし留学を考えているなら、ぜひ早めに行動してください。学年が上がるにつれてどんどん留学に行けるチャンスが少なくなっています。そして、いろいろなことに興味を持ち、大変なことがあっても粘り強く向き合ってください。困ったことや分からないことがあります、CIECや学部事務室、教職教育研究センター、あるいは周りの経験者に相談してみてください。きっと新たな道が開けるはずです。皆さんの実りある学生生活をお祈りします。

4-3 学内施設の活用

学内の国際交流や留学前後の英語の学習に関して、皆さんにぜひ活用していただきたい学内施設をご紹介します!

日本文化を英語で紹介するための資料を探すには?

大学図書館を利用しましょう

・西宮上ヶ原キャンパス大学図書館3階Books on Japanコーナー

日本経済、日本の歴史、古典芸能、さらに、アニメ・ファッショントイといったサブカルチャーなど、日本特有の文化や習慣について英語で書かれた本が集められています。このコーナーは留学生に日本文化を英語で知つてもらうことを目的としています。留学に行くみなさんも、留学先で日本を紹介するための資料としては是非活用してください。



留学先で日本のこと自信を持って紹介できるね。



留学生と交流したい、または留学情報を収集をするには?

フジタ・グローバルラウンジを利用しましょう

・西宮上ヶ原キャンパスG号館2階

フジタ・グローバルラウンジでは、日本人学生と留学生が自由に集い、交流を深めることができる場を提供しています。ラウンジ内にあるGSカウンターでは、LANGUAGE EXCHANGEをはじめ、日本人学生と留学生が交流できるイベントを定期的に開催しています。また、世界各国のテレビニュースや、協定大学の資料も見ることができるので、情報収集の場としても活用してください。



留学生と交流したいならここ!
学内でできる国際交流は、P.64を参考してね。



語学力を向上させるには?

言語教育研究センター視聴覚室・図書メディア館(KSC)を利用しましょう

・西宮上ヶ原キャンパスG号館1階言語教育研究センター視聴覚室
・神戸三田キャンパス図書メディア館

CD、カセットテープ、DVD、BD、ビデオ等の外国语視聴覚資料や、TOEFL®、TOEIC®等試験対策テキストの利用や貸出をおこなっています。外国语の学習効果をより一層高めたい人はもちろん、何から勉強したらいいのかわからない人は、一度のぞいてみてください。資料を有効に利用することにより、外国语との新しい出会いがあるかもしれません。なお、資料はインターネットでも検索可能です。(http://opac.kwansei.ac.jp)



外国语能力試験対策用の書籍や、多様な外国语映画のDVDが豊富に揃っています! 語学力を向上させて、留学に必要なスコアを目指そう。



4-4 外国語能力試験

① 英語

留学する場合、留学先が求める外国語能力の基準を満たす必要があります。外国語能力試験は、申込みからスコアの到着まで時間がかかります。締切日にスコアを取得できない学生が見受けられますので、留学を考えている場合は早めに受験し、常に有効期限を満たすスコアを保持できるように準備をしてください。

英語圏の大学では、TOEFL iBT®、TOEFL ITP®やIELTS (Academic Module) のスコアの提出が一般的です。TOEIC®や英検は、日本国内での就職活動等では広く用いられていますが、留学の際の外国語能力試験として認められていないケースが多いため注意してください。

	TOEFL iBT®	TOEFL ITP®	IELTS (Academic Module)	TOEIC®
概要	米国をはじめ世界各国の大学等で英語能力の証明として利用されており、130を超える国々の大学・機関・団体等でTOEFL®スコアが受け付けられています。		英語によるコミュニケーション能力を幅広く評価する世界共通のテストです。世界約120ヵ国で実施され、世界各国の企業・学校・団体で様々な用途で活用されています。Academic Module (大学や他の高等教育機関への出題のためのテスト)とGeneral Training Module(一般的な生活・仕事や移住関係に関わる英語のテスト)の2種類があります。	
	TOEFL iBT® (internet-Based Test)は、インターネットを通して行われる英語力のテストで、英語圏の大学に留学する場合にそのスコアが必要になります。	団体受験用の非公式のTOEFL®(筆記テスト)で、過去のペーパー版TOEFL®テスト (TOEFL PBT®)で出題されたものを再利用しています。スコアは正式ではありません。		
スコア	0~120点	0~677点	1.0~9.0点	10~990点
試験	年間30~40回実施	関学内で年間8回実施	関西圏では、大阪・京都・神戸で月1~2回実施	近畿2府4県で毎月実施
受験料	US\$235 (開催地や国によって異なる)	4,200円	25,380円	5,725円
Webサイト	http://www.ets.org/jp/toefl	http://www.eiken.or.jp/ielts/	http://www.toeic.or.jp/	

◆ 学内で実施されるTOEFL ITP®テスト及び TOEIC® L&R IPテスト日程

TOEFL ITP®テスト

実施日	場所	主 催	対象	受験料	申込み期間	受験手續方法	結果到達予定
10/28(土)	西宮上ヶ原キャンパス	関西学院 大学生協	全学部・研究科 在学生	4,200円	9/1(金)~10/20(金)	各キャンパス生協カウンターに受験料と共に申込書を提出	11/16(木)
11/11(土)					10/2(月)~11/3(金)		11/29(水)
12/16(土)					11/1(水)~12/8(金)		1/11(木)
3/20(火)					1/9(火)~3/12(月)		4/6(金)

TOEIC® L&R IPテスト

実施日	場所	主 催	対象	受験料	申込み期間	受験手續方法	結果到達予定
12/16(土)	西宮上ヶ原キャンパス	エクステンション プログラム (教務機構 事務部)	全学部・研究科 在学生 (同時に回観する ことはできません)	4,300円	7/3(月)~12/8(金)	証明書発行機で申込書 を購入し、必要事項を記 入して教務機構事務部 カウンターに提出	12月下旬
12/17(日)	大阪梅田キャンパス						

※日程等が変更される場合がありますので、必ず主催者発行の印刷物や掲示、ウェブサイト等で確認するようにしてください。

② フランス語

	DELF・DALF フランス国民教育省・フランス語資格試験	実用フランス語技能検定試験(仮検)
概要	1985年5月から行われているフランス国民教育省認定フランス語資格試験で、Commission nationale du DELF et du DALFの管理のもと世界160余ヶ国で実施されています。DELF (A1-A2-B1-B2)、DALF (C1-C2) の6つのレベルの試験があります。試験には、筆記試験(聽解・読解・文書作成)と口頭表現試験があり、4つの能力が評価されます。合格するとディプロム(証書)が発行されます。DALF C1またはC2を取得すると、フランスの大学の学部に入学する際に義務付けられているフランス語能力評価試験が免除されます。	日本人学習者を対象として、文部科学省および在日フランス大使館文化部の後援を受けて実施されるフランス語の技能検定試験。学校で学ぶフランス語の学習成果の判定にもふさわしい客観性を備えた試験として、単位取得や編入学試験の資格認定の条件となるケースが年々増えています。5級・4級・3級・準2級・2級・準1級・1級とレベル別で試験を受けることができ、各レベルで単願/併願ができます。試験内容は、読む・書く・聞く・話す・文法知識で1次試験と2次試験(準2級から)があります。
試験	関西圏では、大阪・京都で春季と秋季に実施	関西圏では、大阪・京都・奈良で春季と秋季に実施
受験料	11,000円~17,000円 (受験するレベルによって異なる)	3,500円~17,000円 (受験するレベル、単願/併願によって異なる)
Webサイト	アンスティチュ・フランス語教育振興協会 http://defdalf.jp/	公益財団法人フランス語教育振興協会 http://apefdapf.org/

4-5 TOEFL®、IELTS対策 (無料講座)

① TOEFL®ポイント解説セミナー及び模擬試験

TOEFL iBT® (TOEFL® internet-Based Test)は米国をはじめ世界各国の大学等で英語能力の証明として利用されており、130を超える国々の大學生・機関・団体等でTOEFL®スコアが採用されています。

多くの留学先大学の出願時にその掲示されたスコアが求められます。

「読む」「聞く」「話す」「書く」の4セクションで構成されており、英語をどれだけ「知っている」かではなく、「使える」かに焦点を当てた、より実生活に即したコミュニケーション能力を測定するテストです。また、全ての試験がコンピューター上で行われ、全体で約4-4.5時間要します。

Reading	Listening	Speaking	Writing	Total
3~4パッセージ 各12-14問 60~80分	2-3会話 各5問 4-6講義 各6問 60~80分	Independent Tasks 2問 Integrated Tasks 4問 約20分	Independent Tasks 1問 20分 Integrated Tasks 1問 30分	4~4.5時間
スコア 0-30点	0-30点	0-30点	0-30点	0-120点

TOEFL iBT®は受験料がUSD230と高額であり、練習で何度も受験することが難しいため、本番に近い環境で実施する過去問題を利用した無料の模擬試験を受けられる機会を作りました。模擬試験を受験し本番前にスコアをチェックして、目標設定をしていきましょう(試験結果は正式なスコアとしては使用不可)。ポイント解説セミナーと模擬試験がセットになっており、事前学習することで、よりスコアアップを狙える講座となっています。申込・問い合わせは、国際教育・協力センターで受け付けています。

● TOEFL®ポイント解説セミナー及び模擬試験実施スケジュール

募集期間	10月	3月
募集期間	10月5日(木)~11日(水)	1月25日(木)~31日(水)
当選者発表(掲示・教学ウェブ)	10月13日(金)	2月1日(木)
ポイント解説セミナー	10月21日(土)9:15~12:15	3月13日(火)9:15~12:15
模擬試験	10月28日(土)9:00~14:00	なし

● TOEFL iBT®テストスキルアップセミナー

募集方法・期間	ポスター・メールマガジンにてお知らせ
セミナー日時	3月10日(土)9:30~12:30

② IELTS学内試験(Academic Module)

International English Language Testing System (IELTS: アイエルツ)は、海外留学や研修のために英語力を証明する必要のある方およびイギリス、オーストラリア、カナダなどへの海外移住申請に使用されているテストです。イギリス、オーストラリア、カナダ、ニュージーランドのほぼ全ての高等教育機関で認められており、アメリカでもTOEFL®に代わる試験として入学審査の際に採用する教育機関が3,000を超える世界中で受験者が増え続けています。試験は、Academic ModuleとGeneral Training Moduleの2種類があり、いずれも、Listening・Reading・Speaking・Writingの4つのセクションで構成されています。テスト結果は、1.0から9.0のバンドスコアで示されます。留学プログラムに参加する場合、Academic Moduleの受験が必要です。

10月に学内で受験できる本試験を実施します。

申込・問い合わせは、公益財団法人日本英語検定協会で受け付けています。

● 10月IELTS本試験

募集期間	7月中旬~10月上旬 (教学Webやメールマガジンなどでご確認ください)
本試験	10月28日(土)学内

③ IELTS対策講座

英語テストの対策講座はグローバル人材育成推進事業の一環としてCIECが開催しています。講座受講料は無料で提供していますが、留学を推進する為に皆さんの受講料については国際教育・協力センターが負担しています。限られた時間での短期集中講座となります。以下のような実績があります。

- ・満足度が高い
- ・多くの学生が目指すIELTSの点数を達成した
- ・希望していた留学プログラムに参加することができた

基礎クラスでは、文法の説明等が詳しく含まれる内容となるのに対し、アドバンスクラスはそれが最小限となり、表現力を高めるトレーニング等の比重が高くなります。

独自にIELTS対策を研究した講師による授業を受けることができる、またない機会です。

是非この講座を活かして、留学へのステップとしていきましょう。

● 2月 IELTS春季集中講座基礎クラス(目標スコア6.0まで)

募集期間	1月9日(火)~15日(月)
当選者発表(掲示・教学ウェブ)	1月18日(木)
対策講座	2月13日(火)14日(水)15日(木)9:30~12:30
本試験*	2月中旬~3月上旬

*本試験の受験申込(申込締切は通常本試験の19日前)は、別途各自で日程を確認して行ってください(有料)。

● 3月 IELTS春季集中講座アドバンス(目標スコア6.5以上)

募集期間	1月18日(木)~24日(水)
当選者発表(掲示・教学ウェブ)	1月26日(金)
対策講座	3月14日(水)15日(木)16日(金)9:30~12:30
本試験*	3月中旬~下旬

*本試験の受験申込(申込締切は通常本試験の19日前)は、別途各自で日程を確認して行ってください(有料)。

募集期間中に国際教育・協力センター(CIEC)の
ウェブサイトから、オンラインで申込をしてください。



5-1 学部・研究科等で実施する留学プログラム

各学部・研究科等でもさまざまな留学プログラムが提供されています。海外への派遣プログラムだけではなく、日本にいながら海外の学生と共に学ぶ融合（フュージョン）プログラムも実施されます。実施内容、応募資格、奨学金の有無や内容等はプログラムによって異なります。原則として所属学部生のみを対象としていますが、プログラムによっては他学部生が参加できるプログラムもあります。

興味のある方はプログラム提供学部へお問い合わせください。



CIECプログラムが全学部を対象としたプログラムなのに対して、学部・研究科等で実施するプログラムは、所属学部生のみを対象としているのが特徴です。学部独自の専門分野に沿ったプログラムになっているので皆さんの学部の情報をチェックしてみよう！

学部提供 海外派遣プログラム ~海外で学ぶ~

学部	プログラム名	実施国・地域	協定大学名又は実施機関名	開催時期・期間	募集定員	募集説明会	プログラム概要
文学部	ドイツ語中期留学	ドイツ	レーベンスブルク大学	3月上旬～7月下旬	10名	日時：9月14日（木）13:30～14:00 (14:00以降は2017年度参加者の報告会を実施) 場所：F号館104号教室	1学期間のドイツ語集中学習
法学部	中国人民大学法学院交換留学プログラム	中国	中国人民大学法学院	2月中旬～8月 8月中旬～2月	4名	未定 (決定後A号館掲示にてお知らせ)	半年～1年間の交換留学プログラム
経済学部	海外学習活動 ベトナムインターンシップ	ベトナム	ホーチミン／ハノイ	2～3月（約1ヶ月）	20名	日時：10月5日（木）、11:10～11:40、 12:45～13:15、13:30～14:00 場所：経済学部棟2階会議室 ※すべて同一内容	「ビジネスの現場」で必要なスキルや知識を、実践から学ぶ インターンシッププログラム
商学部	ビジネスに活かせる海外短期研修プログラム	イタリア	パルマ大学	2月26日～3月5日 (約1週間)	10名	日時：9月27日（水）12:45～13:25 場所：D号館103教室 日時：10月3日（火）12:45～13:25 場所：D号館202教室 ※両日とも同一内容	パルマ大学訪問 イタリア会計史に関する講義、ワークショップ 現地企業訪問
理工学部	ビジネスに活かせる海外短期研修プログラム	アメリカ	サンディエゴ州立大学	2月25日～3月25日 (約4週間)	10名	日時：11月8日（水）12:45～13:25 11月10日（金）12:45～13:25 場所：商-4教室 ※両日とも同一内容	レベル別英語研修 プログラム
総合政策学部	海外理工学プログラムB～Marine Biology & Coral Study	インドネシア	ウダヤナ大学	3月4日～12日 (約1週間)	12名	未定 (決定後掲示にてお知らせ)	バリ島の大学で、磯生物の観察やウニの発生について実験を通して学ぶ
人間福祉学部	社会起業英語中期留学	カナダ	クイーンズ大学	5月～8月（約12週間）	15名程度	日時：9月27日（水）12:50～13:20 場所：I号館105教室 日時：11月7日（火）12:45～13:25 11月9日（木）12:45～13:25 場所：G号館326教室 ※両日とも同一内容	英語研修+地域コミュニティでのテーマ別フィールドワーク 12週間集中的にアカデミックな英語を学ぶプログラム

学部	プログラム名	実施国・地域	協定大学名又は実施機関名	開催時期・期間	募集定員	募集説明会	プログラム概要
人間福祉学部	社会起業フィールドワーク	タイ	アサンプション大学、現地のNPO・NGO団体	2月中旬～2月下旬 (約2週間)	15名程度	日時：9月26日（火）12:40～13:30 場所：G号館321教室	途上国の社会問題や開発の多様な側面を理解すると同時に、海外におけるフィールドワークの技法と実践を学ぶ
教育学部	人間福祉グローバル演習	コロンビア	アンティオキア大学	2月中旬 (約1週間)	10名	実施済	非営利団体や大学教員らの地域での活動を視察し、問題解決に携わる人々との交流を行う
国際学部	US“アシstantティー”チャーボランティア	アメリカ	ロサンゼルス郊外の公立小学校、カリフォルニア州立大学ロングビーチ校	2月中旬～3月上旬 (約2週間)	約20～30名	日時：10月27日（金）12:50～13:20 場所：7号館721教室	米国の初等教育について大学で受講、米国公立小学校でのボランティア活動を通じて、多様な教育のあり方を理解する
	英語中期留学HWI	アメリカ	ハワイ大学マノア校	8月～12月（約4ヶ月） 又は8月～3月（約7ヶ月）	20～30名	2018年1月中旬実施予定 (決定後掲示にてお知らせ)	4ヶ月または7ヶ月の英語集中学習
	英語中期留学プラス			8月～5月（約9ヶ月）	若干名	2018年1月中旬実施予定 (決定後掲示にてお知らせ)	ハワイ大学英語中期留学＋学部授業履修プログラム
	中国語中期留学（北京）	中国	北京第二外国语学院	2月～7月（約5ヶ月）	15名	2018年1月中旬実施予定 (決定後掲示にてお知らせ)	北京で学ぶ5ヶ月の中国語集中学習
	中国語中期留学（台湾）	台湾	国立台湾師範大学 国語教学センター	9月～2月（約6ヶ月）	15名	2018年1月中旬実施予定 (決定後掲示にてお知らせ)	台湾で学ぶ6ヶ月の中国語集中学習
	中国語中期留学（台湾）プラス			9月～6月（約10ヶ月）	若干名	2018年1月中旬実施予定 (決定後掲示にてお知らせ)	台湾師範大学での中期留学＋学部授業履修プログラム
	朝鮮語中期留学	韓国	延世大学韓国語学堂	8月～2月（約6ヶ月）	15名	2018年1月中旬実施予定 (決定後掲示にてお知らせ)	韓国・ソウルで学ぶ6ヶ月の朝鮮語集中学習
	EUフィールド・スタディー	ヨーロッパ4ヶ国	ドイツ、オランダ、ベルギー、フランス	未定	未定	未定 (決定後掲示にてお知らせ)	欧州連合の機関、現地企業の訪問等
	Introduction to Business in Asia: Innovation, Leadership, and Strategy	台湾	国立台湾大学管理学院	3月（約3週間）	未定	未定 (決定後掲示にてお知らせ)	経営経済の講義「The NTU Integrated Course in Innovation, Entrepreneurship & Sustainability」を受講
	ドイツ語海外研修（未定）	ドイツ	未定	8月～9月上旬（予定）	未定	12月上旬（予定）	ドイツ語集中学習およびドイツ語集中学習+フィールドワーク
	フランス語海外研修（予定）	フランス	フランシュ・コンテ大学	8月（約4週間）	25名	日時：11月9日（木）12:50～13:20 11月15日（水）12:50～13:20 場所：G号館221教室 ※両日とも同一内容	フランス語集中学習

学部提供 融合（フュージョン）プログラム ~日本にいながら、海外の学生と共に学ぶ~

学部	プログラム名	実施場所	実施・協力機関名	開催時期・期間	募集定員	説明会	概要
神学部	Theology in Dialogue	大阪梅田キャンパス 及び京都市内	日本キリスト教協議会（NCC）宗教研究所	秋学期 (10月～12月初旬)	5名程度	実施予定なし ※シラバスを参照し、履修登録を行ってください。	ドイツ・スイスの学生と共にフィールドワーク等を通じて『宗教対話』について学ぶ
文学部	東アジア文化交流セミナー	西宮上ヶ原キャンパス	蘇州大学	3月上旬	10名	実施済	「日中文化交流史」という枠組みの中で、学生同士の交流・学習

ダブルディグリー留学 ~関学に在籍しながら、海外の大学に留学し、大学間の相互単位認定により、二つの大学の学位取得ができる制度～

学部研究科	プログラム名	大学所在地	大学の特色	留学期間	募集定員	説明会	学費について
言語コミュニケーション文化研究科	スターリング大学 ダブルディグリー留学 University of Stirling	イギリス スターリング市	世界の大学ランキングでトップクラスに入る英國スコットランドの総合大学	1年次の9月から 約1年	若干名	2017年10月上旬開催予定	留学先学費の支払いが必要となるが、留学期間中、関学の学費は年額5万円に減額される

※社会学部、経済学部、商学部、国際学部でもダブルディグリー留学を提供していますが、説明会は春学期に実施済です。

※こちらに掲載しているプログラムは2017年度秋学期に募集するプログラムのみです。

※上記内容は2017年8月現在の予定ですので、今後変更になる可能性があります。

5-2 奨学金

学内の留学奨学金制度は以下のとおりです。その他学外の留学奨学金制度については、国際教育・協力センター(CIEC)のウェブサイトを参照してください。

全学部対象

全学部生を対象としている奨学金は下表のとおりです。内容は今後、変更になる場合があります。

●選考型

各プログラムへの参加が決定した後、希望者は以下の奨学金に申請することができます。詳細については、派遣留学推薦が決定した後、オリエンテーションや掲示等で案内します。

プログラム名	奨学金(選考型)	取扱窓口
交換留学	◆佐伯海外留学支援奨学金(2セメスター:100万円、1セメスター:50万円)	国際教育・協力センター
	◆交換留学奨学金(2セメスター:30万円、1セメスター:15万円)	
	◆日本学生支援機構海外留学支援制度(協定派遣)奨学金(月額6~10万円(派遣国・地域による)、上限12ヶ月)	
	◆その他、一部協定大学からの補助・奨学金	
認定留学	◆認定留学助成金(留学する大学に納入する学費の一部又は全額とし、関学に納入する授業料の半額を限度とする)	
ダブルディグリー留学	◆ダブルディグリー留学奨学金(月額10万円、ただし留学先大学と本学の学費が相殺される場合は一人月額3万円とする(大学院は月額7万円))	

※その他、日本学生支援機構(JASSO)第二種奨学金など貸与奨学金にも申請が可能です。詳細は学生活動支援機構(神戸三田キャンパスの学生は所属学部事務室)までお問合せください。

●参加者全員支給型

以下のプログラムに参加が決定し、所定の手続を行えば奨学金が支給されます。詳細については、プログラム提供部署に確認してください。

プログラム名	奨学金(全員支給型)	取扱窓口
海外の協定大学へ派遣される 短期プログラム (外国語研修、CCC、海外フィールドワーク、 インドネシア交流セミナー(インドネシア開催 時のみ)、学部主催プログラム)	◆短期留学奨学金 派遣先により異なる(アジア3万円、アジア以外5万円)	国際教育・協力センター/プログラム提供部署
中期留学(英語・フランス語) 中期海外インターンシップ	◆中期留学奨学金(20万円)	国際教育・協力センター
国連ユースボランティア	◆費用(渡航費、滞在費、保険等)は国連ボランティア計画(UNV)の規定により支給される	
国際社会貢献活動	◆国際社会貢献活動奨学金(30万円) 2018年度派遣は旅費(往復航空運賃)一部補助あり	

社会学部生対象

社会学部生のみを対象とした返還義務のない支給型の奨学金です。ただし、支給にあたっては一定の条件があります。

プログラム名	奨学金(金額)	取扱窓口
交換留学	社会学部杉山貞夫交換留学奨学金(2セメスター:40万円、1セメスター:20万円)	社会学部事務室

人間福祉学部社会起業学科生対象

人間福祉学部社会起業学科生のみを対象とした返還義務のない支給型の奨学金です。ただし、支給にあたっては一定の条件があります。

プログラム名	奨学金(金額)	取扱窓口
社会起業英語中期留学	人間福祉学部海外語学研修奨学金(20万円)	人間福祉学部事務室

国際学部生対象

国際学部生のみを対象とした返還義務のない支給型の奨学金です。在学中に1回のみ受給可能です。国際教育・協力センターが募集する奨学金と国際学部留学奨励金・奨学金は1回の留学において重複受給できません(ただし、認定留学助成金や一部の学外奨学金との重複受給は可能です)。

プログラム名	国際学部留学奨励金(全員支給型)	留学奨学金(選考型)	取扱窓口
外国語研修	15万円		国際学部事務室
中期留学(英語・フランス語) 中期海外インターンシップ			
国際学部生対象中期留学(英語・中国語・朝鮮語) 国際ボランティア	40万円		
国際学部生対象中期プラス	60万円		
交換留学または認定留学(2セメスター)	60万円	40万円	
交換留学または認定留学(1セメスター)	30万円	20万円	

海外大学院進学者対象

以下のいずれかのプログラムを修了し、本学学部または本学大学院から引き続き海外の大学院へ入学する方が対象となります。※2016年度入学生までが対象となります。

対象プログラム名	奨学金(金額)	取扱窓口
①実践型“世界市民”育成プログラム(グローバルリーダー/エキスパートコース)	関西学院大学グローバルリーダー育成 「海外大学院派遣奨学金」 (最大年額200万円)	国際教育・協力センター
②Cross-Cultural College(Certificate Program)/複数分野専攻制(MS)特別プログラム		

※奨学金情報については、2017年8月現在の情報のため、今後変更になる場合があります。

※日本学生支援機構(JASSO)貸与奨学金受給者で3ヶ月以上留学をする場合は、学生活動支援機構で所定の手続きをする必要があります。

5-3 トビタテ!留学JAPAN 日本代表プログラム

トビタテ!留学JAPANとは?

このプログラムは、意欲と能力ある全ての日本の若者が、海外留学に自ら一步を踏み出す気運を醸成することを目的として設置された文部科学省と民間企業との官民協働の留学促進プロジェクトです。民間企業からの寄付により、以下の5つのコースを対象として、あなたが計画した留学に奨学金が提供されます。在籍している分野ではなく、留学計画の分野に応じて応募してください。なお、いずれのコースも海外大学等での学習だけでなく、インターンシップやボランティア等の実践活動を伴う留学計画である必要があります。



理系・複合・融合系人材コース(募集:220名)

新興国コース(募集:80名)

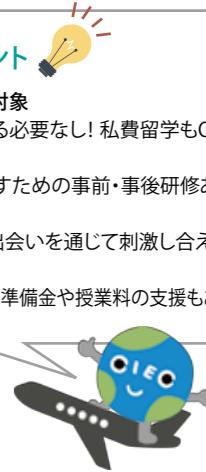
世界トップレベル大学等コース(募集:100名)

多様性人材コース(募集:100名)

※地域人材コースに関してはトビタテ!留学JAPANの公式ウェブサイトを参照ください。

トビタテ奨学金のポイント

- ①“幅広い留学”(海外体験)を対象
留学先が必ずしも大学である必要なし! 私費留学もOK!
- ②事前・事後研修の提供
留学の効果を最大限引き出すための事前・事後研修あり!
- ③派遣留学生コミュニティ
様々な留学をする学生との出会いを通じて刺激し合える!
- ④充実した奨学金等
月額の奨学金だけでなく、留学準備金や授業料の支援もあり!



支援内容

- ① 奨学金: 月額6万円、12万円、16万円のいずれかを支給 ※留学地域、世帯収入によって決定する
- ② 留学準備金: 留学地域別に次のいずれかを定額支給 ・アジア地域: 15万円 ・アジア以外の地域: 25万円
- ③ 授業料: 支援対象となる留学期間別に次のいずれかを定額支給 ・支援期間が1年未満: 30万円 ・支援期間が1年以上: 60万円
- ※大学・大学院を留学先機関とし、留学計画に沿った専門分野を学ぶことを目的とした授業の授業料が支援対象となる(語学のみのコース授業料は支援対象外)
- ※交換留学制度等、留学先機関において授業料不徴収、全額免除となっている場合は授業料支援対象外。
- ※第8期募集時情報のため第9期以降については変更の可能性あり。

学内選考

第8期学内募集(予定)

- 出願期間: 9月21日(木)~25日(月) 16:50
- 対象留学期間: 2018年4月1日(日)~10月31日(水)
- 開始する留学計画

※学内選考後、トビタテ!留学JAPAN事務局による書類選考、二次選考(面接審査/東京)があります。
※詳細は下記から確認してください。
http://www.kwansei.ac.jp/c_ciec/c_ciec_011283.html



本学の合格実績

コース	第1期	第2期	第3期	第4期	第5期	第6期	第7期	合計
理系・複合・融合系人材コース	0	0	0	0	0	0	0	0
新興国コース	0	0	0	0	0	0	2	2
世界トップレベル大学等コース	0	3	2	1	5	4	1	16
多様性人材コース	3	3	2	2	9	7	4	30
地域人材コース	0	0	0	0	0	0	0	0
採択数 計	0	4	5	2	7	5	10	33
応募数 計	10	10	8	8	16	14	23	89

第5期採択者の声

野崎涼 国際学部2年(採択時)

参考コース: 多様性人材コース

~出願・選考・留学まで~

テーマ:
教育分野から貧困改善にアプローチするために、
福祉国家で教育・福祉・人権を学ぶ



- 2015年9月 第2期交換留学出願
- 2015年12月 交換留学推薦者決定
- 2016年1月~2016年6月 トビタテ!学内選考⇒
第一次審査⇒
第二次審査(面接in東京)
⇒合格!!
- 2016年8月~2017年1月 リンネ大学へ交換留学
日本へ一時帰国! ⇒再びスウェーデンへ
- 2017年1月~2018年2月 トビタテ!実践活動
現地の小中学校で補助講師として
インターナショナル



わたしの留学計画!!

トビタテって…
すばり、留学という機会を最大限に生かすことができる制度だと思います。
出願段階から留学に行く意味を自問自答する中、留学で成し遂げたいことをブランクアップもできます。面接や事前研修ではアスリート、ダンサー、建築家を目指す人、理系の人、ビジネスを学ぶ人等、多種多様なコミュニティで情報の共有だけでなく、異分野で活躍する人と交わり、刺激し合うこともできる魅力です。
トビタテは金銭面だけでなく、あなたが持つ可能性を広げてくれるコミュニティを提供し、サポートしてくれます。また国際教育・協力センターはトビタテの応募に際して積極的に様々な形で応援してくれます。この機会をぜひ生かし、実り多い経験を得るためにも留学、そしてトビタテに挑戦してください!

本学のトビタテ!採択者は、野崎さんのように本学のプログラムである交換留学を取り入れた留学計画で採択されている学生や、国際社会貢献活動の参加者も多数採択されています! 本学の留学プログラム以外の私費留学でも応募が可能ですので、お気軽にCIEC事務室までご相談ください。

過去の採択者の留学先国

世界各国で本学のトビタテ生が活躍しています。みなさんもトビタテ!留学JAPANがあなただけの特別な留学を実現させませんか?



5-4 安全と危機管理・健康管理

～安全な留学と海外生活を送るために～

関西学院大学では、海外留学プログラムに参加する学生が年々増加しています。これに伴い、海外で犯罪やトラブルに巻き込まれるケースが少なからず発生しています。の中には、不注意によって起こったもの、または未然に防ぐことができたものも含まれています。有意義な海外生活を送るためにも、留学を計画する際は「安全は全てに優先する」との意識をもって準備を進めてください。留学の目的を忘れることなく、自らを律しつつ、充実した留学生活を送ってください。CIECは皆さんを応援しています。

①事件・事故・トラブルの種類

留学先では、多種多様の事件・事故・トラブルが発生しています。留学先の国・地域は、日本と比べられないほど危険な場所もあります。海外留学中の様々なリスクについての理解を深めるとともに、予防策を立てるようにしてください。以下は過去に関学生が留学先で実際に遭遇した事件・事故・トラブルです。

- [事件・事故] 置き引き、スリ、ひったくり、強盗、詐欺、スキミング(キャッシュカード)、交通事故
- [トラブル] パスポート紛失、フライトキャンセル(悪天候)、滞在先備品破損、携行品破損・紛失、水没事故、喧嘩、いやがらせ
- [災害・人災] 自然災害(台風等)、政変(暴動)
- [病気] 歯痛、頭痛、発熱、風邪、腹痛、胃痛、感染症、骨折、アレルギー、メンタルヘルス不調

②安全・危機管理対策

安全・危機管理面で万全を期すためには、多くの時間を要するため、早期に、また、計画的に渡航準備を進めていくことを心掛けてください。以下の各項目を確認のうえ、慎重に留学準備を進めてください。

- 渡航前**
- 健康診断を受診する
 - 病気を治療する(歯科治療を含む)
 - 予防接種を受ける
厚生労働省検疫所(FORTH)ホームページを確認する
 - パスポート(ビザ)を取得する
 - 危機管理研修に参加する
 - 渡航先安全情報を収集する
 - 外務省ホームページ
 - 外務省海外安全ホームページ
 - 外務省海外安全虎の巻
 - 外務省海外旅行のテロ・誘拐対策など
 - 在留届／たびレジを登録する
 - 海外旅行保険に加入する
 - 緊急連絡先を作成する(現地大学の連絡先等)
 - 危機管理サービスに加入する
 - 渡航先の政治・社会・文化・宗教などを理解する

- 渡航中**
- 安否(所在)を明らかにする
 - 心身の健康を管理する
 - 所持品／貴重品を管理する
 - 渡航先安全情報を継続的に収集する
 - 緊急連絡先を常時携行する
 - 自動車／バイクは運転しない(厳禁)
 - 単独行動を避ける
 - 夜間や危険な地域を出歩くことは控える
 - スカイダイビングなど危険を伴うスポーツをしない(保険対象外)
 - 薬物(ドラッグ)に手を出さない
 - その他リスクを伴う行動を自粛する
- 渡航後**
- 健康／体調を管理する(感染症等罹患の有無と経過観察)
 - 大学に帰国報告する

③健康管理

各プログラムへの参加は、心身ともに健康状態が良好で、自ら責任をもって健康管理できることが前提です。留学を検討する際、以下の項目について、確認しておいてください。

- 渡航前**
- 每年4月に実施される大学の定期健康診断を受けてください(無料)。異常があれば、医療機関受診などの対応をしてください。定期健康診断を未受診の場合は、外部の医療機関で受け(有料)、結果を保健館に提出してください。
(保健館HP「重要なお知らせ」http://www.kwansei.ac.jp/f_health/)
 - 定期健康診断では、すべての異常を見つけることはできません。治療中の病気だけでなく、心や身体の健康面で心配なことがあれば、主治医等に留学が可能であることを確認し、指導を受けてください。なお、一般的には海外旅行保険では、持病の治療や歯科治療はカバーされません。
 - 参加決定後、「健康状態等申告書」を提出してください。
 - 留学先によって必要な予防接種は、早めに受けてください(時間がかかります)。
厚生労働省検疫所(FORTH)のHPが参考になります。(<http://www.forth.go.jp/useful/vaccination.html>)
 - 留学に備えて注意すべきことについて、保健館HPも参照してください。
(http://www.kwansei.ac.jp/f_health/f_health_003737.html)

- 渡航中**
- 治療に必要な医薬品や主治医の英文紹介状の持参、留学先での受診など、自らの責任で健康管理をおこなってください。
 - 健康状態が悪化した場合は、すみやかに現地大学及び関学に報告し、その指導に沿うようにしてください。

④異文化理解と適応

異文化の中では、たくさんの発見があります。自分とは異なるものを尊重すること、自分だけの価値観(ものさし)で判断するのではなく広く大きな視点を持つことで新しい世界が広がります。一方、異文化にうまく適応できずに留学生活に苦しむ学生も少なからずいます。カルチャー・ショックを受けることは自然なことですので、焦らず、ゆっくり新しい文化に適応するよう努めてください。

⑤生活環境における問題

異国での生活は、貴重な留学経験の一部です。ホストファミリーやルームメイトとのコミュニケーションは、時には楽しく、時には難しいものです。生活をするなかで問題が生じた時は、自分一人で思い悩まないで、積極的に対話するようしてください。どうしても自分で問題を解決できない時は、留学先大学の担当者等と相談するなどして、問題を放置することのないようにしてください。

[ホームステイ]

ホームステイ先では「お客様」ではなく、家族の一員として生活することになりますので、その家のルールに従って生活する必要があります。例えば、水不足の地域では「シャワーは5分以内」という決まりがあります。また、食べ物の好みが違うかもしれません。いつでも、基本的なマナーとして、感謝の気持ちを言葉で伝えることを忘れないようにしましょう。

[寮]

寮では学生が共同生活し、身の周りの世話は自らするのが基本です。気心の知れた友人関係を築くことができますが、性格や生活リズムの不一致等でルームメイトとうまくいかないケースも見られます。また、ホームステイと比べた場合、コミュニケーションをとる機会が少なくなりがちです。自ら積極的に行動しましょう。

⑥海外旅行傷害保険の加入(必須)

プログラムに参加する学生は、本学が指定する海外旅行傷害保険(一部のプログラムを除く)及び旅行事故対策費用保険※(全プログラム参加者対象)に加入します。留学先の大学によっては、これら保険に加入していても現地での健康保険や医療保険への加入を義務付けられることがあります。

※旅行事故対策費用保険とは:国際教育・協力プログラム参加者が、海外に滞在中に事故・病気等になり、事故対応費用や救援者費用の支出を余儀なくされた場合に補償する保険です。本学で一括加入手続きを行いますので、プログラム参加者が個人で加入手続きを行う必要はありません。

海外旅行傷害保険(例)	
〈補償内容〉	〈保険金額〉
傷害死亡	3,000万円
傷害後遺障害	3,000万円
治療・救援費用	無制限
個人賠償責任	1億円
携行品損害	10万円
航空機寄託手荷物遅延	10万円
航空機遅延	2万円
※補償内容は渡航期間等によって異なります。	

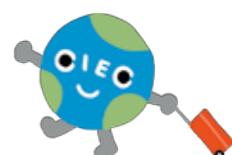
⑦危機管理サービスの加入(必須)

留学プログラムに参加する全ての学生に対し、本学が指定する危機管理サービスの加入が義務付けられています(一部のプログラムを除く)。危機管理サービス加入は、昨今の世界情勢を踏まえ、また、予期せぬ事態に備え、セーフティネットを重層化することを目的としています。事件・事故・トラブル発生の際には、本学と危機管理会社が緊密に連携・情報共有しながら、対応にあたります。また、急病の場合に医療機関受診や保険請求に関するアドバイスを受けることが可能です。海外での生活をサポートするために、24時間365日対応の緊急連絡先も設置しています。

⑧関西学院大学の危機管理の取り組み

本学では、留学プログラム実施にあたり、安全を最優先しています。学生を安全に海外に派遣するための主な危機管理の取り組みは以下のとおりです。

- ・留学参加者に対する危機管理研修の実施
- ・日常の安全情報収集と提供
- ・世界情勢を踏まえた留学プログラムの実施・中止・延期・継続・途中帰国の判断
- ・日本大使館等在外公館との緊密な連絡体制の構築
- ・危機管理会社を含む専門機関との連携
- ・緊急対策本部の設置(危機発生時に学長室のもとに設置)



FAQ

留学について

Q1 とりあえず留学に行きたいと思っていますが、どのプログラムがいいですか？

A1 まずは自分自身で、どのような目的で留学したいのかをはっきりとさせましょう。外国語を重点的に勉強したいのであれば、外国語研修や中期留学をお勧めします。交換留学では、現地の言葉または英語での授業を現地の学生と同じように履修します。外国語能力を伸ばした後に、交換留学等上級プログラムに参加する人もいます。自分の目的に沿った留学プランを立てましょう。

Q2 留学に関する情報はどのように収集すればいいですか？

A2 この冊子を熟読した上で、興味のあるプログラムの説明会や留学フェアなどの留学イベントに参加してください。また、過去に参加した学生から直接経験談を聞くことができる帰国報告会にも積極的に参加してください。留学先の大学についての情報は、各大学のウェブサイトを確認するとともに西宮上ヶ原キャンパスG号館2階のフジタ・グローバルラウンジでも海外協定校の資料を閲覧することができます。また、国際教育・協力センターのウェブサイトで現在留学中もしくは過去に留学した先輩たちの留学報告書を見るることができます。その他、国際教育・協力センターのウェブサイトやメールマガジン、Facebook等のSNSを通じて、留学に関する様々な情報を配信しています。詳しくは、P.8で確認してください。

Q3 留学についての相談はどこでできますか？

A3 西宮上ヶ原キャンパス、神戸三田キャンパスにある国際教育・協力センターの留学アドバイザーやスタッフが相談に応じます。詳しくは、P.8で確認してください。ただし、単位認定や履修に関する事は学部によって異なる場合がありますので、各所属学部事務室への確認が必要です。特に、国際学部は外国語研修や中期留学等のプログラムについて履修科目、成績評価、奨学金等の制度が他の学部と異なりますので、ご注意ください。

Q4 複数のプログラムに参加することはできますか？

A4 原則可能です。ただし、プログラムによっては、留学前のビザ取得手続き等により他のプログラムに参加できない場合があります。必ず事前に国際教育・協力センター及び所属学部事務室に問い合わせをしてください。また、授業実施期間中の留学を考えている場合には、卒業時期に影響しないよう早めに履修計画を立ててください。これまでにも外国語研修と交換留学の両方に参加した学生や、インドネシア交流セミナーと国連セミナー、そして国連ユースボランティアの3つのプログラムに参加した学生等が多数います。また、中期留学や交換留学等で得た学びをアウトプットする場として、Cross-Cultural Collegeへの参加もお勧めです。就職して社会人になってしまふと、長期の留学を経験するのはなかなか難しいことです。貴重な大学生活を有意義に過ごし、世界的な視野を持つ人間として大きく成長できるよう国際教育・協力センターのプログラムを積極的に活用してください。

Q5 交換留学と認定留学との違いはなんですか？

A5 交換留学は、休学することなく海外協定校に1学期間または1年間留学できる制度です。本学へ納入した授業料が留学先大学の授業料に充てられることになり、本学と信頼関係のある協定校で比較的経済的に留学することができます（授業料非相殺型交換留学を除く）。認定留学も休学することなく、協定大学を含む外国の大学に留学ができる制度です。学費については関学と留学先と二重に支払うことになりますが、認定留学助成金の制度があります。交換留学では留学ができない大学で勉強できることがメリットです。いずれの場合も、留学先で取得した単位について帰国後に本学に申請し、審査の結果認められれば本学の単位として認定を受けることができます。

留学について

Q6 3年生の秋学期から1年間留学に参加した場合、4年で卒業できますか？

A6 原則として、4年で卒業が可能です。ただし、必修科目であるゼミなどの履修や、単位の取得状況によっては、4年間で卒業することが難しい場合もありますので、留学を検討する段階で必ず出願までに所属学部事務室に事前に相談してください。

Q7 留学中の住居はどのような形式になりますか？

A7 国際教育・協力センターが提供する留学プログラムの滞在先は、ホームステイか寮が一般的です。交換留学の滞在先は各留学先大学の居住環境によりますが、大半の学生は大学寮に滞在しています。その他、ホームステイやアパートメントでの滞在を選択する学生もいます。なお、住居手配の保証がない大学もあり、その場合は各自で手配することになります。

Q8 教職と留学を両立したいのですが、可能ですか？

A8 両立は可能です。ただし、教職課程スケジュール上、留学のタイミングによっては4年間での卒業が難しい場合もあります。詳しくは、P.52を確認してください。

英語力について

Q9 どうやったらTOEFL®やIELTSの点数が伸ばせますか？

A9 個人それぞれに適した方法がありますが、外国語能力試験のスコアを伸ばすためには、テストの構成についてよく理解し、問題集を解く、単語を覚えるなどの対策が必要です。その他の英語スキルについても、毎日英語に触れる、言語教育研究センターが実施する英語プログラムを履修するなど、個々の努力が欠かせません。学内には無料で外国語能力試験対策用の問題集の貸出を行っている施設がありますのでP.53を確認してください。

また、国際教育・協力センターでは、TOEFL iBT®の模擬解説と模擬試験をセットにした講座及びIELTSの事前対策講座（春学期のみ）を無料で提供しています。プロの講師から効率的なスコアアップのコツを学べる絶好の機会ですので積極的に活用しましょう。詳しくは、P.55で確認してください。

Q10 留学前におすすめの科目はありますか？

A10 国際教育・協力センターでは、留学を最大限活かすための留学前・留学後学習科目を多数開講しています。履修に際しては、各科目的履修に必要な英語スコアの提出、事前申込が必要です。各科目の詳細は、「国際教育・協力プログラム募集要項2017 Volume I」に掲載しています。

学業成績について

Q11 成績が良くないと留学プログラムに参加できないのですか？

A11 本学での履修状況に問題がないことが望ましいですが、参加資格に学業成績が含まれていないプログラムもあります。詳細は各プログラムの参加資格を確認してください。交換留学や国際ボランティアプログラムは、学業成績が良好であることが出願要件に含まれます。

学内でできる国際交流

関西学院大学では、留学プログラムだけでなく、学内でできる国際交流のイベントも数多くあります。留学前の練習として、また留学後に学んだことを活かして、学内の国際交流に積極的に参加してみてください。

日本語パートナー

世界各国の協定校から来る交換学生の日本語会話の練習相手として、日本語能力の向上を手助けしたり、短期プログラムの日本語授業の補助をしたりすることが日本語パートナーの役割です。日本にいながら異文化理解・多文化共生について学べる機会です。

募集等に関する詳しい内容は、日本語教育センター（G号館1階）に問い合わせてください。

L.A.(ラーニング・アシスタント)

日本語教育センターのL.A.（ラーニング・アシスタント）の役割は、留学生対象の授業に参加しディベートやグループ活動など、授業担当者や留学生のサポートをすることです。

業務報酬が支払われますが単なるアルバイト業務ではなく、関学における教育活動の一環として位置づけられています。詳しくは日本語教育センターに問い合わせてください。

G.S.Network

国際教育・協力センター公認の学生ピアサポート団体です。海外協定大学からの交換学生の来日時のサポートや、留学生との交流を促すための様々な交流イベントの企画・運営をおこなっています。



留学生WEEK

留学生と一般学生の交流を深める目的で、留学生WEEKを毎年6月に開催しています。期間中は、日本の伝統文化体験や留学生によるCool Japanトークショー、日本語スピーチ発表会など、様々なイベントを企画しています。留学生との交流はもちろん、外国の文化や習慣、海外から見た日本の印象を学ぶ機会になりますので、是非参加してください。

各イベントの詳細については、随時、掲示板、教学Webサービス、メールマガジンおよび国際教育・協力センターウェブサイトなどでご案内します。

コーヒーアワー

海外から本学に着任している教授・講師・研究員、本学で学んでいる留学生を迎えて、お茶を飲みながら自由に話をして国際交流をするイベントです。世界各国の方々と出会い、お互いの理解を深めて楽しいひと時を過ごすことができます。関学学生は誰でも無料で参加することができるので、是非参加してください。



カナダ研究セミナー

本学では、1990年から毎年「カナダ研究セミナー」を開催しており、第27回目となった2016年度は「Immigrants in Canada: Lessons for Japan」をテーマに実施しました。英語力を磨くだけではなく、世界の多様な文化を深く理解する貴重な機会です。

インテンシブ・プログラム

本学言語教育研究センターが提供する少人数制の言語学習プログラムです。英語インテンシブ・プログラムでは、TOEFL®スコアに応じたレベル別クラスで留学前の準備学習、帰国後の継続学習に取り組むことが可能です。また、副専攻プログラム「英語コミュニケーション文化」も言語科目的体系履修のために最適です。
(問い合わせ先:教務機構事務部(言語教育研究センター担当))

LANGUAGE EXCHANGE

留学生が講師となり言語を教える交流会です。言語は英語をはじめ、ドイツ語、フランス語、中国語、朝鮮語など様々です。外国語を学ぶだけでなく、友達づくりや、留学生と交流することができます。語学のレベルは問いません。西宮上ヶ原キャンパスG号館グローバルラウンジのGSカウンターで不定期実施中です。

留学フェア

留学フェアは、毎年4月に実施している関学が提供する各種国際教育・協力プログラムをより身近に感じられるイベントです。募集説明会では聞くことのできない「参加学生の生の声」を聞くことのできるチャンスです。成功する留学のヒントが得られる貴重な機会です。奮ってご参加ください。入退場自由・参加無料。今年は10月7日(土)にも開催します。詳細はP.2を参照。



国際教育・協力センター (Center for International Education and Cooperation: CIEC) は、関学生のみなさんが「世界市民」としてグローバル社会で活躍することを願い、多種多様なプログラムを提供しています。

CIECの主な業務



1 各種海外派遣プログラムの開発

短期・中期・長期を問わず、大学在学中に海外留学を志す学生は年々増加しており、そのニーズも多様化しています。CIECは、在学生のみなさんが留学に対し持っている様々な希望に応えられるよう、より充実した各種海外派遣プログラムの開発に取り組んでいます。

2 留学・国際プログラムに関する情報提供

CIECでは、各種留学プログラムについての相談を随時受け付けています。各種プログラムの説明会や留学フェア、報告会を通じ、留学についての魅力を在学生の皆さんにお伝えしています。

- 交換留学定例報告
留学体験談や留学先大学の「生」の情報を得られる交換留学定例報告書をCIECウェブサイト(学外からアクセスする場合はLUNA経由)から閲覧することができます。
http://www.kwansei.ac.jp/c_ciec/c_ciec_006139.html
- CIECメールマガジン“GO GLOBAL”
各プログラムの募集やイベント、セミナー、講演会等の最新情報を週刊で配信しています。
- 各種SNS
国際プログラムの情報を配信しています。アクセス方法はP.8を参照してください。

3 留学前・留学中のサポート

海外に派遣されることが決まったみなさんは、派遣先大学への願書の提出や、VISA(査証)の取得などの留学前に必要とされる事務手続きについてサポートを行っています。派遣にあたっての心構えや海外での生活に必要な情報・注意点などをお知らせするオリエンテーションや事前研修会等を行っています。また、留学や就職に必要なTOEFL®セミナーや模試、IELTS対策講座を実施しています。

4 キャンパスの国際化

本学で学位取得を目指す外国人留学生約600人、1学期または2学期間という短期で海外協定校から受け入れる200人以上の交換留学生に対し、受け入れ事務サポート全般を行っています。また、世界市民育成のためのグローバルスタディーズ科目を提供しています。さらに、外国人留学生対象には日本理解科目を、交換学生には現代日本プログラムを提供しています。その他、年間を通して、コーヒーアワーや留学生WEEKなど国際交流イベントを実施し、キャンパスの国際化を推進しています。

関西学院大学 国際連携機構 国際教育・協力センター

西宮上ヶ原キャンパス(NUC):G号館1階
神戸三田キャンパス(KSC):アカデミックコモンズ2階
開室時間:月曜日~金曜日 8:50~11:30, 12:30~16:50
土曜日 8:50~12:20(ただし、祝日・休校日を除く。夏季休暇中は、学部事務室開室時間と同じ)

〒662-8501 西宮市上ヶ原一番町1-155
TEL:0798-54-6115 FAX:0798-51-0954
http://www.kwansei.ac.jp/c_ciec/
E-mail:ciec@kwansei.ac.jp